

『 公共建築工事積算基準等資料 』

【令和6年改定部分 対比表】

岩手県県土整備部

改 定	現 行
<p>第 2 編 工 事 費</p> <p>1 数値の取扱い 設計変更における工事価格については、算出された金額の範囲内で、原則として工事価格の有効桁が上位4桁、一千万円未満の場合は一万円単位となるように調整する。</p> <p>2 新たな追加の工事等の取扱い (1) 以下の場合の費用には、「当初請負代金額から消費税等相当額を減じた額を当初工事費内訳書記載の工事価格で除した比率」（以下「当初請負比率」という。）を乗じない。 イ. 新たな追加の工事 現に施工中の工事と一体で施工することが不可欠な場合において、設計図書で明示していない施工条件について受注者が予期することのできない特別な状態が生じ、以下の（イ）から（ホ）の新たな種類の工事を追加する場合の費用。 （イ）とりこわし（地下埋設物及び埋設配管に限る） （ロ）地盤改良 （ハ）土壌汚染処理 （ニ）石綿含有吹付材及び保温材等の処理 （ホ）上記（イ）から（ニ）に伴う発生材処理 ロ. 公共料金等 以下の（イ）から（ホ）を追加する場合の費用。 <u>（イ）現場発生による、湧水を公共下水道に流す場合の費用</u> <u>（ロ）仮設建築物の行政手数料</u> <u>（ハ）浄化槽の行政手数料</u> <u>（ニ）昇降機の行政手数料</u> <u>（ホ）水道の負担金（敷地内）</u> (2) (1) イ. の新たな追加の工事に関して、当該追加の工事に係る設計変更における工事費は、当該変更に係る直接工事費を積算し、これに当該変更に係る共通費を加えて得た額に、当該追加の工事が新たに追加された際の請負代金の変更額から消費税等相当額を減じた額を当該設計変更時の工事費内訳書記載の工事価格で除した比率（以下「当該追加の工事に係る請負比率」という。）を乗じ、さらに消費税等相当額を加えて得た額とする。 <u>(3) (1) ロ. の公共料金等を新たに追加する場合は、これらの費用の共通費は算定せず、工事費に加算する。</u></p>	<p>第 2 編 工 事 費</p> <p>1 数値の取り扱い 設計変更における工事価格については、算出された金額の範囲内で、原則として工事価格の有効桁が上位4桁、一千万円未満の場合は一万円単位となるように調整する。</p> <p>2 新たな追加の工事等の取り扱い (1) 以下の場合の費用には、「当初請負代金額から消費税等相当額を減じた額を当初工事費内訳書記載の工事価格で除した比率」（以下「当初請負比率」という。）を乗じない。 イ. 新たな追加の工事 現に施工中の工事と一体で施工することが不可欠な場合において、設計図書で明示していない施工条件について受注者が予期することのできない特別な状態が生じ、以下の（イ）から（ホ）の新たな種類の工事を追加する場合の費用。 （イ）とりこわし（地下埋設物及び埋設配管に限る） （ロ）地盤改良 （ハ）土壌汚染処理 （ニ）石綿含有吹付材及び保温材等の処理 （ホ）上記（イ）から（ニ）に伴う発生材処理 ロ. 公共料金 現場発生による、湧水を公共下水道に流す場合等の費用</p> <p>(2) (1) イ. の新たな追加の工事に関して、当該追加の工事に係る設計変更における工事費は、当該変更に係る直接工事費を積算し、これに当該変更に係る共通費を加えて得た額に、当該追加の工事が新たに追加された際の請負代金の変更額から消費税等相当額を減じた額を当該設計変更時の工事費内訳書記載の工事価格で除した比率（以下「当該追加の工事に係る請負比率」という。）を乗じ、さらに消費税等相当額を加えて得た額とする。</p>

3 工事の一時中止に伴う増加費用

(1) 工事の一時中止に伴う増加費用は、受注者が作成した中止期間中の工事現場の維持・管理に関する計画（以下「基本計画書」という。）に基づき、当該費用の内容（項目・数量）の必要性を受発注者で協議したうえで算定する。

第 3 編 共通費

第 1 章 共通事項

1 共通費算定に関する数値の取扱い

(1) 率による算定

共通費基準の率により算定した金額は、一円未満切捨てとする。

(2) 積み上げによる算定

積み上げによる算定は第 4 編第 1 章 1 に準ずる。

(3) 一般管理費等

イ. 算出された金額の範囲内で、原則として工事価格の有効桁が上位 4 桁、一千万円未満の場合は一万円単位となるように一般管理費等で調整する。

ロ. 設計変更及び随意契約をおこなう場合の工事において一般管理費等を算定するにあたり、控除する契約済みの工事の一般管理費等は、調整する前の金額を採用する。

2 新営工事と改修工事を一括して発注する場合の算定

(1) 共通仮設費率、現場管理費率及び一般管理費等率は、それぞれ以下のとおりとする。

イ. 共通仮設費率は、新営工事と改修工事の直接工事費の合計額に対応する新営工事と改修工事それぞれの共通仮設費率とする。なお、積み上げによる共通仮設費は、新営工事と改修工事のうち主な工事の共通仮設費に計上する。

ロ. 現場管理費率は、新営工事と改修工事の純工事費の合計額に対応する新営工事と改修工事それぞれの現場管理費率とする。なお、積み上げによる現場管理費は、新営工事と改修工事のうち主な工事の現場管理費に計上する。

ハ. 一般管理費等は、新営工事と改修工事の工事原価の合計額に対する一般管理費等率により算定する。

(2) 共通仮設費及び現場管理費は、新営工事と改修工事に区分して算定する。

3 建築工事、電気設備工事、機械設備工事及び昇降機設備工事のいずれかの主たる工事と主たる工事以外の工事を一括して発注する場合の算定

(1) 建築工事、電気設備工事、機械設備工事及び昇降機設備工事のいずれかの主たる工事と主たる工事以外の工事の場合

イ. 共通仮設費率、現場管理費率及び一般管理費等率は、それぞれ以下のとおりとする。なお、主たる工事とは発注時の工事種別をいう。

3 工事の一時中止に伴う増加費用

(1) 工事の一時中止に伴う増加費用は、受注者が作成した中止期間中の工事現場の維持・管理に関する計画（以下「基本計画書」という。）に基づき、当該費用の内容（項目・数量）の必要性を受発注者で協議したうえで算定する。

第 3 編 共通費

第 1 章 共通事項

1 共通費算定に関する数値の取り扱い

(1) 率による算定

共通費基準の率により算定した金額は、一円未満切捨てとする。

(2) 積み上げによる算定

積み上げによる算定は第 4 編第 1 章 1 に準ずる。

(3) 一般管理費等

イ. 算出された金額の範囲内で、原則として工事価格の有効桁が上位 4 桁、一千万円未満の場合は一万円単位となるように一般管理費等で調整する。

ロ. 設計変更及び随意契約をおこなう場合の工事において一般管理費等を算定するにあたり、控除する契約済みの工事の一般管理費等は、調整する前の金額を採用する。

2 新営工事と改修工事を一括して発注する場合の算定

(1) 共通仮設費率、現場管理費率及び一般管理費等率は、それぞれ以下のとおりとする。

イ. 共通仮設費率は、新営工事と改修工事の直接工事費の合計額に対応する新営工事と改修工事それぞれの共通仮設費率とする。なお、積み上げによる共通仮設費は、新営工事と改修工事のうち主な工事の共通仮設費に計上する。

ロ. 現場管理費率は、新営工事と改修工事の純工事費の合計額に対応する新営工事と改修工事それぞれの現場管理費率とする。なお、積み上げによる現場管理費は、新営工事と改修工事のうち主な工事の現場管理費に計上する。

ハ. 一般管理費等は、新営工事と改修工事の工事原価の合計額に対する一般管理費等率により算定する。

(2) 共通仮設費及び現場管理費は、新営工事と改修工事に区分して算定する。

3 建築工事、電気設備工事、機械設備工事及び昇降機設備工事のいずれかの主たる工事と主たる工事以外の工事を一括して発注する場合の算定

(1) 建築工事、電気設備工事、及び機械設備工事のいずれかの主たる工事と主たる工事以外の工事の場合

イ. 共通仮設費率、現場管理費率及び一般管理費等率は、それぞれ以下のとおりとする。なお、主たる工事とは発注時の工事種別をいう。

- (イ) 共通仮設費は、それぞれの工事種別ごとの共通仮設費に関する定めにより算定し、それらの合計による。なお、積み上げによる共通仮設費は、それぞれの工事種別ごとに区分して計上する。
- (ロ) 現場管理費は、それぞれの工事種別ごとの現場管理費に関する定めにより算定し、それらの合計による。なお、積み上げによる現場管理費は、それぞれの工事種別ごとに区分して計上する。
- (ハ) 一般管理費等は、それぞれの工事種別の工事原価の合計額に対する主たる工事の一般管理費等率により算定する。
- ロ. 主たる工事以外のいずれかの工事 が、工事内容及び工事費 から適切と判断出来る場合は、当該工事を主たる工事に含め、主たる工事の定めにより共通仮設費及び現場管理費を算定することができる。
- ハ. 共通費の算定方法は、設計図書の変更があった場合においても、原則として変更しない。

4 敷地が異なる複数の工事を一括して発注する場合の算定

- (1) 共通仮設費率、現場管理費率及び一般管理費等率は、それぞれ以下のとおりとする。
- イ. 共通仮設費率は、それぞれの敷地の工事ごとの直接工事費及び工期に対応する共通仮設費率とする。なお、積み上げによる共通仮設費は、それぞれの敷地の工事ごとに計上する。
- ロ. 現場管理費率は、それぞれの敷地の工事ごとの純工事費及び工期に対応する現場管理費率とする。なお、積み上げによる現場管理費は、それぞれの敷地の工事ごとに計上する。
- ハ. 一般管理費等は、それぞれの敷地の工事ごとの工事原価の合計額に対する一般管理費等率により算定する。
- (2) 共通仮設費及び現場管理費は、それぞれの敷地の工事ごとに算定する。

5 営繕工事のいずれかと営繕工事以外の工事を一括して発注する場合の算定

共通費は、営繕工事と営繕工事以外の工事に分け、それぞれの工事ごとの共通費に関する定めにより算定する。

- (イ) 共通仮設費は、それぞれの工事種別ごとの共通仮設費に関する定めにより算定し、それらの合計による。なお、積み上げによる共通仮設費は、それぞれの工事種別ごとに区分して計上する。
- (ロ) 現場管理費は、それぞれの工事種別ごとの現場管理費に関する定めにより算定し、それらの合計による。なお、積み上げによる現場管理費は、それぞれの工事種別ごとに区分して計上する。
- (ハ) 一般管理費等は、それぞれの工事種別の工事原価の合計額に対する主たる工事の一般管理費等率により算定する。
- ロ. 主たる工事以外のいずれかの工事 (昇降機設備工事を除く。) が、主たる工事と比較して軽微な工事であり、かつ、単独の工期設定がない場合も、原則として(1)イ.(イ)及び(ロ)による。ただし、工事内容、工事費及び工期 から適切と判断出来る場合は、当該工事を主たる工事に含め、主たる工事の定めにより共通仮設費及び現場管理費を算定することができる。
- ハ. 共通費の算定方法は、設計図書の変更があった場合においても、原則として変更しない。

(2) 昇降機設備工事を主たる工事又は主たる工事以外として含む場合

- イ. 当該昇降機設備工事費に対する共通仮設費率、現場管理費率及び一般管理費等率は、(1)イ.による。
- ロ. 共通費の算定方法は、設計図書の変更があった場合においても、原則として変更しない。

4 敷地が異なる複数の工事を一括して発注する場合の算定

- (1) 共通仮設費率、現場管理費率及び一般管理費等率は、それぞれ以下のとおりとする。
- イ. 共通仮設費率は、それぞれの敷地の工事ごとの直接工事費及び工期に対応する共通仮設費率とする。なお、積み上げによる共通仮設費は、それぞれの敷地の工事ごとに計上する。
- ロ. 現場管理費率は、それぞれの敷地の工事ごとの純工事費及び工期に対応する現場管理費率とする。なお、積み上げによる現場管理費は、それぞれの敷地の工事ごとに計上する。
- ハ. 一般管理費等は、それぞれの敷地の工事ごとの工事原価の合計額に対する一般管理費等率により算定する。
- (2) 共通仮設費及び現場管理費は、それぞれの敷地の工事ごとに算定する。

5 営繕工事のいずれかと営繕工事以外の工事を一括して発注する場合の算定

共通費は、営繕工事と営繕工事以外の工事に分け、それぞれの工事ごとの共通費に関する定めにより算定する。

6 工事に伴う湧水の排出費用

共通費を算定する場合の直接工事費には、工事に伴う湧水等を公共下水道等に排出する場合の費用(下水道料金のみ)は含まないものとする。

7 新営工事における主体構造物にかかわる鉄骨工事の補正に関する取り扱い

(1) 鉄骨造及び鉄骨鉄筋コンクリート造における取り扱い

鉄骨造及び鉄骨鉄筋コンクリート造において、鉄骨工事として科目で取り扱う項目を補正の対象とする。

6 とりこわし工事の取扱い

とりこわし工事とは、建築物解体工事共通仕様書 3.3.1 に基づき、建築物を解体する工事をいう。

建築物の解体に合わせ、建築物解体工事共通仕様書 3.3.1 に基づき、工作物等を解体する場合は、工作物等もとりこわし工事として取扱う。

7 とりこわし工事等を単独で発注する場合の算定

以下の工事を単独で発注する場合の共通費は、製造業者・専門工事業者からの見積りを参考に計上する。

- ・ とりこわし工事
- ・ 特殊な室内装備品（家具、書架及び実験台の類）工事
- ・ 造園工事
- ・ 舗装工事
- ・ さく井設備工事、等

8 指定部分及び指定部分工期

原則として、指定部分の工期は、共通仮設費及び現場管理費における算定に用いる工期（T）に用いない。

なお、指定部分とは工事の完成に先立ち引渡しを受けるべきことを設計図書により指定した工事範囲をいい、その工事範囲の完了期限を指定部分工期という。

9 設計変更における共通費の算定

（1）共通仮設費率、現場管理費率及び一般管理費等率は、それぞれ以下のとおりとする。

イ．共通仮設費率は、当初請負比率を乗じる工事、当該追加の工事に係る請負比率を乗じる工事、そのどちらにも当てはまらない工事の直接工事費の合計額及び工期に対応する率とする。

ロ．現場管理費率は、当初請負比率を乗じる工事、当該追加の工事に係る請負比率を乗じる工事、そのどちらにも当てはまらない工事の純工事費の合計額及び工期に対応する率とする。

ハ．一般管理費等率は、当初請負比率を乗じる工事、当該追加の工事に係る請負比率を乗じる工事、そのどちらにも当てはまらない工事の工事原価の合計額に対応する率とする。

（2）共通仮設費、現場管理費及び一般管理費等は、当初請負比率を乗じる工事、当該追加の工事に係る請負比率を乗じる工事、そのどちらにも当てはまらない工事に区分して算定する。

8 とりこわし工事等を単独で発注する場合の算定

以下の工事を単独で発注する場合の共通費は、製造業者・専門工事業者からの見積りを参考に計上する。

- ・ 特殊な室内装備品（家具、書架及び実験台の類）工事
- ・ 造園工事
- ・ 舗装工事
- ・ とりこわし工事
- ・ さく井設備工事、等

9 指定部分及び指定部分工期

原則として、指定部分の工期は、共通仮設費及び現場管理費における算定に用いる工期（T）に用いない。

なお、指定部分とは工事の完成に先立ち引渡しを受けるべきことを設計図書により指定した工事範囲をいい、その工事範囲の完了期限を指定部分工期という。

10 設計変更における共通費の算定

（1）共通仮設費率、現場管理費率及び一般管理費等率は、それぞれ以下のとおりとする。

イ．共通仮設費率は、当初請負比率を乗じる工事、当該追加の工事に係る請負比率を乗じる工事、そのどちらにも当てはまらない工事の直接工事費の合計額及び工期に対応する率とする。

ロ．現場管理費率は、当初請負比率を乗じる工事、当該追加の工事に係る請負比率を乗じる工事、そのどちらにも当てはまらない工事の純工事費の合計額及び工期に対応する率とする。

ハ．一般管理費等率は、当初請負比率を乗じる工事、当該追加の工事に係る請負比率を乗じる工事、そのどちらにも当てはまらない工事の工事原価の合計額に対応する率とする。

（2）共通仮設費、現場管理費及び一般管理費等は、当初請負比率を乗じる工事、当該追加の工事に係る請負比率を乗じる工事、そのどちらにも当てはまらない工事に区分して算定する。

第2章 共通仮設費

1 共通仮設費の区分

共通仮設費は、建築工事、電気設備工事、機械設備工事及び昇降機設備工事のそれぞれと処分費に区分して算定する。

2 共通仮設費の算定方法

(1) 共通仮設費の算定は共通仮設費率により算定する。ただし、共通仮設費率に含まれないものは積み上げにより算定する。

イ. 共通仮設費率による算定

(イ) 共通仮設費率の算定に用いるT（工期）

①共通仮設費率の算定に用いるT（工期）は、入札公告等に示された開札予定日から工期末までの日数を元に、開札から契約までを考慮し7日を減じた日数を30日／月にて除す。その値は小数点以下第2位を四捨五入して1位止めとする。なお、設計図書等に工期の始期が明示されている場合は、その始期から工期末までの日数を30日／月にて除し、この値をT（工期）として共通仮設費率を算出する。

②工事一時中止（一部一時中止の場合も含む）があった場合、共通仮設費率の算定に用いるT（工期）には、工事一時中止（一部一時中止の場合も含む）を理由とした工期延伸する期間を含まない。

(ロ) 監理事務所を設けない場合の補正

①建築工事において、共通費基準 2（3）表－5に挙げる監理事務所（監督職員事務所）を設けない場合は、共通仮設費率（K_r）に以下の補正値を乗じる。

直接 工事費	1000万円 未満	1000万円以上50億円以下	50億円を 超える
補正値	0.887	$0.738 + 0.0162 \times \text{Log}_e P$	0.988

Pは、公共建築工事共通費積算基準 別表におけるP：直接工事費（千円）

注1）補正式による値は小数点以下第4位を四捨五入して3位止めとする。

注2）設計変更においては、変更後のPに対応した値を変更後のK_rに乘じる。

(ハ) とりこわし工事を含めて発注する場合

とりこわし工事は新営建築工事に含めて算定する。

(ニ) リース料の取扱い

仮設庁舎等をリースで発注する場合は、処分費を除く直接工事費の合計額に対応する共通仮設費率により直接工事費からリース料及び処分費を除いた額の共通仮設費を算定する。

第2章 共通仮設費

1 共通仮設費の区分

共通仮設費は、一般工事、鉄骨工事（補正率が1.0の場合を除く）、とりこわし工事及び処分費に区分して算定する。

なお、ここでいう一般工事とは、鉄骨工事（補正率が1.0の場合を除く）、とりこわし工事及び処分費以外をいう。

2 共通仮設費の算定方法

(1) 共通仮設費の算定は共通仮設費率により算定する。ただし、共通仮設費率に含まれないものは積み上げにより算定する。

イ. 共通仮設費率による算定

(イ) 共通仮設費率の算定に用いるT（工期）

①共通仮設費率の算定に用いるT（工期）は、入札公告等に示された開札予定日から工期末までの日数を元に、開札から契約までを考慮し7日を減じた日数を30日／月にて除す。その値は小数点以下第2位を四捨五入して1位止めとする。なお、設計図書等に工期の始期が明示されている場合は、その始期から工期末までの日数を30日／月にて除し、この値をT（工期）として共通仮設費率を算出する。

②工事一時中止（一部一時中止の場合も含む）があった場合、共通仮設費率の算定に用いるT（工期）には、工事一時中止（一部一時中止の場合も含む）を理由とした工期延伸する期間を含まない。

(ロ) 鉄骨工事の場合の補正

共通費基準 2（4）の場合は、原則として共通仮設費率に1.0を乗じる。また、補正の対象となる鉄骨工事の取扱いは、第3編第1章7による。

(ハ) 監理事務所を設けない場合の補正

①建築工事において、共通費基準 2（3）表－5に挙げる監理事務所（監督職員事務所）を設けない場合は、共通仮設費率（K_r）に以下の補正値を乗じる。

直接 工事費	1000万円 未満	1000万円以上50億円以下	50億円を 超える
補正値	0.887	$0.738 + 0.0162 \times \text{Log}_e P$	0.988

Pは、公共建築工事共通費積算基準 別表におけるP：直接工事費（千円）

注1）補正式による値は小数点以下第4位を四捨五入して3位止めとする。

注2）設計変更においては、変更後のPに対応した値を変更後のK_rに乘じる。

(ニ) とりこわし工事を含めて発注する場合

とりこわし工事は新営建築工事の率を採用する。

(ホ) リース料の取扱い

仮設庁舎等をリースで発注する場合は、一般工事とリース料の直接工事費の合計額に対応する共通仮設費率により一般工事の共通仮設費を算定する。なお、リース料については、共通仮設費を算定しない。

(ホ) 直接工事費が共通費基準 別表(注3)で定める範囲を外れる場合
原則として算定式により算定された率を採用する。

(へ) 共通仮設費率の留意事項

①環境安全費に含まれる台風等災害に備えた災害防止対策に要する費用のうち、一般的なものの費用については、以下の費用が含まれている。

- ・屋外に存置された資材等の移動、養生に要する費用
- ・外部足場の点検、補強、シート類の巻き上げ等に要する費用

②共通仮設費率に含まれる動力用水光熱費

- ・新営工事は引込費用及び使用料が該当する。(工事用)
- ・改修工事は既存施設からの引き込みが可能であるため、主にメータ設置費と使用料が該当する。(工事用)

ロ. 積み上げによる算定

以下の項目については、共通仮設費率に含まれないため、設計図書等に基づき積み上げにより算定する。

(イ) 準備費

敷地測量、仮設用借地料、既存施設内の家具、什器、機器等の移動・復旧に関する費用

(ロ) 仮設建物費

①宿舎、設計図書による現場環境改善費用

②電気設備工事、機械設備工事及び昇降機設備工事における、監理事務所(監督職員事務所)、備品等の費用

③建築工事における、監理事務所(監督職員事務所)の備品等の費用のうち、設計図書に当該工事固有の事情により指定された内容

(ハ) 工事施設費

仮囲い、工事用道路、歩道構台、設計図書による現場環境改善費用

(ニ) 環境安全費

安全管理・合図等の要員に要する費用(工事現場(施設)の警備に要する警備要員、機械警備及び交通誘導警備員に要する費用)、台風等災害に備えた災害防止対策に要する費用のうち、大規模な台風等の風災害対策として、足場の防護シートの全面掛払い、防音パネルの全面掛払い等、受発注者間の協議に基づき設計図書に記載される災害防止対策に要する費用

(ホ) 動力用水光熱費

本受電後の電力基本料金

(へ) 屋外整理清掃費

除雪に要する費用

(ト) 機械器具等

①新営工事における荷揚用揚重機械器具の費用

規格の選定及び存置日数は、表2-1~表2-5を参考とし、施工条件等により機種を選定する。

- (共通事項)
1. 揚重機等の設置・移動の作業が支障なく行える敷地を条件としたものである。
 2. RC造の標準的な階高、スパン及び仕上げの建物として設定したものである。
 3. $A = \text{建築面積} / 750 \text{ m}^2$ (計算過程においてAの値を端数処理する場合は、小数点以下第三位を四捨五入し小数点以下第二位とする。)

(へ) 直接工事費が共通費基準 別表(注3)で定める範囲を外れる場合
原則として算定式により算定された率を採用する。

(ト) 共通仮設費率の留意事項

①環境安全費に含まれる台風等災害に備えた災害防止対策に要する費用のうち、一般的なものの費用については、以下の費用が含まれている。

- ・屋外に存置された資材等の移動、養生に要する費用
- ・外部足場の点検、補強、シート類の巻き上げ等に要する費用

②共通仮設費率に含まれる動力用水光熱費

- ・新営工事は引込費用及び使用料が該当する。(工事用)
- ・改修工事は既存施設からの引き込みが可能であるため、主にメータ設置費と使用料が該当する。(工事用)

ロ. 積み上げによる算定

以下の項目については、共通仮設費率に含まれないため、設計図書等に基づき積み上げにより算定する。

(イ) 準備費

敷地測量、仮設用借地料、既存施設内の家具、什器、機器等の移動・復旧に関する費用

(ロ) 仮設建物費

①宿舎、設計図書による現場環境改善費用

②電気設備工事、機械設備工事及び昇降機設備工事における、監理事務所(監督職員事務所)、備品等の費用

③建築工事における、監理事務所(監督職員事務所)の備品等の費用のうち、設計図書に当該工事固有の事情により指定された内容

(ハ) 工事施設費

仮囲い、工事用道路、歩道構台、設計図書による現場環境改善費用

(ニ) 環境安全費

安全管理・合図等の要員に要する費用(工事現場(施設)の警備に要する警備要員、機械警備及び交通誘導警備員に要する費用)、台風等災害に備えた災害防止対策に要する費用のうち、大規模な台風等の風災害対策として、足場の養生シートの全面掛払い、防音パネルの全面掛払い等、受発注者間の協議に基づき設計図書に記載される災害防止対策に要する費用

(ホ) 動力用水光熱費

本受電後の電力基本料金

(へ) 機械器具等

①新営工事における荷揚用揚重機械器具の費用

規格の選定及び存置日数は、表2-1~表2-5を参考とし、施工条件等により機種を選定する。

- (共通事項)
1. 揚重機等の設置・移動の作業が支障なく行える敷地を条件としたものである。
 2. RC造の標準的な階高、スパン及び仕上げの建物として設定したものである。
 3. $A = \text{建築面積} / 750 \text{ m}^2$ (計算過程においてAの値を端数処理する場合は、小数点以下第三位を四捨五入し小数点以下第二位とする。)

4. N=階数
5. 存置日数の端数処理は、小数点以下第一位を切上げ整数とする。
6. 各階の面積が著しく異なる場合は、実状に応じて適切に補正する。
7. 階数が2階以下かつ建築面積が250㎡未満の場合は、規格を16t以下とし、存置日数は実状に応じて適切に補正する。
8. 障害物等で揚重作業に支障がある場合は、実状に応じて適切に設定する。
9. 表2-1～2-5の存置日数には回送等に要する日数を含む。

表2-1 地上階の躯体用揚重機械存置日数（鉄筋コンクリート造）

階数	規格	存置日数	備考
1	25 t	13.6×A+5.2	
2	25 t	18.0×A+10.0	
3	25 t	22.4×A+14.8	
4	25 t	26.8×A+19.6	
5	25 t	31.2×A+24.4	

表2-2 地下階の躯体用揚重機械存置日数（鉄筋コンクリート造）

階数	規格	存置日数	備考
B 1	25 t	9.5×A	

表2-3 塔屋階の躯体用揚重機械存置日数（鉄筋コンクリート造）

階数	規格	存置日数			備考
		100㎡未満	300㎡未満	500㎡未満	
P 1	25 t	4	5	6	

表2-4 地上階の仕上用揚重機械存置日数（鉄筋コンクリート造）

階数(N)	規格	存置日数	備考
1	16 t	2.3×A	
2	16 t	5.4×A	
3	16 t	8.5×A	
4	ロングスパン工事用 エレベータ1t未満	18.5×N+40.5	建築面積1,000㎡ごとに1台
5	ロングスパン工事用 エレベータ1t未満	18.5×N+40.5	建築面積1,000㎡ごとに1台

表2-5 地下階の仕上用揚重機械存置日数（鉄筋コンクリート造）

階数	規格	存置日数	備考
B 1	16 t	6.4×A	

②改修工事における荷揚用揚重機械器具の費用

機種を選定及び存置日数は、施工内容、施工条件等により選定する。

(チ) 情報システム費

情報共有、遠隔臨場、BIM、その他情報通信技術等のシステム・アプリケーションに要する費用

4. N=階数
5. 存置日数の端数処理は、小数点以下第一位を切上げ整数とする。
6. 各階の面積が著しく異なる場合は、実状に応じて適切に補正する。
7. 階数が2階以下かつ建築面積が250㎡未満の場合は、規格を16t以下とし、存置日数は実状に応じて適切に補正する。
8. 障害物等で揚重作業に支障がある場合は、実状に応じて適切に設定する。

表2-1 地上階の躯体用揚重機械存置日数（鉄筋コンクリート造）

階数	規格	存置日数	備考
1	25 t	13.6×A+5.2	
2	25 t	18.0×A+10.0	
3	25 t	22.4×A+14.8	
4	25 t	26.8×A+19.6	
5	25 t	31.2×A+24.4	

表2-2 地下階の躯体用揚重機械存置日数（鉄筋コンクリート造）

階数	規格	存置日数	備考
B 1	25 t	9.5×A	

表2-3 塔屋階の躯体用揚重機械存置日数（鉄筋コンクリート造）

階数	規格	存置日数			備考
		100㎡未満	300㎡未満	500㎡未満	
P 1	25 t	4	5	6	

表2-4 地上階の仕上用揚重機械存置日数（鉄筋コンクリート造）

階数(N)	規格	存置日数	備考
1	16 t	2.3×A	
2	16 t	5.4×A	
3	16 t	8.5×A	
4	ロングスパン工事用 エレベータ1t未満	18.5×N+40.5	建築面積1,000㎡ごとに1台
5	ロングスパン工事用 エレベータ1t未満	18.5×N+40.5	建築面積1,000㎡ごとに1台

表2-5 地下階の仕上用揚重機械存置日数（鉄筋コンクリート造）

階数	規格	存置日数	備考
B 1	16 t	6.4×A	

②改修工事における荷揚用揚重機械器具の費用

機種を選定及び存置日数は、施工内容、施工条件等により機種を選定する。

(ト) 情報システム費

情報共有、遠隔臨場、BIM、その他情報通信技術等のシステム・アプリケーションに要する費用

(リ) 試験費等

①建築工事において、公共建築工事標準仕様書、公共建築改修工事標準仕様書等に基づく試験費、レディーミクストコンクリートの単位水量試験費、特記仕様書にて定める試験のうち軽微な試験費を除き、積み上げにより算定する。

(積み上げによる試験費の例)

- ・石綿粉じん濃度測定
- ・分析による石綿含有建材の調査
- ・化学物質の濃度測定
- ・六価クロム溶出試験
- ・PCB含有シーリング材の調査
- ・路床土の支持力比（CBR）試験
- ・現場CBR試験

・放射線透過試験

・上記に類する各種試験費等

②電気設備工事、機械設備工事及び昇降機設備工事において、公共建築工事標準仕様書、公共建築改修工事標準仕様書等に定める機材の試験費及び施工の試験費を除き、積み上げにより算定する。

(積み上げによる試験費の例)

- ・石綿粉じん濃度測定
- ・分析による石綿含有建材の調査
- ・PCB含有調査
- ・放射線透過試験
- ・テレビ電波障害調査（事前・中間・事後）
- ・迷走電流測定調査
- ・上記に類する各種試験費等

(ヌ) 石綿含有建材の調査費（事前調査結果を貸与しない場合又は石綿等の使用の有無を設計図書へ明示しない場合は計上する）

(2) 処分費の取扱い

建設発生土処分費及び発生材処分費を含めて発注する場合は、これらの費用の共通仮設費は算定しない。

(チ) その他

材料及び製品の品質管理試験に要する費用は、公共建築工事標準仕様書に基づく試験費、レディーミクストコンクリートの単位水量試験費、特記仕様書にて定める試験のうち軽微な試験費を除き、積み上げにより算定する。

(積み上げによる試験費の例)

- ・石綿粉じん濃度測定
- ・分析による石綿含有建材の調査
- ・化学物質の濃度測定
- ・六価クロム溶出試験
- ・PCB含有シーリング材の調査
- ・路床土の支持力比（CBR）試験
- ・現場CBR試験
- ・上記に類する各種試験費

(2) 処分費の取扱い

建設発生土処分費及び発生材処分費を含めて発注する場合は、これらの費用の共通仮設費は算定しない。

第3章 現場管理費

1 現場管理費の区分

現場管理費は、共通仮設費で区分した項目ごとに算定する。

2 現場管理費の算定方法

(1) 現場管理費の算定は現場管理費率により算定する。ただし、現場管理費率に含まれないものは積み上げにより算定する。

イ. 現場管理費率による算定

(イ) 現場管理費率の算定に用いるT（工期）

①現場管理費率の算定に用いるT（工期）は、入札公告等に示された開札予定日から工期末までの日数を元に、開札から契約までを考慮し7日を減じた日数を30日/月にて除す。その値は小数点以下第2位を四捨五入して1位止めとする。なお、設計図書等に工期の始期が明示されている場合は、その始期から工期末までの日数を30日/月にて除し、この値をT（工期）として現場管理費率を算出する。

②工事一時中止（一部一時中止の場合も含む）があった場合、現場管理費率の算定に用いるT（工期）には、工事一時中止（一部一時中止の場合も含む）を理由とした工期延伸する期間を含まない。

(ロ) とりこわし工事を含めて発注する場合

とりこわし工事は新営建築工事に含めて算定する。

(ハ) リース料の取扱い

仮設庁舎等をリースで発注する場合は、処分費を除く純工事費の合計額に対応する現場管理費率により純工事費からリース料及び処分費を除いた額の現場管理費を算定する。

(ニ) 純工事費が共通費基準 別表（注3）で定める範囲を外れる場合

原則として算定式により算定された率を採用する。

(ホ) 現場管理費率の留意事項

①現場管理費率内のその他の項目に含まれる費用

・本支店等から支援を受けた場合の原価性費用として、本支店等から支援を受けた以下の費用が含まれている。

- ・検査、試験の支援に要する費用
- ・施工図作成の支援に要する費用
- ・その他、外注又は現場従業員が従事する代わりに、本支店等従業員が従事した場合に要する費用
- ・各種調査に要する費用として、以下の費用が含まれている。
- ・本支店等従業員が調査に伴う作業に要した費用
- ・現場従業員が工事完了後に調査に伴う作業に要した費用

第3章 現場管理費

1 現場管理費の区分

現場管理費は、共通仮設費で区分した項目ごとに算定する。

2 現場管理費の算定方法

(1) 現場管理費の算定は現場管理費率により算定する。ただし、現場管理費率に含まれないものは積み上げにより算定する。

イ. 現場管理費率による算定

(イ) 現場管理費率の算定に用いるT（工期）

①現場管理費率の算定に用いるT（工期）は、入札公告等に示された開札予定日から工期末までの日数を元に、開札から契約までを考慮し7日を減じた日数を30日/月にて除す。その値は小数点以下第2位を四捨五入して1位止めとする。なお、設計図書等に工期の始期が明示されている場合は、その始期から工期末までの日数を30日/月にて除し、この値をT（工期）として現場管理費率を算出する。

②工事一時中止（一部一時中止の場合も含む）があった場合、現場管理費率の算定に用いるT（工期）には、工事一時中止（一部一時中止の場合も含む）を理由とした工期延伸する期間を含まない。

(ロ) 鉄骨工事の場合の補正

共通費基準 3（4）の場合は、現場管理費率に1.0を乗じる。また、補正の対象となる鉄骨工事の取扱いは、第3編第1章7による。

(ハ) とりこわし工事を含めて発注する場合

とりこわし工事は新営建築工事の率を採用する。

(ニ) リース料の取扱い

仮設庁舎等をリースで発注する場合は、一般工事とリース料の純工事費の合計額に対応する現場管理費率により一般工事の現場管理費を算定する。なお、リース料については、現場管理費を算定しない。

(ホ) 純工事費が共通費基準 別表（注3）で定める範囲を外れる場合

原則として算定式により算定された率を採用する。

(ヘ) 現場管理費率の留意事項

①現場管理費率内のその他の項目に含まれる費用

・本支店等から支援を受けた場合の原価性費用として、本支店等から支援を受けた以下の費用が含まれている。

- ・検査、試験の支援に要する費用
- ・施工図作成の支援に要する費用
- ・その他、外注又は現場従業員が従事する代わりに、本支店等従業員が従事した場合に要する費用
- ・各種調査に要する費用として、以下の費用が含まれている。
- ・本支店等従業員が調査に伴う作業に要した費用
- ・現場従業員が工事完了後に調査に伴う作業に要した費用

ロ. 積み上げによる算定

以下の項目については、現場管理費率に含まれないため、設計図書等に基づき積み上げにより算定する。

(イ) 要員等の費用

条件明示された要員等の費用（共通仮設費の費用以外、現場雇用労働者の給料等）

(2) 処分費の取扱い

建設発生土処分費及び発生材処分費を含めて発注する場合は、これらの費用の現場管理費は算定しない。

(3) 支給材を使用する場合

支給材（入居官署又は発注者側で購入・製作された資機材）を使用して工事を施工する場合は、支給材を購入すると仮定した評価額の2%を現場管理費に加算する。ただし、再利用資機材については現場管理費を加算しない。

ロ. 積み上げによる算定

以下の項目については、現場管理費率に含まれないため、設計図書等に基づき積み上げにより算定する。

(イ) 要員等の費用

条件明示された要員等の費用（共通仮設費の費用以外、現場雇用労働者の給料等）

(2) 処分費の取り扱い

建設発生土処分費及び発生材処分費を含めて発注する場合は、これらの費用の現場管理費は算定しない。

(3) 支給材を使用する場合

支給材（入居官署又は発注者側で購入・製作された資機材）を使用して工事を施工する場合は、支給材を購入すると仮定した評価額の2%を現場管理費に加算する。ただし、再利用資機材については現場管理費を加算しない。

第4章 一般管理費等

1 一般管理費等の算定方法

(1) 一般管理費等の算定は一般管理費等率により算定する。ただし一般管理費等率に含まれないものは積み上げにより算定する。

イ. 一般管理費等率による算定

(イ) 前払金支出割合による補正

前払金支出割合が35%以下の場合の一般管理費等率は、表3-1の前払金支出割合区分ごとに定める補正係数を一般管理費等率に乗じて得た率とする。

なお、前払金の保証がない工事は、一般管理費等の補正の対象外とする。

表3-1 一般管理費等率補正係数

前払金支出割合区分 (%)	補正係数
0から5以下	1.05
5を超え15以下	1.04
15を超え25以下	1.03
25を超え35以下	1.01

(ロ) 契約保証費について

共通費基準 4(1)による契約保証費については、工事原価に表3-2による契約保証費率を乗じ算出した金額を一般管理費等に加算する。

表3-2 契約保証費率

内 容	(%)
保証の方法1：発注者が金銭的保証を必要とする場合 (工事請負契約書第4条を採用する場合)	0.04
保証の方法2：発注者が役務的保証を必要とする場合	0.09
保証の方法3：上記以外の場合	補正しない
注) 契約保証のうち、保証の方法3の具体例は以下のとおり。 ①予算決算及び会計令第100条の2第1項第1号の規定により、工事請負契約書の作成を省略できる工事請負契約である場合	

ロ. 積み上げによる算定

住宅瑕疵担保履行法による資力確保措置のための費用については、「特定住宅瑕疵担保責任の履行の確保等に関する法律」(平成19年法律第66号)に該当する住宅の新築工事の場合は、資力確保措置のための費用を見積等により算出し、一般管理費等に加算する。ただし、設計変更においては対象としない。

第4章 一般管理費等

1 一般管理費等の算定方法

(1) 一般管理費等の算定は一般管理費等率により算定する。ただし一般管理費等率に含まれないものは積み上げにより算定する。

イ. 一般管理費等率による算定

(イ) 前払金支出割合による補正

前払金支出割合が35%以下の場合の一般管理費等率は、表3-1の前払金支出割合区分ごとに定める補正係数を一般管理費等率に乗じて得た率とする。

なお、前払金の保証がない工事は、一般管理費等の補正の対象外とする。

表3-1 一般管理費等率補正係数

前払金支出割合区分 (%)	補正係数
5以下	1.05
5を超え15以下	1.04
15を超え25以下	1.03
25を超え35以下	1.01

(ロ) 契約保証費について

共通費基準 4(1)による契約保証費については、工事原価に表3-2による契約保証費率を乗じ算出した金額を一般管理費等に加算する。

表3-2 契約保証費率

内 容	(%)
保証の方法1：発注者が金銭的保証を必要とする場合 (工事請負契約書第4条を採用する場合)	0.04
保証の方法2：発注者が役務的保証を必要とする場合	0.09
保証の方法3：上記以外の場合	補正しない
注) 契約保証のうち、保証の方法3の具体例は以下のとおり。 ①予算決算及び会計令第100条の2第1項第1号の規定により、工事請負契約書の作成を省略できる工事請負契約である場合	

ロ. 積み上げによる算定

住宅瑕疵担保履行法による資力確保措置のための費用については、「特定住宅瑕疵担保責任の履行の確保等に関する法律」(平成19年法律第66号)に該当する住宅の新築工事の場合は、資力確保措置のための費用を見積等により算出し、一般管理費等に加算する。ただし、設計変更においては対象としない。

※第2項～第6項 略

第7項 鉄 骨

1 一般事項

現場建方における低層とは平屋建とし、中層とは6階建程度とする。

2 単価、価格等

(1) 鋼材単価

イ. 鋼材単価は、販売価格又は市中価格による。

なお、実勢販売価格についてはエキストラ価格を加算する。

【鋼材単価算出例】

SN400A CT-200×200×8×12 長さ18.5m の場合

ベース価格 H形鋼実勢販売価格（無規格200以下）

エキストラ価格 規格エキストラ（SN400A加算）

寸法エキストラ（長さ加算）

加工エキストラ（CT形鋼加算）等

上記のベース価格とエキストラ価格を加算する

ロ. ベース価格の区分は、表A7-1による。

ハ. エキストラ価格は表A7-2により区分し、物価資料の掲載価格による。

ニ. スクラップ単価は、物価資料の掲載価格のうち規格「鉄屑 ヘビー H2」とする。

なお、鋼材屑等のスクラップ数量は、所要数量から設計数量を差し引いた数量の70%とする。

(2) 工場加工組立

軽微な建物等の場合は、施工規模を勘案して物価資料の掲載価格によることができる。

(3) 揚重機械器具

イ. 第1項により、共通仮設費に計上する。

ロ. 機種選定は作業エリアからの最大作業半径と吊上荷重（最上階の1ピース最大質量）により決定する。

(4) 工場塗装

専門工事業者の見積価格等を参考にする。ただし、これによりがたい場合は第4編第1章3による。

(5) 現場建方

軽微な建物等の場合は、施工規模を勘案して物価資料の掲載価格等によることができる。

(6) 高力ボルト・普通ボルト類

締め付け費は、軽微な建物等の場合は、施工規模を勘案して物価資料の掲載価格等によることができる。

※第2項～第6項 略

第7項 鉄 骨

1 一般事項

現場建方における低層とは平屋建とし、中層とは6階建程度とする。

2 単価、価格等

(1) 鋼材単価

イ. 鋼材単価は、販売価格又は市中価格による。

なお、実勢販売価格についてはエキストラ価格を加算する。

【鋼材単価算出例】

SN400A CT-200×200×8×12 長さ18.5m の場合

ベース価格 H形鋼実勢販売価格（無規格200以下）

エキストラ価格 規格エキストラ（SN400A加算）

寸法エキストラ（長さ加算）

加工エキストラ（CT形鋼加算）等

上記のベース価格とエキストラ価格を加算する

ロ. ベース価格の区分は、表A7-1による。

ハ. エキストラ価格は表A7-2により区分し、物価資料の掲載価格による。

ニ. スクラップ単価は、物価資料の掲載価格のうち規格「鉄屑 ヘビー H2」とする。

なお、鋼材屑等のスクラップ数量は、所要数量から設計数量を差し引いた数量の70%とする。

(2) 工場加工組立

軽微な建物等の場合は、施工規模を勘案して物価資料の掲載価格によることができる。

(3) 揚重機械器具

イ. 第1項により、共通仮設費に計上する。

ロ. 機種選定は作業エリアからの最大作業半径と吊上荷重（最上階の1ピース最大質量）により決定する。

(4) 工場塗装

専門工事業者の見積価格等を参考にする。ただし、これによりがたい場合は第4編第1章3による。

(5) 現場建方

軽微な建物等の場合は、施工規模を勘案して物価資料の掲載価格等によることができる。

(6) 高力ボルト・普通ボルト類

締め付け費は、軽微な建物等の場合は、施工規模を勘案して物価資料の掲載価格等によることができる。

(7) 現場溶接

- イ. 軽微な建物等の場合は、施工規模を勘案して物価資料の掲載価格等によることができる。
 ロ. 参考歩掛り 表 RA-7-4 現場溶接の溶接器具は、半自動アーク溶接機 定格電流 500A を標準とし、機械損料 1.50 とする。

表 A7 - 1

ベース価格区分表			
鋼材種別	適用条件	市中価格	実勢販売価格
H形鋼 溝形鋼 I形鋼 等辺山形鋼 外法H形鋼	数量にかかわらず	SS400規格品	左記以外の規格品
		—	全ての規格品
不等辺山形鋼 平鋼 軽量形鋼	数量にかかわらず	全ての規格品	—
		SSC400相当品	
鋼板（切板）	数量にかかわらず	SS400規格品	左記以外の規格品
一般構造用炭素鋼鋼管	—	STK400の規格品	左記以外の規格品

表 A7 - 2

エキストラ価格区分表	
鋼材種別	対象エキストラ
H形鋼 外法H形鋼	1.規格エキストラ 2.寸法エキストラ（長さ・サイズ・極厚） 3.加工エキストラ（CT形鋼・ショット）
鋼板	1.規格エキストラ 2.寸法エキストラ（幅・長さ・厚み） 3.輸送エキストラ 4.特別仕様エキストラ
溝形鋼	1.規格エキストラ 2.寸法エキストラ
等辺山形鋼 鋼板（切板）	1.規格エキストラ

※第8項～第14項 略

(7) 現場溶接

- イ. 軽微な建物等の場合は、施工規模を勘案して物価資料の掲載価格等によることができる。
 ロ. 半自動アーク溶接機 定格電流 500A を標準とし、機械損料 1.50 とする。

表 A7 - 1

ベース価格区分表			
鋼材種別	適用条件	市中価格	実勢販売価格
H形鋼 溝形鋼 I形鋼 等辺山形鋼 外法H形鋼	数量にかかわらず	SS400規格品	左記以外の規格品
		—	全ての規格品
不等辺山形鋼 平鋼 軽量形鋼	数量にかかわらず	全ての規格品	—
		SSC400相当品	
鋼板（切板）	数量にかかわらず	SS400規格品	左記以外の規格品
一般構造用炭素鋼鋼管	—	STK400の規格品	左記以外の規格品

表 A7 - 2

エキストラ価格区分表	
鋼材種別	対象エキストラ
H形鋼 外法H形鋼	1.規格エキストラ 2.寸法エキストラ（長さ・サイズ・極厚） 3.加工エキストラ（CT形鋼・ショット）
鋼板	1.規格エキストラ 2.寸法エキストラ（幅・長さ・厚み） 3.輸送エキストラ 4.特別仕様エキストラ
溝形鋼	1.規格エキストラ 2.寸法エキストラ
等辺山形鋼 鋼板（切板）	1.規格エキストラ

※第8項～第14項 略

第 15 項 塗 装

1 一般事項

細目工種は、単価基準によるほか表 A 1 5 - 1 ~ 表 1 5 - 1 0 による。

2 単価、価格等

(1) 細幅物

仕上げ塗料塗りについては、単価基準及び本資料に定めのない細幅物（糸幅 3 0 0 mm 以下）の単価を作成する際は、㎡単価に「0. 4（係数）」を乗じて算定する。

(2) 下地調整塗材 C-2

コンクリート面の素地ごしらえに用いる下地調整塗材 C-2 が設計図書で明示された場合は、単価基準第 1 5 節 左官 2 市場単価の下地調整塗材 C-2 を基に必要な費用を計上する。

第 15 項 塗 装

1 一般事項

細目工種は、単価基準によるほか表 A 1 5 - 1 ~ 表 1 5 - 1 0 による。

2 単価、価格等

(1) 細幅物

仕上げ塗料塗りについては、単価基準及び本資料に定めのない細幅物（糸幅 3 0 0 mm 以下）の単価を作成する際は、㎡単価に「0. 4（係数）」を乗じて算定する。

(2) 下地調整塗材 C-2

コンクリート面の素地ごしらえに用いる下地調整塗材 C-2 が設計図書で明示された場合は、単価基準第 1 5 節 左官 2 市場単価の下地調整塗材 C-2 を基に必要な費用を計上する。

表 A15 - 1 補正市場単価（標仕仕様）

細目	摘要			単位
	下地種類等	塗装種別	作業工程	
錆止め塗り	現場1回 鉄鋼面屋内（仕様：第8節）	鉛クロム 2種	B種	m ²
錆止め塗り	現場1回 鉄鋼面屋内外 素地ごしらえ別途 <u>（仕様：第4節）</u>	鉛クロム 1種	B種	m ²
錆止め塗り	工場1回 鉄鋼面屋内外 素地ごしらえ別途 <u>（仕様：第4節）</u>	鉛クロム 1種	B種	m ²
SOP塗り（合成樹脂調合ペイント塗り）	木部 素地ごしらえ別途	1種	A種	m ²
SOP塗り（合成樹脂調合ペイント塗り）	木部 素地ごしらえ別途	1種	B種	m ²
SOP塗り（合成樹脂調合ペイント塗り）	鉄鋼面 錆止別途	1種	A種	m ²
EP塗り（合成樹脂エマルジョンペイント塗り）	せっこうボード面 一般面 素地ごしらえ別途		A種	m ²
EP塗り（合成樹脂エマルジョンペイント塗り）	せっこうボード面 見上げ面 素地ごしらえ別途		A種	m ²
EP塗り（合成樹脂エマルジョンペイント塗り）	せっこうボード面 一般面 素地ごしらえ別途		B種	m ²
EP塗り（合成樹脂エマルジョンペイント塗り）	せっこうボード面 見上げ面 素地ごしらえ別途		B種	m ²
EP塗り（合成樹脂エマルジョンペイント塗り）	けい酸カルシウム板面・モルタル面・コンクリート面・押出成形セメント板面 一般面 素地ごしらえ別途		A種	m ²
EP塗り（合成樹脂エマルジョンペイント塗り）	けい酸カルシウム板面・モルタル面・コンクリート面・押出成形セメント板面 見上げ面 素地ごしらえ別途		A種	m ²
EP塗り（合成樹脂エマルジョンペイント塗り）	けい酸カルシウム板面・モルタル面・コンクリート面・押出成形セメント板面 一般面 素地ごしらえ別途		B種	m ²
EP塗り（合成樹脂エマルジョンペイント塗り）	けい酸カルシウム板面・モルタル面・コンクリート面・押出成形セメント板面 見上げ面 素地ごしらえ別途		B種	m ²
EP-G塗り（つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り）	せっこうボード面 一般面 素地ごしらえ別途		A種	m ²
EP-G塗り（つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り）	せっこうボード面 見上げ面 素地ごしらえ別途		A種	m ²
EP-G塗り（つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り）	せっこうボード面 一般面 素地ごしらえ別途		B種	m ²
EP-G塗り（つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り）	せっこうボード面 見上げ面 素地ごしらえ別途		B種	m ²
EP-G塗り（つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り）	けい酸カルシウム板面・モルタル面・コンクリート面・押出成形セメント板面 一般面 素地ごしらえ別途		A種	m ²

表 A15 - 1 補正市場単価（標仕仕様）

細目	摘要			単位
	下地種類等	塗装種別	作業工程	
錆止め塗り	現場1回 鉄鋼面屋内（仕様：第8節）	水系	B種	m ²
錆止め塗り	現場1回 鉄鋼面屋内外 素地ごしらえ別途	A種	B種	m ²
錆止め塗り	工場1回 鉄鋼面屋内外 素地ごしらえ別途	A種	B種	m ²
SOP塗り（合成樹脂調合ペイント塗り）	木部 素地ごしらえ別途	1種	A種	m ²
SOP塗り（合成樹脂調合ペイント塗り）	木部 素地ごしらえ別途	1種	B種	m ²
SOP塗り（合成樹脂調合ペイント塗り）	鉄鋼面 錆止別途	1種	A種	m ²
EP塗り（合成樹脂エマルジョンペイント塗り）	せっこうボード面 一般面 素地ごしらえ別途		A種	m ²
EP塗り（合成樹脂エマルジョンペイント塗り）	せっこうボード面 見上げ面 素地ごしらえ別途		A種	m ²
EP塗り（合成樹脂エマルジョンペイント塗り）	せっこうボード面 一般面 素地ごしらえ別途		B種	m ²
EP塗り（合成樹脂エマルジョンペイント塗り）	せっこうボード面 見上げ面 素地ごしらえ別途		B種	m ²
EP塗り（合成樹脂エマルジョンペイント塗り）	けい酸カルシウム板面・モルタル面・コンクリート面・押出成形セメント板面 一般面 素地ごしらえ別途		A種	m ²
EP塗り（合成樹脂エマルジョンペイント塗り）	けい酸カルシウム板面・モルタル面・コンクリート面・押出成形セメント板面 見上げ面 素地ごしらえ別途		A種	m ²
EP塗り（合成樹脂エマルジョンペイント塗り）	けい酸カルシウム板面・モルタル面・コンクリート面・押出成形セメント板面 一般面 素地ごしらえ別途		B種	m ²
EP塗り（合成樹脂エマルジョンペイント塗り）	けい酸カルシウム板面・モルタル面・コンクリート面・押出成形セメント板面 見上げ面 素地ごしらえ別途		B種	m ²
EP-G塗り（つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り）	せっこうボード面 一般面 素地ごしらえ別途		A種	m ²
EP-G塗り（つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り）	せっこうボード面 見上げ面 素地ごしらえ別途		A種	m ²
EP-G塗り（つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り）	せっこうボード面 一般面 素地ごしらえ別途		B種	m ²
EP-G塗り（つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り）	せっこうボード面 見上げ面 素地ごしらえ別途		B種	m ²
EP-G塗り（つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り）	けい酸カルシウム板面・モルタル面・コンクリート面・押出成形セメント板面 一般面 素地ごしらえ別途		A種	m ²

表 A15 - 2 補正市場単価 (標仕仕様)

細目	摘要			単位
	下地種類等	塗装種別	作業工程	
EP-G塗り(つや有合成樹脂エマルジョン [®] イト塗り)	けい酸カルシウム板面・モルタル面・コンクリート面・押出成形セメント板面 見上げ面 素地ごしらえ別途		A種	m ²
EP-G塗り(つや有合成樹脂エマルジョン [®] イト塗り)	けい酸カルシウム板面・モルタル面・コンクリート面・押出成形セメント板面 一般面 素地ごしらえ別途		B種	m ²
EP-G塗り(つや有合成樹脂エマルジョン [®] イト塗り)	けい酸カルシウム板面・モルタル面・コンクリート面・押出成形セメント板面 見上げ面 素地ごしらえ別途		B種	m ²
EP-G塗り(つや有合成樹脂エマルジョン [®] イト塗り)	屋内木部 素地ごしらえ別途			m ²
EP-G塗り(つや有合成樹脂エマルジョン [®] イト塗り)	屋内鉄鋼面 錆止別途		A種	m ²
EP-G塗り(つや有合成樹脂エマルジョン [®] イト塗り)	屋内鉄鋼面 錆止別途		B種	m ²
EP-G塗り(つや有合成樹脂エマルジョン [®] イト塗り)	屋内亜鉛めっき鋼面 錆止別途			m ²
アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り	モルタル面・コンクリート面・押出成形セメント板面		A種	m ²
アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り	モルタル面・コンクリート面・押出成形セメント板面		B種	m ²
<u>CL塗り (クリアッカー塗り)</u>	<u>木部 素地ごしらえB種(R4標仕仕様)</u>		<u>B種</u>	<u>m²</u>
CL塗り (クリアッカー塗り)	木部 素地ごしらえ別途(R4標仕仕様)		A種	m ²
CL塗り (クリアッカー塗り)	木部 素地ごしらえ別途(R4標仕仕様)		B種	m ²
LE塗り (ラッカーエナメル塗り)	木部 素地ごしらえ別途		A種	m ²
LE塗り (ラッカーエナメル塗り)	木部 素地ごしらえ別途		B種	m ²
SOP塗り(合成樹脂調合 [®] イト塗り)	細幅物糸幅300mm以下(素地ごしらえA種共)木部	1種	A種(屋外)	m
EP-G塗り(つや有合成樹脂エマルジョン [®] イト塗り)	細幅物糸幅300mm以下(素地ごしらえA種共)木部			m
<u>CL塗り (クリアッカー塗り)</u>	<u>細幅物糸幅300mm以下(素地ごしらえB種共)木部</u> <u>(R4標仕仕様)</u>		<u>B種</u>	<u>m</u>
CL塗り (クリアッカー塗り)	細幅物糸幅300mm以下(素地ごしらえB種共)木部 <u>(R4標仕仕様)</u>		A種	m
LE塗り (ラッカーエナメル塗り)	細幅物糸幅300mm以下(素地ごしらえA種共)木部		A種	m
LE塗り (ラッカーエナメル塗り)	細幅物糸幅300mm以下(素地ごしらえA種共)木部		B種	m

表 A15 - 2 補正市場単価 (標仕仕様)

細目	摘要			単位
	下地種類等	塗装種別	作業工程	
EP-G塗り(つや有合成樹脂エマルジョン [®] イト塗り)	けい酸カルシウム板面・モルタル面・コンクリート面・押出成形セメント板面 見上げ面 素地ごしらえ別途		A種	m ²
EP-G塗り(つや有合成樹脂エマルジョン [®] イト塗り)	けい酸カルシウム板面・モルタル面・コンクリート面・押出成形セメント板面 一般面 素地ごしらえ別途		B種	m ²
EP-G塗り(つや有合成樹脂エマルジョン [®] イト塗り)	けい酸カルシウム板面・モルタル面・コンクリート面・押出成形セメント板面 見上げ面 素地ごしらえ別途		B種	m ²
EP-G塗り(つや有合成樹脂エマルジョン [®] イト塗り)	屋内木部 素地ごしらえ別途			m ²
EP-G塗り(つや有合成樹脂エマルジョン [®] イト塗り)	屋内鉄鋼面 錆止別途		A種	m ²
EP-G塗り(つや有合成樹脂エマルジョン [®] イト塗り)	屋内鉄鋼面 錆止別途		B種	m ²
EP-G塗り(つや有合成樹脂エマルジョン [®] イト塗り)	屋内亜鉛めっき鋼面 錆止別途			m ²
アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り	モルタル面・コンクリート面・押出成形セメント板面		A種	m ²
アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り	モルタル面・コンクリート面・押出成形セメント板面		B種	m ²
CL塗り (クリアッカー塗り)	木部 素地ごしらえ別途		A種	m ²
CL塗り (クリアッカー塗り)	木部 素地ごしらえ別途		B種	m ²
LE塗り (ラッカーエナメル塗り)	木部 素地ごしらえ別途		A種	m ²
LE塗り (ラッカーエナメル塗り)	木部 素地ごしらえ別途		B種	m ²
SOP塗り(合成樹脂調合 [®] イト塗り)	細幅物糸幅300mm以下(素地ごしらえA種共)木部	1種	A種(屋外)	m
EP-G塗り(つや有合成樹脂エマルジョン [®] イト塗り)	細幅物糸幅300mm以下(素地ごしらえA種共)木部			m
CL塗り (クリアッカー塗り)	細幅物糸幅300mm以下(素地ごしらえB種共)木部		A種	m
LE塗り (ラッカーエナメル塗り)	細幅物糸幅300mm以下(素地ごしらえA種共)木部		A種	m
LE塗り (ラッカーエナメル塗り)	細幅物糸幅300mm以下(素地ごしらえA種共)木部		B種	m

表 A15 - 3 補正市場単価（標仕仕様）

細目	摘要			単位
	下地種類等	塗装種別	作業工程	
素地ごしらえ	木部		A種(屋外)	m ²
素地ごしらえ	木部 セラックニス		A種(屋内)	m ²
素地ごしらえ	木部		B種	m ²
素地ごしらえ	鉄鋼面		B種	m ²
素地ごしらえ	鉄鋼面		C種	m ²
素地ごしらえ	モルタル面及びせっこうプラスター面		A種	m ²
素地ごしらえ	モルタル面及びせっこうプラスター面（付着物の除去）			m ²
素地ごしらえ	コンクリート面		A種	m ²
素地ごしらえ	コンクリート面		B種	m ²
素地ごしらえ	せっこうボード面及びその他ボード面		A種	m ²
素地ごしらえ	けい酸カルシウム板面		A種	m ²
素地ごしらえ	押出成形セメント板面		A種	m ²

表 A15 - 4 補正市場単価（改修標仕仕様）

細目	摘要			単位
	下地種類等	塗装種別	作業工程	
錆止め塗り	現場1回 鉄鋼面（屋内外）新規面 <u>(仕様：第5節)</u>	<u>鉛クロム</u> <u>1種</u>	A種	m ²
錆止め塗り	現場1回 鉄鋼面（屋内外）新規面 <u>(仕様：第5節)</u>	<u>鉛クロム</u> <u>1種</u>	B種	m ²
錆止め塗り	現場2回 鉄鋼面（屋内外）塗替え面 <u>(仕様：第5節)</u>	<u>鉛クロム</u> <u>1種</u>	C種	m ²
錆止め塗り	工場1回 鉄鋼面（屋内外）新規面 <u>(仕様：第5節)</u>	<u>鉛クロム</u> <u>1種</u>	A、B種	m ²
錆止め塗り	現場1回 鉄鋼面（屋内）新規面 <u>(仕様：第9節)</u>	<u>鉛クロム</u> <u>2種</u>	A種	m ²
錆止め塗り	現場1回 鉄鋼面（屋内）新規面 <u>(仕様：第9節)</u>	<u>鉛クロム</u> <u>2種</u>	B種	m ²
錆止め塗り	現場2回 鉄鋼面（屋内）塗替え面 <u>(仕様：第9節)</u>	<u>鉛クロム</u> <u>2種</u>	C種	m ²
錆止め塗り	工場1回 鉄鋼面（屋内）新規面 <u>(仕様：第9節)</u>	<u>鉛クロム</u> <u>2種</u>	A、B種	m ²

表 A15 - 3 補正市場単価（標仕仕様）

細目	摘要			単位
	下地種類等	塗装種別	作業工程	
素地ごしらえ	木部		A種(屋外)	m ²
素地ごしらえ	木部 セラックニス		A種(屋内)	m ²
素地ごしらえ	木部		B種	m ²
素地ごしらえ	鉄鋼面		B種	m ²
素地ごしらえ	鉄鋼面		C種	m ²
素地ごしらえ	モルタル面及びせっこうプラスター面		A種	m ²
素地ごしらえ	モルタル面及びせっこうプラスター面（付着物の除去）			m ²
素地ごしらえ	コンクリート面		A種	m ²
素地ごしらえ	コンクリート面		B種	m ²
素地ごしらえ	せっこうボード面及びその他ボード面		A種	m ²
素地ごしらえ	けい酸カルシウム板面		A種	m ²
素地ごしらえ	押出成形セメント板面		A種	m ²

表 A15 - 4 補正市場単価（改修標仕仕様）

細目	摘要			単位
	下地種類等	塗装種別	作業工程	
錆止め塗り	現場1回 鉄鋼面（屋内外）新規面	<u>A種</u>	A種	m ²
錆止め塗り	現場1回 鉄鋼面（屋内外）新規面	<u>A種</u>	B種	m ²
錆止め塗り	現場2回 鉄鋼面（屋内外）塗替え面	<u>A種</u>	C種	m ²
錆止め塗り	工場1回 鉄鋼面（屋内外）新規面	<u>A種</u>	A、B種	m ²
錆止め塗り	現場1回 鉄鋼面（屋内）新規面	<u>水系</u>	A種	m ²
錆止め塗り	現場1回 鉄鋼面（屋内）新規面	<u>水系</u>	B種	m ²
錆止め塗り	現場2回 鉄鋼面（屋内）塗替え面	<u>水系</u>	C種	m ²
錆止め塗り	工場1回 鉄鋼面（屋内）新規面	<u>水系</u>	A、B種	m ²

表 A15 - 7 補正市場単価（改修標仕仕様）

細目	摘要			単位
	下地種類等	塗装種別	作業工程	
SOP塗り(合成樹脂調合ペイント塗り)	細幅物糸幅300mm以下(下地RA種 新規面) 木部	1種	B種	m
SOP塗り(合成樹脂調合ペイント塗り)	細幅物糸幅300mm以下(下地RB種 塗替え面) 木部	1種	B種	m
SOP塗り(合成樹脂調合ペイント塗り)	細幅物糸幅300mm以下(下地RC種 塗替え面) 木部	1種	C種	m
EP-G塗り(つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り)	細幅物糸幅300mm以下(下地RA種 新規面) 木部		A種	m
EP-G塗り(つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り)	細幅物糸幅300mm以下(下地RB種 塗替え面) 木部		B種	m
EP-G塗り(つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り)	細幅物糸幅300mm以下(下地RC種 塗替え面) 木部		B種	m
CL塗り (クリアラッカー塗り)	細幅物糸幅300mm以下(下地RB種 塗替え面) 木部 <u>(R4改修標仕仕様)</u>		A種	m
CL塗り (クリアラッカー塗り)	細幅物糸幅300mm以下(下地RB種 塗替え面) 木部 <u>(R4改修標仕仕様)</u>		B種	m
LE塗り (ラッカーエナメル塗り)	細幅物糸幅300mm以下(下地RA種 塗替え面) 木部		A種	m
LE塗り (ラッカーエナメル塗り)	細幅物糸幅300mm以下(下地RA種 塗替え面) 木部		B種	m
OS塗り (オイルステイン塗り)	細幅物糸幅300mm以下(下地RB種 塗替え面) 木部			m

第 16 項 内 外 装

1 一般事項

細目工種は、単価基準によるほか表A16-1～表16-6による。

2 単価、価格等

(1) 床仕上げ材張り

完成時の清掃及び樹脂ワックス掛けは直接仮設の整理清掃後片付けに含む。

(2) 壁せっこうボード張り

継目処理工法による施工の場合は、突付け工法に対して単価基準 第2編 第1章第18節 表A1-18-9のせっこうボード継目処理の単価を加算する。

(3) 壁紙張り

壁紙張りの壁紙の所要量は、無地又はリピートサイズの小さい模様を標準としている。リピートサイズの大きな模様の場合は適宜補正する。

表 A15 - 7 補正市場単価（改修標仕仕様）

細目	摘要			単位
	下地種類等	塗装種別	作業工程	
SOP塗り(合成樹脂調合ペイント塗り)	細幅物糸幅300mm以下(下地RA種 新規面) 木部	1種	B種	m
SOP塗り(合成樹脂調合ペイント塗り)	細幅物糸幅300mm以下(下地RB種 塗替え面) 木部	1種	B種	m
SOP塗り(合成樹脂調合ペイント塗り)	細幅物糸幅300mm以下(下地RC種 塗替え面) 木部	1種	C種	m
EP-G塗り(つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り)	細幅物糸幅300mm以下(下地RA種 新規面) 木部		A種	m
EP-G塗り(つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り)	細幅物糸幅300mm以下(下地RB種 塗替え面) 木部		B種	m
EP-G塗り(つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り)	細幅物糸幅300mm以下(下地RC種 塗替え面) 木部		B種	m
CL塗り (クリアラッカー塗り)	細幅物糸幅300mm以下(下地RB種 塗替え面) 木部		A種	m
CL塗り (クリアラッカー塗り)	細幅物糸幅300mm以下(下地RB種 塗替え面) 木部		B種	m
LE塗り (ラッカーエナメル塗り)	細幅物糸幅300mm以下(下地RA種 塗替え面) 木部		A種	m
LE塗り (ラッカーエナメル塗り)	細幅物糸幅300mm以下(下地RA種 塗替え面) 木部		B種	m
OS塗り (オイルステイン塗り)	細幅物糸幅300mm以下(下地RB種 塗替え面) 木部			m

第 16 項 内 外 装

1 一般事項

細目工種は、単価基準によるほか表A16-1～表16-6による。

2 単価、価格等

(1) 床仕上げ材張り

完成時の清掃及び樹脂ワックス掛けは直接仮設の整理清掃後片付けに含む。

(2) 壁せっこうボード張り

継目処理工法による施工の場合は、突付け工法に対して単価基準 第2編 第1章第18節 表A1-18-9のせっこうボード継目処理の単価を加算する。

(3) 壁紙張り

壁紙張りの壁紙の所要量は、無地又はリピートサイズの小さい模様を標準としている。リピートサイズの大きな模様の場合は適宜補正する。

(4) 天井壁紙張り

天井壁紙張りの壁紙の所要量は、無地又はリピートサイズの小さい模様を標準としている。リピートサイズの大きな模様の場合は適宜補正する。

表 A16 - 1 補正市場単価 (内装床材類)

細目	摘要	単位	備考
階段ビニル床シート張り	厚2.0mm 複層ビニル床シート マーブル FS	m ²	
階段ビニル床シート張り	厚2.5mm 複層ビニル床シート マーブル FS	m ²	
床ビニル床タイル張り	厚2.0mm コボジションビニル床タイル KT 多湿部	m ²	
<u>床ビニル床タイル張り</u>	<u>厚2.0mm コボジションビニル床タイル KT 帯電防止</u>	<u>m²</u>	
ビニル幅木 (ワト幅木)	H=75mm	m	
ビニル幅木 (ワト幅木)	H=100mm	m	

表 A16 - 2 補正市場単価 (内装床材類)

細目	摘要	単位	備考
床ビニル床シート張り	厚2.0mm 複層ビニル床シート マーブル FS 熱溶接工法	m ²	
床ビニル床シート張り	厚2.0mm 複層ビニル床シート 無地 FS 突付工法	m ²	
床ビニル床シート張り	厚2.0mm 複層ビニル床シート マーブル FS 突付工法	m ²	
<u>床ビニル床シート張り</u>	<u>厚2.0mm 複層ビニル床シート 無地 FS 突付工法 帯電防止</u>	<u>m²</u>	
<u>床ビニル床シート張り</u>	<u>厚2.0mm 複層ビニル床シート 無地 FS 熱溶接工法 帯電防止</u>	<u>m²</u>	
<u>床ビニル床シート張り</u>	<u>厚2.0mm 複層ビニル床シート 無地 FS 突付工法 防滑仕様</u>	<u>m²</u>	
<u>床ビニル床シート張り</u>	<u>厚2.0mm 複層ビニル床シート 無地 FS 熱溶接工法 防滑仕様</u>	<u>m²</u>	
床ビニル床シート張り	厚2.0mm 複層ビニル床シート 無地 FS 熱溶接工法 多湿部	m ²	
床ビニル床シート張り	厚2.0mm 複層ビニル床シート マーブル FS 熱溶接工法 多湿部	m ²	
床ビニル床シート張り	厚2.0mm 複層ビニル床シート 無地 FS 突付工法 多湿部	m ²	
床ビニル床シート張り	厚2.0mm 複層ビニル床シート マーブル FS 突付工法 多湿部	m ²	
床ビニル床シート張り	厚2.5mm 複層ビニル床シート マーブル FS 熱溶接工法	m ²	
床ビニル床シート張り	厚2.5mm 複層ビニル床シート 無地 FS 突付工法	m ²	
床ビニル床シート張り	厚2.5mm 複層ビニル床シート マーブル FS 突付工法	m ²	
床ビニル床シート張り	厚2.5mm 複層ビニル床シート 無地 FS 熱溶接工法 多湿部	m ²	
床ビニル床シート張り	厚2.5mm 複層ビニル床シート マーブル FS 熱溶接工法 多湿部	m ²	
床ビニル床シート張り	厚2.5mm 複層ビニル床シート 無地 FS 突付工法 多湿部	m ²	
床ビニル床シート張り	厚2.5mm 複層ビニル床シート マーブル FS 突付工法 多湿部	m ²	
<u>床ビニル床シート張り</u>	<u>厚2.5mm 複層ビニル床シート 無地 FS 熱溶接工法 帯電防止</u>	<u>m²</u>	
<u>床ビニル床シート張り</u>	<u>厚2.5mm 複層ビニル床シート 無地 FS 突付工法 帯電防止</u>	<u>m²</u>	
<u>床ビニル床シート張り</u>	<u>厚2.5mm 複層ビニル床シート 柄 FS 熱溶接工法 防滑仕様</u>	<u>m²</u>	
<u>床ビニル床シート張り</u>	<u>厚2.5mm 複層ビニル床シート 柄 FS 突付工法 防滑仕様</u>	<u>m²</u>	

(4) 天井壁紙張り

天井壁紙張りの壁紙の所要量は、無地又はリピートサイズの小さい模様を標準としている。リピートサイズの大きな模様の場合は適宜補正する。

表 A16 - 1 補正市場単価 (内装床材類)

細目	摘要	単位	備考
階段ビニル床シート張り	厚2.0mm 複層ビニル床シート マーブル FS	m ²	
階段ビニル床シート張り	厚2.5mm 複層ビニル床シート マーブル FS	m ²	
床ビニル床タイル張り	厚2.0mm コボジションビニル床タイル KT 多湿部	m ²	
ビニル幅木 (ワト幅木)	H=75mm	m	
ビニル幅木 (ワト幅木)	H=100mm	m	

表 A16 - 2 補正市場単価 (内装床材類)

細目	摘要	単位	備考
床ビニル床シート張り	厚2.0mm 複層ビニル床シート マーブル FS 熱溶接工法	m ²	
床ビニル床シート張り	厚2.0mm 複層ビニル床シート 無地 FS 突付工法	m ²	
床ビニル床シート張り	厚2.0mm 複層ビニル床シート マーブル FS 突付工法	m ²	
床ビニル床シート張り	厚2.0mm 複層ビニル床シート 無地 FS 熱溶接工法 多湿部	m ²	
床ビニル床シート張り	厚2.0mm 複層ビニル床シート マーブル FS 熱溶接工法 多湿部	m ²	
床ビニル床シート張り	厚2.0mm 複層ビニル床シート 無地 FS 突付工法 多湿部	m ²	
床ビニル床シート張り	厚2.5mm 複層ビニル床シート マーブル FS 熱溶接工法	m ²	
床ビニル床シート張り	厚2.5mm 複層ビニル床シート 無地 FS 突付工法	m ²	
床ビニル床シート張り	厚2.5mm 複層ビニル床シート マーブル FS 突付工法	m ²	
床ビニル床シート張り	厚2.5mm 複層ビニル床シート 無地 FS 熱溶接工法 多湿部	m ²	
床ビニル床シート張り	厚2.5mm 複層ビニル床シート マーブル FS 熱溶接工法 多湿部	m ²	
床ビニル床シート張り	厚2.5mm 複層ビニル床シート 無地 FS 突付工法 多湿部	m ²	
床ビニル床シート張り	厚2.5mm 複層ビニル床シート マーブル FS 突付工法 多湿部	m ²	
稲妻ビニル幅木 (ワト幅木)	H=60mm	m	
稲妻ビニル幅木 (ワト幅木)	H=75mm	m	
稲妻ビニル幅木 (ワト幅木)	H=100mm	m	

稲妻型幅木 (ワ幅木)	H=60mm	m	
稲妻型幅木 (ワ幅木)	H=75mm	m	
稲妻型幅木 (ワ幅木)	H=100mm	m	

第 19 項 構内舗装

1 一般事項

建物周囲の構内通路、前庭まわり、駐車場、歩道等の 1 施工区画の面積が 2, 500 m²未満の場合に適用する。

2 単価、価格等

(1) アスファルト舗装

単価は 1 区画の施工規模とする。(舗装部分が建物等によって分離している場合や縁石等によって区分されている場合は、それぞれ 1 区画の施工規模とする。

なお、幅の狭い歩道等で人力施工となる場合は、「特に狭い場所」を適用する。

(2) 舗装機械運搬

機械の機種の手配は、表 A 19 - 1 による。

表 A19 - 1

施工規模別舗装機械運搬組合せ

機 械 名	規 格	施 工 規 模			
		特に狭い 場所	500m ² 未満	500m ² 以上 1,000m ² 未満	1,000m ² 以上 2,500m ² 未満
モータクレーン	油圧式3.1m級		○	○	○
振動ローラ	2.4～2.8t	○	○	○	○
タイヤローラ	8～20t			○	○
ロードローラ	マカダム10t			○	○
アスファルトフィニッシャー	2.0～4.5m		○	○	○

第 19 項 構内舗装

1 一般事項

建物周囲の構内通路、前庭まわり、駐車場、歩道等の 1 施工区画の面積が 2, 500 m²未満の場合に適用する。

2 単価、価格等

(1) アスファルト舗装

単価は 1 区画の施工規模とする。(舗装部分が建物等によって分離している場合や縁石等によって区分されている場合は、それぞれ 1 区画の施工規模とする。

なお、幅の狭い歩道等で人力施工となる場合は、「特に狭い場所」を適用する。

(2) 舗装機械運搬

機械の機種の手配は、表 A 19 - 1 による。

表 A19 - 1

施工規模別舗装機械運搬組合せ

機 械 名	規 格	施 工 規 模			
		特に狭い 場所	500m ² 未満	500m ² 以上 1,000m ² 未満	1,000m ² 以上 2,500m ² 未満
モータクレーン	油圧式3.1m級		○	○	○
振動ローラ	2.4～2.8t	○	○	○	○
タイヤローラ	8～20t			○	○
ロードローラ	マカダム10t			○	○
アスファルトフィニッシャー	2.4～4.5m		○	○	○

附表 補正市場単価算出方法

【 塗装 】 改修工事は、【 塗装改修 】を参照する。

市場単価

細 目	摘 要			単位	単価記号	
	下地種類等	塗装種別	作業工程			
錆止め塗り	現場1回 鉄鋼面(屋内外)	A種	A種	m ²	A	
錆止め塗り	現場1回 鉄鋼面(屋内)	B種	A種	m ²	B	
錆止め塗り	現場1回 亜鉛めっき鋼・鋼製建具面(屋内外)	A種	A種	m ²	C	
SOP塗り	鉄鋼・亜鉛めっき鋼・鋼製建具面(屋内外)	1種	B種	m ²	D	
SOP塗り	(素地ごしらえA種共)木部(屋内)	1種	B種	m ²	E	
EP塗り	(素地ごしらえB種共) せっこうボード面		B種	m ²	F	
EP塗り	(素地ごしらえB種共) けい酸カルシウム板・モルタル面		B種	m ²	R	
DP塗り	鉄鋼・亜鉛めっき鋼・鋼製建具面	1級		m ²	G	
CL塗り	(素地ごしらえB種共)木部		B種	m ²	I	
OS塗り	(素地ごしらえB種共)木部			m ²	J	
SOP塗り	細幅物糸幅300mm以下 (素地ごしらえA種共)木部(屋内)	1種	B種	m	K	
SOP塗り	細幅物糸幅300mm以下 (錆止め現場1回共)鉄鋼面(屋内)		B種	m	L	
CL塗り	細幅物糸幅300mm以下(素地ごしらえB種共)木部		B種	m	M	
OS塗り	細幅物糸幅300mm以下(素地ごしらえB種共)木部			m	N	
素地ごしらえ	木部(屋内)		A種	m ²	O	
素地ごしらえ	せっこうボード面		B種	m ²	P	
素地ごしらえ	けい酸カルシウム板・モルタル面		B種	m ²	S	
素地ごしらえ	押出成形セメント板面		B種	m ²	Q	

参考歩掛り(標仕仕様)

細 目	摘 要			単位	歩掛り記号	表番号
	下地種類等	塗装種別	作業工程			
錆止め塗り	現場1回 鉄鋼面(仕様:第8節)	鉛70μ2種	A種	m ²	1	表RA-17-7
錆止め塗り	現場1回 鉄鋼面(仕様:第8節)	鉛70μ2種	B種	m ²	2	表RA-17-7
錆止め塗り	現場1回 鉄鋼面 素地ごしらえ別途(仕様:第4節)	鉛70μ1種	A種	m ²	119	表RA-17-7
錆止め塗り	現場1回 鉄鋼面 素地ごしらえ別途(仕様:第4節)	鉛70μ1種	B種	m ²	3	表RA-17-7
錆止め塗り	工場1回 鉄鋼面 素地ごしらえ別途(仕様:第4節)	鉛70μ1種	A,B種	m ²	4	表RA-17-7
SOP塗り(合成樹脂調合ペイント塗り)	木部 素地ごしらえ別途	1種	A種	m ²	120	表RA-17-8
SOP塗り(合成樹脂調合ペイント塗り)	木部 素地ごしらえ別途	1種	B種	m ²	121	表RA-17-8
SOP塗り(合成樹脂調合ペイント塗り)	鉄鋼面(屋内外)	1種	A種	m ²	9	表RA-17-8
SOP塗り(合成樹脂調合ペイント塗り)	鉄鋼面(屋内外)	1種	B種	m ²	d 1	表RA-17-8
EP塗り(合成樹脂エマルジョンペイント塗り)	一般面 素地ごしらえ別途		A種	m ²	12	表RA-17-9
EP塗り(合成樹脂エマルジョンペイント塗り)	見上げ面 素地ごしらえ別途		A種	m ²	13	表RA-17-9
EP塗り(合成樹脂エマルジョンペイント塗り)	一般面 素地ごしらえ別途		B種	m ²	122	表RA-17-9
EP塗り(合成樹脂エマルジョンペイント塗り)	見上げ面 素地ごしらえ別途		B種	m ²	123	表RA-17-9
EP-G塗り(つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り)	一般面 素地ごしらえ別途		A種	m ²	44	表RA-17-10
EP-G塗り(つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り)	見上げ面 素地ごしらえ別途		A種	m ²	45	表RA-17-10

【 塗装 】 改修工事は、【 塗装改修 】を参照する。

市場単価

細 目	摘 要			単位	単価記号	
	下地種類等	塗装種別	作業工程			
錆止め塗り	現場1回 鉄鋼面(屋内外)	A種	A種	m ²	A	
錆止め塗り	現場1回 鉄鋼面(屋内)	B種	A種	m ²	B	
錆止め塗り	現場1回 亜鉛めっき鋼・鋼製建具面(屋内外)	A種	A種	m ²	C	
SOP塗り	鉄鋼・亜鉛めっき鋼・鋼製建具面(屋内外)	1種	B種	m ²	D	
SOP塗り	(素地ごしらえA種共)木部(屋内)	1種	B種	m ²	E	
EP塗り	(素地ごしらえB種共) せっこうボード面		B種	m ²	F	
EP塗り	(素地ごしらえB種共) けい酸カルシウム板・モルタル面		B種	m ²	R	
DP塗り	鉄鋼・亜鉛めっき鋼・鋼製建具面	1級		m ²	G	
CL塗り	(素地ごしらえB種共)木部		B種	m ²	I	
OS塗り	(素地ごしらえB種共)木部			m ²	J	
SOP塗り	細幅物糸幅300mm以下 (素地ごしらえA種共)木部(屋内)	1種	B種	m	K	
SOP塗り	細幅物糸幅300mm以下 (錆止め現場1回共)鉄鋼面(屋内)		B種	m	L	
CL塗り	細幅物糸幅300mm以下(素地ごしらえB種共)木部		B種	m	M	
OS塗り	細幅物糸幅300mm以下(素地ごしらえB種共)木部			m	N	
素地ごしらえ	木部(屋内)		A種	m ²	O	
素地ごしらえ	せっこうボード面		B種	m ²	P	
素地ごしらえ	けい酸カルシウム板・モルタル面		B種	m ²	S	
素地ごしらえ	押出成形セメント板面		B種	m ²	Q	

参考歩掛り(標仕仕様)

細 目	摘 要			単位	歩掛り記号	表番号
	下地種類等	塗装種別	作業工程			
錆止め塗り	現場1回 鉄鋼面(仕様:第8節)	水系	A種	m ²	1	表RA-17-7
錆止め塗り	現場1回 鉄鋼面(仕様:第8節)	水系	B種	m ²	2	表RA-17-7
錆止め塗り	現場1回 鉄鋼面 素地ごしらえ別途	A種	A種	m ²	119	表RA-17-7
錆止め塗り	現場1回 鉄鋼面 素地ごしらえ別途	A種	B種	m ²	3	表RA-17-7
錆止め塗り	工場1回 鉄鋼面 素地ごしらえ別途	A種	A,B種	m ²	4	表RA-17-7
SOP塗り(合成樹脂調合ペイント塗り)	木部 素地ごしらえ別途	1種	A種	m ²	120	表RA-17-8
SOP塗り(合成樹脂調合ペイント塗り)	木部 素地ごしらえ別途	1種	B種	m ²	121	表RA-17-8
SOP塗り(合成樹脂調合ペイント塗り)	鉄鋼面(屋内外)	1種	A種	m ²	9	表RA-17-8
SOP塗り(合成樹脂調合ペイント塗り)	鉄鋼面(屋内外)	1種	B種	m ²	d 1	表RA-17-8
EP塗り(合成樹脂エマルジョンペイント塗り)	一般面 素地ごしらえ別途		A種	m ²	12	表RA-17-9
EP塗り(合成樹脂エマルジョンペイント塗り)	見上げ面 素地ごしらえ別途		A種	m ²	13	表RA-17-9
EP塗り(合成樹脂エマルジョンペイント塗り)	一般面 素地ごしらえ別途		B種	m ²	122	表RA-17-9
EP塗り(合成樹脂エマルジョンペイント塗り)	見上げ面 素地ごしらえ別途		B種	m ²	123	表RA-17-9
EP-G塗り(つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り)	一般面 素地ごしらえ別途		A種	m ²	44	表RA-17-10
EP-G塗り(つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り)	見上げ面 素地ごしらえ別途		A種	m ²	45	表RA-17-10

** 補正市場単価 **

細 目	摘 要			単位	市場単価	算定式
	下地種類等	塗装種別	作業工程			
EP-G塗り(つや有合成樹脂エマルジョン ^ペ イト塗り)	屋内木部 素地ごしらえ別途			m ²	R-S	109 ÷ 122
EP-G塗り(つや有合成樹脂エマルジョン ^ペ イト塗り)	屋内鉄鋼面 錆止別途		A種	m ²	R-S	111 ÷ 122
EP-G塗り(つや有合成樹脂エマルジョン ^ペ イト塗り)	屋内鉄鋼面 錆止別途		B種	m ²	R-S	114 ÷ 122
EP-G塗り(つや有合成樹脂エマルジョン ^ペ イト塗り)	屋内亜鉛めっき鋼面 錆止別途			m ²	R-S	117 ÷ 122
アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り	珪砂面・コンクリート面・押出成形セメント板面 素地ごしらえ別途		A種	m ²	R-S	76 ÷ 122
アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り	珪砂面・コンクリート面・押出成形セメント板面 素地ごしらえ別途		B種	m ²	R-S	78 ÷ 122
<u>CL塗り(クリアック塗り)</u>	<u>木部 素地ごしらえB種 (R4標仕仕様)</u>		<u>B種</u>	<u>m²</u>	<u>I</u>	<u>1.0</u>
CL塗り(クリアック塗り)	木部 素地ごしらえ別途 (R4標仕仕様)		A種	m ²	I-O※	94 ÷ i × 1.0
CL塗り(クリアック塗り)	木部 素地ごしらえ別途 (R4標仕仕様)		B種	m ²	I-O※	1.0
LE塗り(フッカーエマル塗り)	木部 素地ごしらえ別途		A種	m ²	I-O※	95 ÷ i
LE塗り(フッカーエマル塗り)	木部 素地ごしらえ別途		B種	m ²	I-O※	96 ÷ i
SOP塗り(合成樹脂調合 ^ペ イト塗り)	細幅物糸幅300mm以下(素地ごしらえA種共) 木部	1種	A種(屋外)	m	K	124 ÷ 125
EP-G塗り(つや有合成樹脂エマルジョン ^ペ イト塗り)	細幅物糸幅300mm以下(素地ごしらえA種共)木部			m	K	97 ÷ 125
<u>CL塗り(クリアック塗り)</u>	<u>細幅物糸幅300mm以下(素地ごしらえB種共)木部 (R4標仕仕様)</u>		<u>B種</u>	<u>m</u>	<u>M</u>	<u>1.0</u>
CL塗り(クリアック塗り)	細幅物糸幅300mm以下(素地ごしらえB種共)木部 (R4標仕仕様)		A種	m	M	98 ÷ m × 1.0
LE塗り(フッカーエマル塗り)	細幅物糸幅300mm以下(素地ごしらえA種共)木部		A種	m	M	129 ÷ m
LE塗り(フッカーエマル塗り)	細幅物糸幅300mm以下(素地ごしらえA種共)木部		B種	m	M	130 ÷ m
素地ごしらえ	木部		A種(屋外)	m ²	O	126 ÷ 127
素地ごしらえ	木部		B種	m ²	O	99 ÷ 127
素地ごしらえ	木部(屋内) セラックニス		A種	m ²	O	131 ÷ 127
素地ごしらえ	鉄鋼面		B種	m ²	S	100 ÷ p1
素地ごしらえ	鉄鋼面		C種	m ²	S	101 ÷ p1
素地ごしらえ	珪砂面及びせっこうプラスタ ^ー 面		A種	m ²	S	102 ÷ p1
素地ごしらえ	珪砂面及びせっこうプラスタ ^ー 面 (付着物の除去)			m ²	S	103 ÷ p1
素地ごしらえ	コンクリート面		A種	m ²	S	104 ÷ p1
素地ごしらえ	コンクリート面		B種	m ²	S	105 ÷ p1
素地ごしらえ	せっこうボ ^ー ド ^ー 面及びその他ボ ^ー ド ^ー 面		A種	m ²	P	106 ÷ 128
素地ごしらえ	けい酸カルシウム板面		A種	m ²	S	107 ÷ p1
素地ごしらえ	押出成形セメント板面		A種	m ²	Q	108 ÷ q

※「素地ごしらえ 木部 B種」に補正した補正市場単価をもちいる。

** 補正市場単価 **

細 目	摘 要			単位	市場単価	算定式
	下地種類等	塗装種別	作業工程			
EP-G塗り(つや有合成樹脂エマルジョン ^ペ イト塗り)	屋内木部 素地ごしらえ別途			m ²	R-S	109 ÷ 122
EP-G塗り(つや有合成樹脂エマルジョン ^ペ イト塗り)	屋内鉄鋼面 錆止別途		A種	m ²	R-S	111 ÷ 122
EP-G塗り(つや有合成樹脂エマルジョン ^ペ イト塗り)	屋内鉄鋼面 錆止別途		B種	m ²	R-S	114 ÷ 122
EP-G塗り(つや有合成樹脂エマルジョン ^ペ イト塗り)	屋内亜鉛めっき鋼面 錆止別途			m ²	R-S	117 ÷ 122
アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り	珪砂面・コンクリート面・押出成形セメント板面 素地ごしらえ別途		A種	m ²	R-S	76 ÷ 122
アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り	珪砂面・コンクリート面・押出成形セメント板面 素地ごしらえ別途		B種	m ²	R-S	78 ÷ 122
CL塗り(クリアック塗り)	木部 素地ごしらえ別途		A種	m ²	I-O※	94 ÷ i
CL塗り(クリアック塗り)	木部 素地ごしらえ別途		B種	m ²	I-O※	—
LE塗り(フッカーエマル塗り)	木部 素地ごしらえ別途		A種	m ²	I-O※	95 ÷ i
LE塗り(フッカーエマル塗り)	木部 素地ごしらえ別途		B種	m ²	I-O※	96 ÷ i
SOP塗り(合成樹脂調合 ^ペ イト塗り)	細幅物糸幅300mm以下(素地ごしらえA種共) 木部	1種	A種(屋外)	m	K	124 ÷ 125
EP-G塗り(つや有合成樹脂エマルジョン ^ペ イト塗り)	細幅物糸幅300mm以下(素地ごしらえA種共)木部			m	K	97 ÷ 125
CL塗り(クリアック塗り)	細幅物糸幅300mm以下(素地ごしらえB種共)木部		A種	m	M	98 ÷ m
LE塗り(フッカーエマル塗り)	細幅物糸幅300mm以下(素地ごしらえA種共)木部		A種	m	M	129 ÷ m
LE塗り(フッカーエマル塗り)	細幅物糸幅300mm以下(素地ごしらえA種共)木部		B種	m	M	130 ÷ m
素地ごしらえ	木部		A種(屋外)	m ²	O	126 ÷ 127
素地ごしらえ	木部		B種	m ²	O	99 ÷ 127
素地ごしらえ	木部(屋内) セラックニス		A種	m ²	O	131 ÷ 127
素地ごしらえ	鉄鋼面		B種	m ²	S	100 ÷ p1
素地ごしらえ	鉄鋼面		C種	m ²	S	101 ÷ p1
素地ごしらえ	珪砂面及びせっこうプラスタ ^ー 面		A種	m ²	S	102 ÷ p1
素地ごしらえ	珪砂面及びせっこうプラスタ ^ー 面 (付着物の除去)			m ²	S	103 ÷ p1
素地ごしらえ	コンクリート面		A種	m ²	S	104 ÷ p1
素地ごしらえ	コンクリート面		B種	m ²	S	105 ÷ p1
素地ごしらえ	せっこうボ ^ー ド ^ー 面及びその他ボ ^ー ド ^ー 面		A種	m ²	P	106 ÷ 128
素地ごしらえ	けい酸カルシウム板面		A種	m ²	S	107 ÷ p1
素地ごしらえ	押出成形セメント板面		A種	m ²	Q	108 ÷ q

※「素地ごしらえ 木部 B種」に補正した補正市場単価をもちいる。

【 塗装改修 】

補正市場単価

細目	摘要			単位	市場単価	算定式
	下地種類等	塗装種別	作業工程			
錆止め塗り	現場1回 鉄鋼面(屋内外)新規面(仕様:第5節)	鉛クロム1種	A種	m ²	A	2' ÷ 119
錆止め塗り	現場1回 鉄鋼面(屋内外)新規面(仕様:第5節)	鉛クロム1種	B種	m ²	A	4' ÷ 119
錆止め塗り	現場2回 鉄鋼面(屋内外)塗替え面(仕様:第5節)	鉛クロム1種	C種	m ²	A	5' ÷ 119
錆止め塗り	工場1回 鉄鋼面(屋内外)新規面(仕様:第5節)	鉛クロム1種	A,B種	m ²	A	6' ÷ 119
錆止め塗り	現場1回 鉄鋼面(屋内)新規面(仕様:第9節)	鉛クロム2種	A種	m ²	B	10' ÷ 1
錆止め塗り	現場1回 鉄鋼面(屋内)新規面(仕様:第9節)	鉛クロム2種	B種	m ²	B	14' ÷ 1
錆止め塗り	現場2回 鉄鋼面(屋内)塗替え面(仕様:第9節)	鉛クロム2種	C種	m ²	B	16' ÷ 1
錆止め塗り	工場1回 鉄鋼面(屋内)新規面(仕様:第9節)	鉛クロム2種	A,B種	m ²	B	18' ÷ 1
SOP塗り(合成樹脂調合ペイント塗り)	細幅物糸幅300mm以下(下地RA種 新規面) 木部	1種	B種	m	K	39' ÷ 125
SOP塗り(合成樹脂調合ペイント塗り)	細幅物糸幅300mm以下(下地RB種 塗替面) 木部	1種	B種	m	K	40' ÷ 125
SOP塗り(合成樹脂調合ペイント塗り)	細幅物糸幅300mm以下(下地RC種 塗替面) 木部	1種	C種	m	K	41' ÷ 125
EP-G塗り(つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り)	細幅物糸幅300mm以下(下地RA種 新規面) 木部		A種	m	K	42' ÷ 125
EP-G塗り(つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り)	細幅物糸幅300mm以下(下地RB種 塗替面) 木部		B種	m	K	43' ÷ 125
EP-G塗り(つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り)	細幅物糸幅300mm以下(下地RC種 塗替面) 木部		C種	m	K	44' ÷ 125
CL塗り(クリアツッカー塗り)	細幅物糸幅300mm以下(下地RB種 塗替面) 木部 <u>(R4改修標仕仕様)</u>		A種	m	M	45' ÷ m × 1.0
CL塗り(クリアツッカー塗り)	細幅物糸幅300mm以下(下地RB種 塗替面) 木部 <u>(R4改修標仕仕様)</u>		B種	m	M	46' ÷ m × 1.0
LE塗り(ツッカーエマル塗り)	細幅物糸幅300mm以下(下地RA種 塗替面) 木部		A種	m	M	134' ÷ m
LE塗り(ツッカーエマル塗り)	細幅物糸幅300mm以下(下地RA種 塗替面) 木部		B種	m	M	135' ÷ m
OS塗り(オイルステイン塗り)	細幅物糸幅300mm以下(下地RB種 塗替面) 木部			m	N	47' ÷ n

【 塗装改修 】

補正市場単価

細目	摘要			単位	市場単価	算定式
	下地種類等	塗装種別	作業工程			
錆止め塗り	現場1回 鉄鋼面(屋内外)新規面	A種	A種	m ²	A	2' ÷ 119
錆止め塗り	現場1回 鉄鋼面(屋内外)新規面	A種	B種	m ²	A	4' ÷ 119
錆止め塗り	現場2回 鉄鋼面(屋内外)塗替え面	A種	C種	m ²	A	5' ÷ 119
錆止め塗り	工場1回 鉄鋼面(屋内外)新規面	A種	A,B種	m ²	A	6' ÷ 119
錆止め塗り	現場1回 鉄鋼面(屋内)新規面	水系	A種	m ²	B	10' ÷ 1
錆止め塗り	現場1回 鉄鋼面(屋内)新規面	水系	B種	m ²	B	14' ÷ 1
錆止め塗り	現場2回 鉄鋼面(屋内)塗替え面	水系	C種	m ²	B	16' ÷ 1
錆止め塗り	工場1回 鉄鋼面(屋内)新規面	水系	A,B種	m ²	B	18' ÷ 1
SOP塗り(合成樹脂調合ペイント塗り)	細幅物糸幅300mm以下(下地RA種 新規面) 木部	1種	B種	m	K	39' ÷ 125
SOP塗り(合成樹脂調合ペイント塗り)	細幅物糸幅300mm以下(下地RB種 塗替面) 木部	1種	B種	m	K	40' ÷ 125
SOP塗り(合成樹脂調合ペイント塗り)	細幅物糸幅300mm以下(下地RC種 塗替面) 木部	1種	C種	m	K	41' ÷ 125
EP-G塗り(つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り)	細幅物糸幅300mm以下(下地RA種 新規面) 木部		A種	m	K	42' ÷ 125
EP-G塗り(つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り)	細幅物糸幅300mm以下(下地RB種 塗替面) 木部		B種	m	K	43' ÷ 125
EP-G塗り(つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り)	細幅物糸幅300mm以下(下地RC種 塗替面) 木部		C種	m	K	44' ÷ 125
CL塗り(クリアツッカー塗り)	細幅物糸幅300mm以下(下地RB種 塗替面) 木部		A種	m	M	45' ÷ m
CL塗り(クリアツッカー塗り)	細幅物糸幅300mm以下(下地RB種 塗替面) 木部		B種	m	M	46' ÷ m
LE塗り(ツッカーエマル塗り)	細幅物糸幅300mm以下(下地RA種 塗替面) 木部		A種	m	M	134' ÷ m
LE塗り(ツッカーエマル塗り)	細幅物糸幅300mm以下(下地RA種 塗替面) 木部		B種	m	M	135' ÷ m
OS塗り(オイルステイン塗り)	細幅物糸幅300mm以下(下地RB種 塗替面) 木部			m	N	47' ÷ n

** 補正市場単価 **

細 目	摘 要			単位	市場単価	算定式
	下地種類等	塗装種別	作業工程			
SOP塗り(合成樹脂調合ペイント塗り)	木部 下地調整別途	1種	A種	m ²	E-O	48' ÷ 121
SOP塗り(合成樹脂調合ペイント塗り)	木部 下地調整別途	1種	B種	m ²	E-O	50' ÷ 121
SOP塗り(合成樹脂調合ペイント塗り)	木部 下地調整別途	1種	C種	m ²	E-O	52' ÷ 121
SOP塗り(合成樹脂調合ペイント塗り)	鉄鋼面(新規面) 錆止別途 下地調整別途	1種	A種	m ²	D	54' ÷ d1
SOP塗り(合成樹脂調合ペイント塗り)	鉄鋼面(塗替え面) 錆止別途 下地調整別途	1種	A種	m ²	D	319' ÷ d1
SOP塗り(合成樹脂調合ペイント塗り)	鉄鋼面(新規面) 錆止別途 下地調整別途	1種	B種	m ²	D	55' ÷ d1
SOP塗り(合成樹脂調合ペイント塗り)	鉄鋼面(塗替え面) 錆止別途 下地調整別途	1種	B種	m ²	D	320' ÷ d1
SOP塗り(合成樹脂調合ペイント塗り)	鉄鋼面(塗替え面) 錆止別途 下地調整別途	1種	C種	m ²	D	61' ÷ d1
ｱｸﾘﾙ樹脂系非水分散形塗料塗り	珪藻面・コンクリート面・押出成形セメント板面 下地調整別途		A種	m ²	R-S	76' ÷ 122
ｱｸﾘﾙ樹脂系非水分散形塗料塗り	珪藻面・コンクリート面・押出成形セメント板面 下地調整別途		B種	m ²	R-S	78' ÷ 122
CL塗り(ｸﾘｱﾌﾗｯｸ-塗り)	木部 下地調整別途(R4改修標仕仕様)		A種	m ²	I-O*	105' ÷ i × 1.0
CL塗り(ｸﾘｱﾌﾗｯｸ-塗り)	木部 下地調整別途(R4改修標仕仕様)		B種	m ²	I-O*	1.0
LE塗り(ﾌﾗｯｸ-ｲﾂﾈﾙ塗り)	木部 下地調整別途		A種	m ²	I-O*	132' ÷ i
LE塗り(ﾌﾗｯｸ-ｲﾂﾈﾙ塗り)	木部 下地調整別途		B種	m ²	I-O*	133' ÷ i
OS塗り(ｵｲﾙｽﾃｲﾝ塗り)	木部 下地調整RB種共(塗替え面)			m ²	J	277' ÷ 99
EP塗り(合成樹脂エマルジョンペイント塗り)	せっこうボード面 一般面 下地調整別途		A種	m ²	F-P	110' ÷ 122
EP塗り(合成樹脂エマルジョンペイント塗り)	せっこうボード面 見上げ面 下地調整別途		A種	m ²	F-P	111' ÷ 122
EP塗り(合成樹脂エマルジョンペイント塗り)	せっこうボード面 一般面 下地調整別途		B種	m ²	F-P	112' ÷ 122
EP塗り(合成樹脂エマルジョンペイント塗り)	せっこうボード面 見上げ面 下地調整別途		B種	m ²	F-P	113' ÷ 122
EP塗り(合成樹脂エマルジョンペイント塗り)	せっこうボード面 一般面 下地調整別途		C種	m ²	F-P	118' ÷ 122
EP塗り(合成樹脂エマルジョンペイント塗り)	せっこうボード面 見上げ面 下地調整別途		C種	m ²	F-P	120' ÷ 122
EP塗り(合成樹脂エマルジョンペイント塗り)	けい酸カルシウム板面・珪藻面・コンクリート面・押出成形セメント板面 一般面 下地調整別途		A種	m ²	R-S	110' ÷ 122
EP塗り(合成樹脂エマルジョンペイント塗り)	けい酸カルシウム板面・珪藻面・コンクリート面・押出成形セメント板面 見上げ面 下地調整別途		A種	m ²	R-S	111' ÷ 122
EP塗り(合成樹脂エマルジョンペイント塗り)	けい酸カルシウム板面・珪藻面・コンクリート面・押出成形セメント板面 一般面 下地調整別途		B種	m ²	R-S	112' ÷ 122
EP塗り(合成樹脂エマルジョンペイント塗り)	けい酸カルシウム板面・珪藻面・コンクリート面・押出成形セメント板面 見上げ面 下地調整別途		B種	m ²	R-S	113' ÷ 122
EP塗り(合成樹脂エマルジョンペイント塗り)	けい酸カルシウム板面・珪藻面・コンクリート面・押出成形セメント板面 一般面 下地調整別途		C種	m ²	R-S	118' ÷ 122
EP塗り(合成樹脂エマルジョンペイント塗り)	けい酸カルシウム板面・珪藻面・コンクリート面・押出成形セメント板面 見上げ面 下地調整別途		C種	m ²	R-S	120' ÷ 122

※「素地ごしらせ 木部 B種」に補正した補正市場単価をもちいる。

** 補正市場単価 **

細 目	摘 要			単位	市場単価	算定式
	下地種類等	塗装種別	作業工程			
SOP塗り(合成樹脂調合ペイント塗り)	木部 下地調整別途	1種	A種	m ²	E-O	48' ÷ 121
SOP塗り(合成樹脂調合ペイント塗り)	木部 下地調整別途	1種	B種	m ²	E-O	50' ÷ 121
SOP塗り(合成樹脂調合ペイント塗り)	木部 下地調整別途	1種	C種	m ²	E-O	52' ÷ 121
SOP塗り(合成樹脂調合ペイント塗り)	鉄鋼面(新規面) 錆止別途 下地調整別途	1種	A種	m ²	D	54' ÷ d1
SOP塗り(合成樹脂調合ペイント塗り)	鉄鋼面(塗替え面) 錆止別途 下地調整別途	1種	A種	m ²	D	319' ÷ d1
SOP塗り(合成樹脂調合ペイント塗り)	鉄鋼面(新規面) 錆止別途 下地調整別途	1種	B種	m ²	D	55' ÷ d1
SOP塗り(合成樹脂調合ペイント塗り)	鉄鋼面(塗替え面) 錆止別途 下地調整別途	1種	B種	m ²	D	320' ÷ d1
SOP塗り(合成樹脂調合ペイント塗り)	鉄鋼面(塗替え面) 錆止別途 下地調整別途	1種	C種	m ²	D	61' ÷ d1
ｱｸﾘﾙ樹脂系非水分散形塗料塗り	珪藻面・コンクリート面・押出成形セメント板面 下地調整別途		A種	m ²	R-S	76' ÷ 122
ｱｸﾘﾙ樹脂系非水分散形塗料塗り	珪藻面・コンクリート面・押出成形セメント板面 下地調整別途		B種	m ²	R-S	78' ÷ 122
CL塗り(ｸﾘｱﾌﾗｯｸ-塗り)	木部 下地調整別途		A種	m ²	I-O*	105' ÷ i
CL塗り(ｸﾘｱﾌﾗｯｸ-塗り)	木部 下地調整別途		B種	m ²	I-O*	二
LE塗り(ﾌﾗｯｸ-ｲﾂﾈﾙ塗り)	木部 下地調整別途		A種	m ²	I-O*	132' ÷ i
LE塗り(ﾌﾗｯｸ-ｲﾂﾈﾙ塗り)	木部 下地調整別途		B種	m ²	I-O*	133' ÷ i
OS塗り(ｵｲﾙｽﾃｲﾝ塗り)	木部 下地調整RB種共(塗替え面)			m ²	J	二
EP塗り(合成樹脂エマルジョンペイント塗り)	せっこうボード面 一般面 下地調整別途		A種	m ²	F-P	110' ÷ 122
EP塗り(合成樹脂エマルジョンペイント塗り)	せっこうボード面 見上げ面 下地調整別途		A種	m ²	F-P	111' ÷ 122
EP塗り(合成樹脂エマルジョンペイント塗り)	せっこうボード面 一般面 下地調整別途		B種	m ²	F-P	112' ÷ 122
EP塗り(合成樹脂エマルジョンペイント塗り)	せっこうボード面 見上げ面 下地調整別途		B種	m ²	F-P	113' ÷ 122
EP塗り(合成樹脂エマルジョンペイント塗り)	せっこうボード面 一般面 下地調整別途		C種	m ²	F-P	118' ÷ 122
EP塗り(合成樹脂エマルジョンペイント塗り)	せっこうボード面 見上げ面 下地調整別途		C種	m ²	F-P	120' ÷ 122
EP塗り(合成樹脂エマルジョンペイント塗り)	けい酸カルシウム板面・珪藻面・コンクリート面・押出成形セメント板面 一般面 下地調整別途		A種	m ²	R-S	110' ÷ 122
EP塗り(合成樹脂エマルジョンペイント塗り)	けい酸カルシウム板面・珪藻面・コンクリート面・押出成形セメント板面 見上げ面 下地調整別途		A種	m ²	R-S	111' ÷ 122
EP塗り(合成樹脂エマルジョンペイント塗り)	けい酸カルシウム板面・珪藻面・コンクリート面・押出成形セメント板面 一般面 下地調整別途		B種	m ²	R-S	112' ÷ 122
EP塗り(合成樹脂エマルジョンペイント塗り)	けい酸カルシウム板面・珪藻面・コンクリート面・押出成形セメント板面 見上げ面 下地調整別途		B種	m ²	R-S	113' ÷ 122
EP塗り(合成樹脂エマルジョンペイント塗り)	けい酸カルシウム板面・珪藻面・コンクリート面・押出成形セメント板面 一般面 下地調整別途		C種	m ²	R-S	118' ÷ 122
EP塗り(合成樹脂エマルジョンペイント塗り)	けい酸カルシウム板面・珪藻面・コンクリート面・押出成形セメント板面 見上げ面 下地調整別途		C種	m ²	R-S	120' ÷ 122

※「素地ごしらせ 木部 B種」に補正した補正市場単価をもちいる。

【 内外装 】

市場単価

細目	摘要	単位	単価記号
床ビニル床シート張り	厚2.0mm 複層ビニル床シート 無地 FS	m ²	U
床ビニル床シート張り	厚2.5mm 複層ビニル床シート 無地 FS	m ²	A
階段ビニル床シート張り	厚2.0mm 複層ビニル床シート 無地 FS	m ²	V
階段ビニル床シート張り	厚2.5mm 複層ビニル床シート 無地 FS	m ²	B
床ビニル床タイル張り	厚2.0mm コンポジットビニル床タイル KT	m ²	C
階段ビニル床タイル張り	厚2.0mm コンポジットビニル床タイル KT	m ²	D
床タイルカーペット張り	総厚6.5mm 500角 第一種ループタイプ(一般事務室用)	m ²	E
ビニル幅木 (ソフト幅木)	H60mm	m	F
ささらビニル幅木 (ソフト幅木)	H330mm	m	G
壁 せっこうボード張り	厚12.5mm 不燃 突付け	m ²	H
壁 せっこうボード張り	厚12.5mm 不燃 突付け 下地せっこうボード 厚12.5mm共	m ²	I
壁 せっこうボード張り	厚12.5mm 不燃 突付け GL工法	m ²	J
天井 不燃積層せっこうボード張り	厚9.5mm 不燃 突付け	m ²	K
天井 不燃化粧せっこうボード張り	厚9.5mm 不燃 突付け	m ²	L
壁 けい酸カルシウム板張り	(タイプ 2,無石綿,0.8FK) 厚8.0mm 不燃 突付け	m ²	M
壁 けい酸カルシウム板張り	(タイプ 2,無石綿,0.8FK) 厚8.0mm 不燃 目透し	m ²	N
天井 けい酸カルシウム板張り	(タイプ 2,無石綿,0.8FK) 厚6.0mm 不燃 突付け	m ²	O
天井 けい酸カルシウム板張り	(タイプ 2,無石綿,0.8FK) 厚6.0mm 不燃 目透し	m ²	P
天井 ロックウール吸音板張り(内部用)	厚9.0mm 不燃 フラットタイプ 下地不燃積層せっこうボード 厚9.5mm共	m ²	Q
天井 ロックウール吸音板張り(内部用)	厚12.0mm 不燃 凹凸タイプ 下地不燃積層せっこうボード 厚9.5mm共	m ²	R
せっこうボード継目処理	継目処理工法 (テーパ-エッジ)	m ²	S
せっこうボード継目処理	V目地工法 (ベベルエッジ)	m ²	T

参考歩掛り

細目	摘要	単位	歩掛り記号	表番号
ビニル床シート張り	階段 (複層ビニル床シート 無地 FS 厚さ2.5)	m ²	a2	表RA-18-1
ビニル床シート張り	階段 (複層ビニル床シート 無地 FS 厚さ2.0)	m ²	a26	表RA-18-1
ビニル床シート張り	階段 (複層ビニル床シート マーブ ル FS 厚さ2.0)	m ²	a27	表RA-18-1
ビニル床シート張り	階段 (複層ビニル床シート マーブ ル FS 厚さ2.5)	m ²	a28	表RA-18-1
ビニル床タイル張り	床 (コンポジットビニル床タイルKT 厚さ2 一般床)	m ²	a3	表RA-18-1
ビニル床タイル張り	床 (コンポジットビニル床タイルKT 厚さ2 多湿部)	m ²	a29	表RA-18-1
ビニル床タイル張り	床 (コンポジットビニル床タイルKT 厚さ2.0一般床 帯電防止)	m²	a300	表RA-18-1
ビニル床タイル張り	階段 (コンポジットビニル床タイルKT 厚さ2)	m ²	a4	表RA-18-1
ビニル幅木張り	一般 (高さ60)	m	a5	表RA-18-2
ビニル幅木張り	一般 (高さ75)	m	a33	表RA-18-2
ビニル幅木張り	一般 (高さ100)	m	a34	表RA-18-2
ビニル幅木張り	階段ささら (高さ 330)	m	a6	表RA-18-2
壁 せっこうボード張り	突付け (厚12.5 不燃)	m ²	a8	表RA-18-3
壁 せっこうボード張り	突付け (厚9.5 準不燃)	m ²	a38	表RA-18-3

【 内外装 】

市場単価

細目	摘要	単位	単価記号
床ビニル床シート張り	厚2.0mm 複層ビニル床シート 無地 FS	m ²	U
床ビニル床シート張り	厚2.5mm 複層ビニル床シート 無地 FS	m ²	A
階段ビニル床シート張り	厚2.0mm 複層ビニル床シート 無地 FS	m ²	V
階段ビニル床シート張り	厚2.5mm 複層ビニル床シート 無地 FS	m ²	B
床ビニル床タイル張り	厚2.0mm コンポジットビニル床タイル KT	m ²	C
階段ビニル床タイル張り	厚2.0mm コンポジットビニル床タイル KT	m ²	D
床タイルカーペット張り	総厚6.5mm 500角 第一種ループタイプ(一般事務室用)	m ²	E
ビニル幅木 (ソフト幅木)	H60mm	m	F
ささらビニル幅木 (ソフト幅木)	H330mm	m	G
壁 せっこうボード張り	厚12.5mm 不燃 突付け	m ²	H
壁 せっこうボード張り	厚12.5mm 不燃 突付け 下地せっこうボード 厚12.5mm共	m ²	I
壁 せっこうボード張り	厚12.5mm 不燃 突付け GL工法	m ²	J
天井 不燃積層せっこうボード張り	厚9.5mm 不燃 突付け	m ²	K
天井 不燃化粧せっこうボード張り	厚9.5mm 不燃 突付け	m ²	L
壁 けい酸カルシウム板張り	(タイプ 2,無石綿,0.8FK) 厚8.0mm 不燃 突付け	m ²	M
壁 けい酸カルシウム板張り	(タイプ 2,無石綿,0.8FK) 厚8.0mm 不燃 目透し	m ²	N
天井 けい酸カルシウム板張り	(タイプ 2,無石綿,0.8FK) 厚6.0mm 不燃 突付け	m ²	O
天井 けい酸カルシウム板張り	(タイプ 2,無石綿,0.8FK) 厚6.0mm 不燃 目透し	m ²	P
天井 ロックウール吸音板張り(内部用)	厚9.0mm 不燃 フラットタイプ 下地不燃積層せっこうボード 厚9.5mm共	m ²	Q
天井 ロックウール吸音板張り(内部用)	厚12.0mm 不燃 凹凸タイプ 下地不燃積層せっこうボード 厚9.5mm共	m ²	R
せっこうボード継目処理	継目処理工法 (テーパ-エッジ)	m ²	S
せっこうボード継目処理	V目地工法 (ベベルエッジ)	m ²	T

参考歩掛り

細目	摘要	単位	歩掛り記号	表番号
ビニル床シート張り	階段 (複層ビニル床シート 無地 FS 厚さ2.5)	m ²	a2	表RA-18-1
ビニル床シート張り	階段 (複層ビニル床シート 無地 FS 厚さ2.0)	m ²	a26	表RA-18-1
ビニル床シート張り	階段 (複層ビニル床シート マーブ ル FS 厚さ2.0)	m ²	a27	表RA-18-1
ビニル床シート張り	階段 (複層ビニル床シート マーブ ル FS 厚さ2.5)	m ²	a28	表RA-18-1
ビニル床タイル張り	床 (コンポジットビニル床タイルKT 厚さ2 一般床)	m ²	a3	表RA-18-1
ビニル床タイル張り	床 (コンポジットビニル床タイルKT 厚さ2 多湿部)	m ²	a29	表RA-18-1
ビニル床タイル張り	階段 (コンポジットビニル床タイルKT 厚さ2)	m ²	a4	表RA-18-1
ビニル幅木張り	一般 (高さ60)	m	a5	表RA-18-2
ビニル幅木張り	一般 (高さ75)	m	a33	表RA-18-2
ビニル幅木張り	一般 (高さ100)	m	a34	表RA-18-2
ビニル幅木張り	階段ささら (高さ 330)	m	a6	表RA-18-2
壁 せっこうボード張り	突付け (厚12.5 不燃)	m ²	a8	表RA-18-3
壁 せっこうボード張り	突付け (厚9.5 準不燃)	m ²	a38	表RA-18-3

参考歩掛り

細目	摘要	単位	歩掛り記号	表番号
けい酸カルシウム板張り	天井 突付け (タイプ 2ノンアス0.8FK 厚6)	m ²	a17	表RA-18-5
けい酸カルシウム板張り	天井 突付け (タイプ 2ノンアス0.8FK 厚5)	m ²	a215	表RA-18-5
けい酸カルシウム板張り	天井 突付け (タイプ 2ノンアス0.8FK 厚8)	m ²	a219	表RA-18-5
けい酸カルシウム板張り	天井 突付け (タイプ 2ノンアス0.8FK 厚10)	m ²	a222	表RA-18-5
けい酸カルシウム板張り	天井 突付け (タイプ 2ノンアス0.8FK 厚12)	m ²	a225	表RA-18-5
けい酸カルシウム板張り	天井 目透かし (タイプ 2ノンアス0.8FK 厚6)	m ²	a18	表RA-18-5
けい酸カルシウム板張り	天井 目透かし (タイプ 2ノンアス0.8FK 厚5)	m ²	a216	表RA-18-5
けい酸カルシウム板張り	天井 目透かし (タイプ 2ノンアス0.8FK 厚8)	m ²	a220	表RA-18-5
けい酸カルシウム板張り	天井 目透かし (タイプ 2ノンアス0.8FK 厚10)	m ²	a223	表RA-18-5
けい酸カルシウム板張り	天井 目透かし (タイプ 2ノンアス0.8FK 厚12)	m ²	a226	表RA-18-5
けい酸カルシウム板張り	天井 下地張り (タイプ 2ノンアス0.8FK 厚5)	m ²	a217	表RA-18-5
けい酸カルシウム板張り	天井 下地張り (タイプ 2ノンアス0.8FK 厚6)	m ²	a218	表RA-18-5
けい酸カルシウム板張り	天井 下地張り (タイプ 2ノンアス0.8FK 厚8)	m ²	a221	表RA-18-5
けい酸カルシウム板張り	天井 下地張り (タイプ 2ノンアス0.8FK 厚10)	m ²	a224	表RA-18-5
けい酸カルシウム板張り	天井 下地張り (タイプ 2ノンアス0.8FK 厚12)	m ²	a227	表RA-18-5

補正市場単価

細目	摘要	単位	市場単価	算定式
階段ビニル床シート張り	厚2.0mm 複層ビニル床シート マーブ ル FS	m ²	V	a27 ÷ a26
階段ビニル床シート張り	厚2.5mm 複層ビニル床シート マーブ ル FS	m ²	B	a28 ÷ a2
床ビニル床タイル張り	厚2.0mm コンボ ジョイントビニル床タイル KT 多湿部	m ²	C	a29 ÷ a3
床ビニル床タイル張り	厚2.0mm コンボ ジョイントビニル床タイル KT 帯電防止	m²	C	a300 ÷ a3
ビニル幅木 (ソフト幅木)	H=75mm	m	F	a33 ÷ a5
ビニル幅木 (ソフト幅木)	H=100mm	m	F	a34 ÷ a5

参考歩掛り

細目	摘要	単位	歩掛り記号	表番号
けい酸カルシウム板張り	天井 突付け (タイプ 2ノンアス0.8FK 厚6)	m ²	a17	表RA-18-5
けい酸カルシウム板張り	天井 突付け (タイプ 2ノンアス0.8FK 厚5)	m ²	a215	表RA-18-5
けい酸カルシウム板張り	天井 突付け (タイプ 2ノンアス0.8FK 厚8)	m ²	a219	表RA-18-5
けい酸カルシウム板張り	天井 突付け (タイプ 2ノンアス0.8FK 厚10)	m ²	a222	表RA-18-5
けい酸カルシウム板張り	天井 突付け (タイプ 2ノンアス0.8FK 厚12)	m ²	a225	表RA-18-5
けい酸カルシウム板張り	天井 目透かし (タイプ 2ノンアス0.8FK 厚6)	m ²	a18	表RA-18-5
けい酸カルシウム板張り	天井 目透かし (タイプ 2ノンアス0.8FK 厚5)	m ²	a216	表RA-18-5
けい酸カルシウム板張り	天井 目透かし (タイプ 2ノンアス0.8FK 厚8)	m ²	a220	表RA-18-5
けい酸カルシウム板張り	天井 目透かし (タイプ 2ノンアス0.8FK 厚10)	m ²	a223	表RA-18-5
けい酸カルシウム板張り	天井 目透かし (タイプ 2ノンアス0.8FK 厚12)	m ²	a226	表RA-18-5
けい酸カルシウム板張り	天井 下地張り (タイプ 2ノンアス0.8FK 厚5)	m ²	a217	表RA-18-5
けい酸カルシウム板張り	天井 下地張り (タイプ 2ノンアス0.8FK 厚6)	m ²	a218	表RA-18-5
けい酸カルシウム板張り	天井 下地張り (タイプ 2ノンアス0.8FK 厚8)	m ²	a221	表RA-18-5
けい酸カルシウム板張り	天井 下地張り (タイプ 2ノンアス0.8FK 厚10)	m ²	a224	表RA-18-5
けい酸カルシウム板張り	天井 下地張り (タイプ 2ノンアス0.8FK 厚12)	m ²	a227	表RA-18-5

補正市場単価

細目	摘要	単位	市場単価	算定式
階段ビニル床シート張り	厚2.0mm 複層ビニル床シート マーブ ル FS	m ²	V	a27 ÷ a26
階段ビニル床シート張り	厚2.5mm 複層ビニル床シート マーブ ル FS	m ²	B	a28 ÷ a2
床ビニル床タイル張り	厚2.0mm コンボ ジョイントビニル床タイル KT 多湿部	m ²	C	a29 ÷ a3
ビニル幅木 (ソフト幅木)	H=75mm	m	F	a33 ÷ a5
ビニル幅木 (ソフト幅木)	H=100mm	m	F	a34 ÷ a5

** 補正市場単価 **

細目	摘要	単位	市場単価	算定式
天井 ロックウール吸音板張り(内部用)	厚9.0mm 不燃 フラットタイプ 下地せっこうボード 厚12.5mm共	m ²	Q	a228 ÷ a15
天井 ロックウール吸音板張り(内部用)	厚12.0mm 不燃 フラットタイプ 下地不燃積層せっこうボード 厚9.5mm共	m ²	Q	a229 ÷ a15
天井 ロックウール吸音板張り(内部用)	厚12.0mm 不燃 フラットタイプ 下地せっこうボード 厚12.5mm共	m ²	Q	a230 ÷ a15
天井 ロックウール吸音板張り(内部用)	厚9.0mm 不燃 フラットタイプ 軽鉄直貼り	m ²	Q	a202 ÷ a15
天井 ロックウール吸音板張り(内部用)	厚12.0mm 不燃 フラットタイプ 軽鉄直貼り	m ²	Q	a203 ÷ a15
天井 ロックウール吸音板張り(外部用)	厚9.0mm 不燃 フラットタイプ 下地シジツグ せっこうボード 厚12.5mm共	m ²	Q	a231 ÷ a15
天井 ロックウール吸音板張り(外部用)	厚12.0mm 不燃 フラットタイプ 下地シジツグ せっこうボード 厚12.5mm共	m ²	Q	a232 ÷ a15
天井 ロックウール吸音板張り(内部用)	厚12.0mm 不燃 凹凸タイプ 下地せっこうボード 厚12.5mm共	m ²	R	a208 ÷ a16
天井 ロックウール吸音板張り(内部用)	厚15.0mm 不燃 凹凸タイプ 下地不燃積層せっこうボード 厚9.5mm共	m ²	R	a233 ÷ a16
天井 ロックウール吸音板張り(内部用)	厚15.0mm 不燃 凹凸タイプ 下地せっこうボード 厚12.5mm共	m ²	R	a209 ÷ a16
天井 ロックウール吸音板張り(内部用)	厚19.0mm 不燃 凹凸タイプ 下地不燃積層せっこうボード 厚9.5mm共	m ²	R	a234 ÷ a16
天井 ロックウール吸音板張り(内部用)	厚19.0mm 不燃 凹凸タイプ 下地せっこうボード 厚12.5mm共	m ²	R	a211 ÷ a16
天井 ロックウール吸音板張り(外部用)	厚12.0mm 不燃 凹凸タイプ 下地シジツグ せっこうボード 厚12.5mm共	m ²	R	a235 ÷ a16
天井 ロックウール吸音板張り(外部用)	厚15.0mm 不燃 凹凸タイプ 下地シジツグ せっこうボード 厚12.5mm共	m ²	R	a236 ÷ a16

** 参考歩掛り **

細目	摘要	単位	歩掛り記号	表番号
ビニル床シート張り	床 (厚2.0mm 複層ビニル床シート 無地 FS 突付工法)	m ²	a19'	表RA-18-1
ビニル床シート張り	床 (厚2.0mm 複層ビニル床シート マーブ 厚 FS 突付工法)	m ²	a22'	表RA-18-1
ビニル床シート張り	床 (厚2.0mm 複層ビニル床シート 無地 FS 突付工法 多湿部)	m ²	a20'	表RA-18-1
ビニル床シート張り	床 (厚2.0mm 複層ビニル床シート マーブ 厚 FS 突付工法 多湿部)	m ²	a23'	表RA-18-1
<u>ビニル床シート張り</u>	<u>床 (厚2.0mm 複層ビニル床シート 無地 FS 突付工法 帯電防止)</u>	<u>m²</u>	<u>a26'</u>	<u>表RA-18-1</u>
<u>ビニル床シート張り</u>	<u>床 (厚2.0mm 複層ビニル床シート 無地 FS 突付工法 防滑仕様)</u>	<u>m²</u>	<u>a27'</u>	<u>表RA-18-1</u>
ビニル床シート張り	床 (厚2.5mm 複層ビニル床シート 無地 FS 突付工法)	m ²	a1	表RA-18-1
ビニル床シート張り	床 (厚2.5mm 複層ビニル床シート マーブ 厚 FS 突付工法)	m ²	a24'	表RA-18-1
ビニル床シート張り	床 (厚2.5mm 複層ビニル床シート 無地 FS 突付工法 多湿部)	m ²	a21'	表RA-18-1
ビニル床シート張り	床 (厚2.5mm 複層ビニル床シート マーブ 厚 FS 突付工法 多湿部)	m ²	a25'	表RA-18-1
<u>ビニル床シート張り</u>	<u>床 (厚2.5mm 複層ビニル床シート 無地 FS 突付工法 帯電防止)</u>	<u>m²</u>	<u>a28'</u>	<u>表RA-18-1</u>
<u>ビニル床シート張り</u>	<u>床 (厚2.5mm 複層ビニル床シート 柄 FS 突付工法 防滑仕様)</u>	<u>m²</u>	<u>a29'</u>	<u>表RA-18-1</u>

** 協議会歩掛り **

細目	摘要	単位	歩掛り記号	備考
ビニル床シート熱溶接工法加算額		m ²	b	ビニル床シート熱溶接工法加算額※1
ビニル幅木張り	ビニル幅木 階段ささら (稲妻 高さ 60)	m	a35	階段ビニル幅木張り※2
ビニル幅木張り	ビニル幅木 階段ささら (稲妻 高さ 75)	m	a36	
ビニル幅木張り	ビニル幅木 階段ささら (稲妻 高さ 100)	m	a37	

※1営繕積算システム等開発利用協議会歩掛り

※2営繕積算システム等開発利用協議会参考資料参照

** 補正市場単価 **

細目	摘要	単位	市場単価	算定式
天井 ロックウール吸音板張り(内部用)	厚9.0mm 不燃 フラットタイプ 下地せっこうボード 厚12.5mm共	m ²	Q	a228 ÷ a15
天井 ロックウール吸音板張り(内部用)	厚12.0mm 不燃 フラットタイプ 下地不燃積層せっこうボード 厚9.5mm共	m ²	Q	a229 ÷ a15
天井 ロックウール吸音板張り(内部用)	厚12.0mm 不燃 フラットタイプ 下地せっこうボード 厚12.5mm共	m ²	Q	a230 ÷ a15
天井 ロックウール吸音板張り(内部用)	厚9.0mm 不燃 フラットタイプ 軽鉄直貼り	m ²	Q	a202 ÷ a15
天井 ロックウール吸音板張り(内部用)	厚12.0mm 不燃 フラットタイプ 軽鉄直貼り	m ²	Q	a203 ÷ a15
天井 ロックウール吸音板張り(外部用)	厚9.0mm 不燃 フラットタイプ 下地シジツグ せっこうボード 厚12.5mm共	m ²	Q	a231 ÷ a15
天井 ロックウール吸音板張り(外部用)	厚12.0mm 不燃 フラットタイプ 下地シジツグ せっこうボード 厚12.5mm共	m ²	Q	a232 ÷ a15
天井 ロックウール吸音板張り(内部用)	厚12.0mm 不燃 凹凸タイプ 下地せっこうボード 厚12.5mm共	m ²	R	a208 ÷ a16
天井 ロックウール吸音板張り(内部用)	厚15.0mm 不燃 凹凸タイプ 下地不燃積層せっこうボード 厚9.5mm共	m ²	R	a233 ÷ a16
天井 ロックウール吸音板張り(内部用)	厚15.0mm 不燃 凹凸タイプ 下地せっこうボード 厚12.5mm共	m ²	R	a209 ÷ a16
天井 ロックウール吸音板張り(内部用)	厚19.0mm 不燃 凹凸タイプ 下地不燃積層せっこうボード 厚9.5mm共	m ²	R	a234 ÷ a16
天井 ロックウール吸音板張り(内部用)	厚19.0mm 不燃 凹凸タイプ 下地せっこうボード 厚12.5mm共	m ²	R	a211 ÷ a16
天井 ロックウール吸音板張り(外部用)	厚12.0mm 不燃 凹凸タイプ 下地シジツグ せっこうボード 厚12.5mm共	m ²	R	a235 ÷ a16
天井 ロックウール吸音板張り(外部用)	厚15.0mm 不燃 凹凸タイプ 下地シジツグ せっこうボード 厚12.5mm共	m ²	R	a236 ÷ a16

** 参考歩掛り **

細目	摘要	単位	歩掛り記号	表番号
ビニル床シート張り	床 (厚2.0mm 複層ビニル床シート 無地 FS 突付工法)	m ²	a19'	表RA-18-1
ビニル床シート張り	床 (厚2.0mm 複層ビニル床シート マーブ 厚 FS 突付工法)	m ²	a22'	表RA-18-1
ビニル床シート張り	床 (厚2.0mm 複層ビニル床シート 無地 FS 突付工法 多湿部)	m ²	a20'	表RA-18-1
ビニル床シート張り	床 (厚2.0mm 複層ビニル床シート マーブ 厚 FS 突付工法 多湿部)	m ²	a23'	表RA-18-1
ビニル床シート張り	床 (厚2.5mm 複層ビニル床シート 無地 FS 突付工法)	m ²	a1	表RA-18-1
ビニル床シート張り	床 (厚2.5mm 複層ビニル床シート マーブ 厚 FS 突付工法)	m ²	a24'	表RA-18-1
ビニル床シート張り	床 (厚2.5mm 複層ビニル床シート 無地 FS 突付工法 多湿部)	m ²	a21'	表RA-18-1
ビニル床シート張り	床 (厚2.5mm 複層ビニル床シート マーブ 厚 FS 突付工法 多湿部)	m ²	a25'	表RA-18-1

** 協議会歩掛り **

細目	摘要	単位	歩掛り記号	備考
ビニル床シート熱溶接工法加算額		m ²	b	ビニル床シート熱溶接工法加算額※1
ビニル幅木張り	ビニル幅木 階段ささら (稲妻 高さ 60)	m	a35	階段ビニル幅木張り※2
ビニル幅木張り	ビニル幅木 階段ささら (稲妻 高さ 75)	m	a36	
ビニル幅木張り	ビニル幅木 階段ささら (稲妻 高さ 100)	m	a37	

※1営繕積算システム等開発利用協議会歩掛り

※2営繕積算システム等開発利用協議会参考資料参照

** 補正市場単価 **

細目	摘要	単位	市場単価	算定式
床ビニル床シート張り	厚2.0mm 複層ビニル床シートマ-ﾌﾞﾙFS 熱溶接工法	m ²	U	(a22'+b) ÷ (a19'+b)
床ビニル床シート張り	厚2.0mm 複層ビニル床シート 無地 FS 突付工法	m ²	U	a19' ÷ (a19'+b)
床ビニル床シート張り	厚2.0mm 複層ビニル床シートマ-ﾌﾞﾙFS 突付工法	m ²	U	a22' ÷ (a19'+b)
<u>床ビニル床シート張り</u>	<u>厚2.0mm 複層ビニル床シート 無地 FS 突付工法 帯電防止</u>	<u>m²</u>	<u>U</u>	<u>a26' ÷ (a19'+b)</u>
<u>床ビニル床シート張り</u>	<u>厚2.0mm 複層ビニル床シート 無地 FS 熱溶接工法 帯電防止</u>	<u>m²</u>	<u>U</u>	<u>(a26'+b) ÷ (a19'+b)</u>
<u>床ビニル床シート張り</u>	<u>厚2.0mm 複層ビニル床シート 無地 FS 突付工法 防滑仕様</u>	<u>m²</u>	<u>U</u>	<u>a27' ÷ (a19'+b)</u>
<u>床ビニル床シート張り</u>	<u>厚2.0mm 複層ビニル床シート 無地 FS 熱溶接工法 防滑仕様</u>	<u>m²</u>	<u>U</u>	<u>(a27'+b) ÷ (a19'+b)</u>
床ビニル床シート張り	厚2.0mm 複層ビニル床シート 無地 FS 熱溶接工法 多湿部	m ²	U	(a20'+b) ÷ (a19'+b)
床ビニル床シート張り	厚2.0mm 複層ビニル床シートマ-ﾌﾞﾙFS 熱溶接工法 多湿部	m ²	U	(a23'+b) ÷ (a19'+b)
床ビニル床シート張り	厚2.0mm 複層ビニル床シート 無地 FS 突付工法 多湿部	m ²	U	a20' ÷ (a19'+b)
床ビニル床シート張り	厚2.0mm 複層ビニル床シートマ-ﾌﾞﾙFS 突付工法 多湿部	m ²	U	a23' ÷ (a19'+b)
床ビニル床シート張り	厚2.5mm 複層ビニル床シートマ-ﾌﾞﾙFS 熱溶接工法	m ²	A	(a24'+b) ÷ (a1+b)
床ビニル床シート張り	厚2.5mm 複層ビニル床シート 無地 FS 突付工法	m ²	A	a1 ÷ (a1+b)
床ビニル床シート張り	厚2.5mm 複層ビニル床シートマ-ﾌﾞﾙFS 突付工法	m ²	A	a24' ÷ (a1+b)
床ビニル床シート張り	厚2.5mm 複層ビニル床シート 無地 FS 熱溶接工法 多湿部	m ²	A	(a21'+b) ÷ (a1+b)
床ビニル床シート張り	厚2.5mm 複層ビニル床シートマ-ﾌﾞﾙFS 熱溶接工法 多湿部	m ²	A	(a25'+b) ÷ (a1+b)
床ビニル床シート張り	厚2.5mm 複層ビニル床シート 無地 FS 突付工法 多湿部	m ²	A	a21' ÷ (a1+b)
床ビニル床シート張り	厚2.5mm 複層ビニル床シートマ-ﾌﾞﾙFS 突付工法 多湿部	m ²	A	a25' ÷ (a1+b)
<u>床ビニル床シート張り</u>	<u>厚2.5mm 複層ビニル床シート 無地 FS 突付工法 帯電防止</u>	<u>m²</u>	<u>A</u>	<u>a28' ÷ (a1+b)</u>
<u>床ビニル床シート張り</u>	<u>厚2.5mm 複層ビニル床シート 無地 FS 熱溶接工法 帯電防止</u>	<u>m²</u>	<u>A</u>	<u>(a28'+b) ÷ (a1+b)</u>
<u>床ビニル床シート張り</u>	<u>厚2.5mm 複層ビニル床シート 柄 FS 突付工法 防滑仕様</u>	<u>m²</u>	<u>A</u>	<u>a29' ÷ (a1+b)</u>
<u>床ビニル床シート張り</u>	<u>厚2.5mm 複層ビニル床シート 柄 FS 熱溶接工法 防滑仕様</u>	<u>m²</u>	<u>A</u>	<u>(a29'+b) ÷ (a1+b)</u>
稲妻ビニル幅木 (ソフト幅木)	H=60mm	m	G	a35 ÷ a6
稲妻ビニル幅木 (ソフト幅木)	H=75mm	m	G	a36 ÷ a6
稲妻ビニル幅木 (ソフト幅木)	H=100mm	m	G	a37 ÷ a6

** 補正市場単価 **

細目	摘要	単位	市場単価	算定式
床ビニル床シート張り	厚2.0mm 複層ビニル床シートマ-ﾌﾞﾙFS 熱溶接工法	m ²	U	(a22'+b) ÷ (a19'+b)
床ビニル床シート張り	厚2.0mm 複層ビニル床シート 無地 FS 突付工法	m ²	U	a19' ÷ (a19'+b)
床ビニル床シート張り	厚2.0mm 複層ビニル床シートマ-ﾌﾞﾙFS 突付工法	m ²	U	a22' ÷ (a19'+b)
床ビニル床シート張り	厚2.0mm 複層ビニル床シート 無地 FS 熱溶接工法 多湿部	m ²	U	(a20'+b) ÷ (a19'+b)
床ビニル床シート張り	厚2.0mm 複層ビニル床シートマ-ﾌﾞﾙFS 熱溶接工法 多湿部	m ²	U	(a23'+b) ÷ (a19'+b)
床ビニル床シート張り	厚2.0mm 複層ビニル床シート 無地 FS 突付工法 多湿部	m ²	U	a20' ÷ (a19'+b)
床ビニル床シート張り	厚2.0mm 複層ビニル床シートマ-ﾌﾞﾙFS 突付工法 多湿部	m ²	U	a23' ÷ (a19'+b)
床ビニル床シート張り	厚2.5mm 複層ビニル床シートマ-ﾌﾞﾙFS 熱溶接工法	m ²	A	(a24'+b) ÷ (a1+b)
床ビニル床シート張り	厚2.5mm 複層ビニル床シート 無地 FS 突付工法	m ²	A	a1 ÷ (a1+b)
床ビニル床シート張り	厚2.5mm 複層ビニル床シートマ-ﾌﾞﾙFS 突付工法	m ²	A	a24' ÷ (a1+b)
床ビニル床シート張り	厚2.5mm 複層ビニル床シート 無地 FS 熱溶接工法 多湿部	m ²	A	(a21'+b) ÷ (a1+b)
床ビニル床シート張り	厚2.5mm 複層ビニル床シートマ-ﾌﾞﾙFS 熱溶接工法 多湿部	m ²	A	(a25'+b) ÷ (a1+b)
床ビニル床シート張り	厚2.5mm 複層ビニル床シート 無地 FS 突付工法 多湿部	m ²	A	a21' ÷ (a1+b)
床ビニル床シート張り	厚2.5mm 複層ビニル床シートマ-ﾌﾞﾙFS 突付工法 多湿部	m ²	A	a25' ÷ (a1+b)
稲妻ビニル幅木 (ソフト幅木)	H=60mm	m	G	a35 ÷ a6
稲妻ビニル幅木 (ソフト幅木)	H=75mm	m	G	a36 ÷ a6
稲妻ビニル幅木 (ソフト幅木)	H=100mm	m	G	a37 ÷ a6

公共建築工事積算基準等資料

第3章 電気設備工事
第1節 新営工事 第1項 共通工事

改定

現行

第3章 電気設備工事

第1節 新営工事

第1項 共通工事

1 一般事項

補正市場単価は、第4編第1章5により算出し、その算定式は附表E1～附表E40による。

2 単価、価格等

(1) 配管工事

- イ. 配管工事の細目工種は、単価基準によるほか表E1-1による。
- ロ. 複合単価、市場単価及び補正市場単価は、作業上の切り無駄、支持材、消耗品、附属品、雑材料、配管等の施工上の迂回等を含む。
- ハ. ボンディングは電力用の場合に計上し、鋼製電線管、金属製位置ボックス（金属管用露出を除く。）及び金属製可とう電線管（接地線を使用しない場合。）に適用する。
- ニ. 耐震支持など特別な支持を行う場合は、支持材を加算する。
- ホ. B S形ケーブルラック（立上り配線専用両面形）の所要量は、割増しを行わない。
- ヘ. 1種金属線びの附属品及びボックス類は、別途計上する。
- ト. 金属ダクトのつり金具等の支持材は、別途計上する。
- チ. 電力用プルボックスは、プルボックス用接地端子を計上する。
- リ. 位置ボックスは、代表的なボックスに置換えて計上する。

(2) 配線工事

- イ. 配線工事の細目工種は、単価基準によるほか表E1-2による。
- ロ. 複合単価、市場単価及び補正市場単価は、作業上の切り無駄、支持材、消耗品、雑材料、電線等の施工上の迂回等を含む。
- ハ. 金属線びに収容する配線工事の所要量は、各細目工種の管内配線を適用する。
- ニ. 長さ1m以上の通線を行わない配管には、導入線を計上する。
- ホ. 波付硬質合成樹脂管及び線び類については、導入線を計上しない。
- ヘ. 600Vポリエチレンケーブルで、デュプレックス形は2C、トリプレックス形は3C、カドラプレックス形は4Cの所要量を適用する。
- ト. 光ファイバケーブル敷設のためのクロージャー及び成端箱の材料費並びに施工費は、別途計上する。
- チ. 光ファイバケーブル及びLAN用ケーブル（UTP）の端部にコネクタ・プラグユニット

第3章 電気設備工事

第1節 新営工事

第1項 共通工事

1 一般事項

補正市場単価は、第4編第1章5により算出し、その算定式は附表E1～附表E40による。

2 単価、価格等

(1) 配管工事

- イ. 配管工事の細目工種は、単価基準によるほか表E1-1による。
- ロ. 複合単価、市場単価及び補正市場単価は、作業上の切り無駄、支持材、消耗品、附属品、雑材料、配管等の施工上の迂回等を含む。
- ハ. ボンディングは電力用の場合に計上し、鋼製電線管、金属製位置ボックス（金属管用露出を除く。）及び金属製可とう電線管（接地線を使用しない場合。）に適用する。
- ニ. 耐震支持など特別な支持を行う場合は、支持材を加算する。
- ホ. B S形ケーブルラック（立上り配線専用両面形）の労務の所要量は、割増しを行わない。
- ヘ. 1種金属線びの附属品及びボックス類は、別途計上する。
- ト. 金属ダクト及び金属トラフのつり金具等の支持材は、別途計上する。
- チ. 電力用プルボックスは、プルボックス用接地端子を計上する。
- リ. 位置ボックスは、代表的なボックスに置換えて計上する。

(2) 配線工事

- イ. 配線工事の細目工種は、単価基準によるほか表E1-2による。
- ロ. 複合単価、市場単価及び補正市場単価は、作業上の切り無駄、支持材、消耗品、雑材料、電線等の施工上の迂回等を含む。
- ハ. 金属線びに収容する配線工事の労務の所要量は、各細目工種の管内配線を適用する。
- ニ. 長さ1m以上の通線を行わない配管には、導入線を計上する。
- ホ. 波付硬質合成樹脂管及び線び類については、導入線を計上しない。
- ヘ. 600Vポリエチレンケーブルで、デュプレックス形は2C、トリプレックス形は3C、カドラプレックス形は4Cの労務の所要量を適用する。
- ト. 光ファイバケーブル敷設のためのクロージャー及び成端箱の材料費並びに施工費は、別途計上する。

公共建築工事積算基準等資料

第3章 電気設備工事
第1節 新営工事 第1項 共通工事

改定

現行

ト等を現場で取付ける必要がある場合は、別途計上する。

リ、着色識別ポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケープル（EM-FCPEE）の1P～3Pの歩掛りは、単価基準 第3編第1章第1節 表E1-1-14の2C～6Cの所要量を準用する。

ヌ、同軸ケーブルの端部にF型接栓等を現場で取付ける必要がある場合は、別途計上する。

ル、ライティングダクトの支持材料及び附属品は、別途計上する。

(3) 接地工事

電柱及び屋外灯の場合並びにマンホール及びハンドホールの接地極は、単価基準 第3編第1章第2節 表E1-2-39 接地抵抗測定を計上し、接地極埋設標は計上しない。

(4) 塗装工事

外灯用ポール等を現地塗装する場合は、特記のある場合のみ計上する。

(5) 機器搬入

イ、搬入機器の質量及び容積は、原則として図面特記又は機器見積りを参考とし算定する。
ロ、分割搬入する機器は、分割時の各部材を単体機器とし、質量及び容積を算定する。

(6) 土工事等

イ、土工及び舗装等において建設機械を使用する場合は、当該機械の運搬費を参考歩掛り別表RA-2-39-1により計上する。
ロ、根切り及び埋戻しは、施工範囲の状態（規模や狭隘）を考慮して算出する。

(7) コンクリート工事

キュービクル等の機器用基礎は、単価基準 第4編第1章第1節による。

(8) 現場打ちマンホール・ハンドホール

現場打ちマンホール及びハンドホール等の単価の作成については、土工事は単価基準 第4編第1章第1節の表M1-1-71、土工機械運転は単価基準 第4編第1章第1節の表M1-1-73、ハンドホール等は単価基準 第4編第1章第4節 樹類により算出する。

チ、着色識別ポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケープル（EM-FCPEE）及び市内対ポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケープル（EM-CPPEE）の1P～3Pの歩掛りは、単価基準 第3編第1章第1節 表E1-1-14の2C～6Cの労務の所要量を準用する。

リ、ライティングダクトの支持材料及び附属品は、別途計上する。

(3) 接地工事

接地極の埋設位置には、単価基準 第3編第1章第1節 表E1-1-28 接地極埋設標を計上する。ただし、電柱及び屋外灯の場合並びにマンホール及びハンドホールの接地極は、単価基準 第3編第1章第2節 表E1-2-39 接地抵抗測定を計上し、接地極埋設標は計上しない。

(4) 塗装工事

外灯用ポール等を現地塗装する場合は、特記のある場合のみ計上する。

(5) 機器搬入

イ、搬入機器の質量及び容積は、原則として図面特記又は機器見積りを参考とし算定する。
ロ、分割搬入する機器は、分割時の各部材を単体機器とし、質量及び容積を算定する。

(6) 土工事等

イ、土工及び舗装等において建設機械を使用する場合は、当該機械の運搬費を参考歩掛り別表RA-2-39-1により計上する。
ロ、根切り及び埋戻しは、施工範囲の状態（規模や狭隘）を考慮して算出する。

(7) コンクリート工事

キュービクル等の機器用基礎は、単価基準 第4編第1章第1節による。

(8) 現場打ちマンホール・ハンドホール

現場打ちマンホール及びハンドホール等の単価の作成については、土工事は単価基準 第4編第1章第1節の表M1-1-71、土工機械運転は単価基準 第4編第1章第1節の表M1-1-73、ハンドホール等は単価基準 第4編第1章第4節 樹類により算出する。

公共建築工事積算基準等資料

第3章 電気設備工事
第1節 新営工事 第1項 共通工事

改定

現行

表 E1-1 補正市場単価 【配管工事】

細目	摘要	単位	備考
電線管	耐衝撃性硬質ビニル電線管(HIVE) 隠ぺい・埋込配管 16~28、隠ぺい配管 36~82、露出配管 16~82	m	
ケーブルック	トレ形 <u>ZI</u> 200~600 (1段目及び2段積の2段目)	m	
ケーブルック	はしご形 ZM 400~1000BS	m	
ケーブルック	はしご形 ZM 200~1000A、400~1000B 支持材別途 (共同溝内敷設)	m	
ケーブルック	はしご形 Z35 200~1000A、400~1000B 支持材別途 (共同溝内敷設)	m	
ケーブルック	はしご形 ZA 200~1000A、400~1000B (1段目及び2段積の2段目)	m	
ケーブルック	はしご形 ZA 200~1000A、400~1000B 支持材別途 (共同溝内敷設)	m	
ケーブルック	はしご形 <u>AL</u> 200~1000A、400~1000B 支持材別途 (共同溝内敷設)	m	

表 E1-1 補正市場単価 【配管工事】

細目	摘要	単位	備考
電線管	耐衝撃性硬質ビニル電線管(HIVE) 隠ぺい・埋込配管 16~28、隠ぺい配管 36~82、露出配管 16~82	m	
ケーブルック	トレ形 <u>溶融亜鉛めっき(100g/m²)製 透明塗装</u> 200~600 (1段目及び2段積の2段目)	m	
ケーブルック	はしご形 ZM <u>溶融亜鉛めっき(100g/m²)製 接付け又は粉体塗装</u> 400~1000BS	m	
ケーブルック	はしご形 ZM <u>溶融亜鉛めっき(100g/m²)製 接付け又は粉体塗装</u> 200~1000A、400~1000B 支持材別途 (共同溝内敷設)	m	
ケーブルック	はしご形 Z35 <u>溶融亜鉛めっき(350g/m²)製</u> 200~1000A、400~1000B 支持材別途 (共同溝内敷設)	m	
ケーブルック	はしご形 ZA (<u>溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製</u>) 200~1000A、400~1000B (1段目及び2段積の2段目)	m	
ケーブルック	はしご形 ZA (<u>溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製</u>) 200~1000A、400~1000B 支持材別途 (共同溝内敷設)	m	
ケーブルック	はしご形 <u>Z&S製</u> 200~1000A、400~1000B 支持材別途 (共同溝内敷設)	m	

公共建築工事積算基準等資料

第3章 電気設備工事
第1節 新営工事 第3項 通信・情報設備工事

改定

現行

第3項 通信・情報設備工事

1 単価、価格等

(1) 構内交換設備

集合保安器箱に保安器本体を取付ける場合は、別途計上する。

(2) 情報表示・拡声設備

アナログ子時計及びデジタル子時計が天井つり下げ形又はブラケット形の場合は、壁掛形の所要量を適用する。

(3) 誘導支援設備

イ. トイレ呼出表示器及びトイレ呼出ボタンは、単価基準 第3編第1章第3節 表E1-3-7を適用する。

ロ. テレビインターホン機は、インターホン機の所要量を適用する。

(4) 火災報知設備

防火シャッター、防煙ダンパー、防煙たれ壁、排煙口等への接続は、結線費を計上する。

(5) テレビ電波障害防除設備

対象戸数及び地域の電波状況に応じた方式であることを確認し、施工条件を明示した見積書の価格を参考に、機器・材料単価、据付費、試験調整費等の工事費を算定する。

なお、工事期間中に仮設アンテナを使用する方式にあっては、別途計上する。

第3項 通信・情報設備工事

1 単価、価格等

(1) 構内交換設備

集合保安器箱に保安器本体を取付ける場合は、別途計上する。

(2) 構内情報通信網設備

光ファイバケーブル及びLAN用ケーブル（UTP）の端部にコネクタ・プラグユニット等を現場で取付ける必要がある場合は、別途計上する。

(3) 情報表示・拡声設備

アナログ子時計が天井つり下げ形又はブラケット形の場合は、壁掛形の労務の所要量を適用する。

(4) 誘導支援設備

イ. トイレ呼出表示器及びトイレ呼出ボタンは、単価基準 第3編第1章第3節 表E1-3-7を適用する。

ロ. テレビインターホンは、単価基準 第3編第1章第3節 表E1-3-8を適用する。

(5) テレビ共同受信設備

同軸ケーブルの端部にF型接栓等を現場で取付ける必要がある場合は、別途計上する。

(6) 火災報知設備

防火シャッター、防煙ダンパー、防煙たれ壁、排煙口等への接続は、結線費を計上する。

(7) テレビ電波障害防除設備

対象戸数及び地域の電波状況に応じた方式であることを確認し、施工条件を明示した見積書の価格を参考に、機器・材料単価、据付費、試験調整費等の工事費を算定する。

なお、工事期間中に仮設アンテナを使用する方式にあっては、別途計上する。

公共建築工事積算基準等資料

第3章 電気設備工事
第2節 改修工事 第1項 共通工事（改修）

改定

現行

第2節 改修工事

第1項 共通工事（改修）

1 単価、価格等

(1) 単価の適用

外構関連（架空線路、地中線路、接地工事）及び撤去に関しては改修工事の分類に関係なく原則として割増しを行わない。

(2) 仮設

高所作業の足場、仮設間仕切り、養生及び清掃が図面特記されている場合は、その費用を計上する。

(3) 調査

非破壊検査、絶縁油分析調査、既設配管・配線等の敷設状況の現況調査が図面特記されている場合は、その費用を計上する。

(4) 配線工事

配線引き後、空配管となった場合は、図面特記により導入線を計上する。

(5) 結線

イ. 分電盤・制御盤等の既存ブレーカに電線及びケーブルを接続する場合は、結線費を計上する。

なお、結線費は単価基準 第3編第1章第2節 表E1-2-15の労務の所要量の50%とする。

ロ. 通信機器等の既存端子に電線及びケーブルを接続する場合は、結線費を計上する。

ハ. スイッチ等の既存機器に光ファイバケーブル及びLAN用ケーブル（UTP）を接続する場合は、コネクタ・プラグユニット等を計上する。

ニ. 分配器等の既存機器に同軸ケーブルを接続する場合は、F型接栓を計上する。

(6) 取外し再取付け

イ. 取外し再取付けの労務の所要量は、取外し品を破損することなく再使用できる状態を保って丁寧に取外すものであり、取外し品の簡単な清掃も含まれている。

ロ. 一時的な取外し再取付けや、照明器具の改修工事等で、既設位置への取付けの場合で、墨出しの軽減や既存つりボルトの活用が可能な場合は、雑材料及び労務の所要量を実状に応じて低減することができる。

第2節 改修工事

第1項 共通工事（改修）

1 単価、価格等

(1) 単価の適用

外構関連（架空線路、地中線路、接地工事）及び撤去に関しては改修工事の分類に関係なく原則として割増しを行わない。

(2) 仮設

高所作業の足場、仮設間仕切り、養生及び清掃が図面特記されている場合は、その費用を計上する。

(3) 調査

非破壊検査、絶縁油調査、既設配管・配線等の敷設状況の現況調査が図面特記されている場合は、その費用を計上する。

(4) 配線工事

配線引き後、空配管となった場合は、図面特記により導入線を計上する。

(5) 結線

イ. 分電盤・制御盤等の既存ブレーカに電線及びケーブルを接続する場合は、結線費を計上する。

なお、結線費は単価基準 第3編第1章第2節 表E1-2-15の労務の所要量の50%とする。

ロ. 通信機器等の既存端子に電線及びケーブルを接続する場合は、結線費を計上する。

ハ. スイッチ等の既存機器に光ファイバケーブル及びLAN用ケーブル（UTP）を接続する場合は、コネクタ・プラグユニット等を計上する。

ニ. 分配器等の既存機器に同軸ケーブルを接続する場合は、F型接栓を計上する。

(6) 取外し再取付け

イ. 取外し再取付けの労務の所要量は、取外し品を破損することなく再使用できる状態を保って丁寧に取外すものであり、取外し品の簡単な清掃も含まれている。

ロ. 一時的な取外し再取付けや、照明器具の改修工事等で、既設位置への取付けの場合で、墨出しの軽減や既存つりボルトの活用が可能な場合は、雑材料及び労務の所要量を実状に応じて低減することができる。

公共建築工事積算基準等資料

第3章 電気設備工事
第2節 改修工事 第1項 共通工事（改修）

改定

現行

(7) 仮設備

- イ. 停電、設備システムの機能停止等が困難な場合に、既存の設備機能等を維持させるための設備が必要な場合は、図面特記により仮設備を計上する。
- ロ. 仮設備に使用する仮設材費の単価については、「単価基準 第1編 2 単価及び価格の算定（2）複合単価 二. 仮設材費」に『仮設材費は、物価資料の掲載価格等による賃料又は材料の基礎価格に損料率を乗じて算定する。』と規定されており、原則として損料率を算出して仮設材費を適切に算定し、労務費を計上する。
- ハ. 短期間（3ヶ月程度）で同一業者が撤去する場合には、新品の材料で施工するとは限らないため、配管、ボックス類、幹線ケーブル等の複合単価、市場単価及び補正市場単価を70%※に低減して適用することができる。ただし、転用する事が困難な分岐電線・ケーブル及び合成樹脂管等の材料については全損扱いとし、計上することができる
 ※【公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編） 第1編第2章第14節仮設備工事 2. 14. 2 仮設備に使用する機材等】で、「電線、配管等の材料は、使用上差支えない程度の電気的性能、機械的強度を有するものとする。」と規定されており新品ではなくてもよいとされている。よって、材料に対して損耗、転用回数等を考慮した低減を行い、労務（労務は、図面特記がないかぎり低減等はおこなわない。）を加算した単価を採用することとした。また、複合単価、市場単価及び補正市場単価にこの率を乗じて算出することで、積算の省力化を目的にしている。
- ニ. 原則として見積等による賃借料をもって仮設材費とするものは次による。
 - (イ) 変圧器類
 - (ロ) 発電機類
 - (ハ) 配電盤類
 - (ニ) 通信・情報機器類
 - (ホ) その他の仮設備機器
- ホ. 仮設備を運転するに当たって、燃料が必要な場合は別途計上する。

(7) 仮設備

- ハ. 主要機器の取外し再取付けを行う際に、全体的なシステム調整を要する場合は、総合試験調整費を別途計上する。
- イ. 停電、設備システムの機能停止等が困難な場合に、既存の設備機能等を維持させるための設備が必要な場合は、仮設備を計上する。
- ロ. 仮設備に使用する仮設材費の単価については、「単価基準 第1編 2 単価及び価格の算定（2）複合単価 二. 仮設材費」に『仮設材費は、物価資料の掲載価格等による賃料又は材料の基礎価格に損料率を乗じて算定する。』と規定されており、原則として損料率を算出して仮設材費を適切に算定し、労務費を計上する。
- ハ. 短期間（3ヶ月程度）で同一業者が撤去する場合には、新品の材料で施工するとは限らないため、配管、ボックス類、幹線ケーブル等の複合単価、市場単価及び補正市場単価を70%※に低減して適用することができる。ただし、転用する事が困難な分岐電線・ケーブル及び合成樹脂管等の材料については全損扱いとし、計上することができる
 ※【公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編） 第1編第2章第14節仮設備工事 2. 14. 2 仮設備に使用する機材等】で、「電線、配管等の材料は、使用上差支えない程度の電気的性能、機械的強度を有するものとする。」と規定されており新品ではなくてもよいとされている。よって、材料に対して損耗、転用回数等を考慮した低減を行い、労務（労務は、図面特記がないかぎり低減等はおこなわない。）を加算した単価を採用することとした。また、複合単価、市場単価及び補正市場単価にこの率を乗じて算出することで、積算の省力化を目的にしている。
- ニ. 原則として見積等による賃借料をもって仮設材費とするものは次による。
 - (イ) 変圧器類
 - (ロ) 発電機類
 - (ハ) 配電盤類
 - (ニ) 通信・情報機器類
 - (ホ) その他の仮設備機器
- ホ. 仮設備を運転するに当たって、燃料が必要な場合は別途計上する。

改定

現行

第2項 電力設備工事（改修）

1 単価、価格等

電灯設備

照明器具の一時的な取外し再取付け又は照明器具の改修工事において、既設位置へ取付け時の墨出しの軽減、既存つりボルトの活用が可能な場合は、雑材料及び労務の所要量を実状に応じて低減することができる。

改定

現行

第2項 撤去工事

1 単価、価格等

発生材処理

発生材処分品は引渡しを要するもの以外とし、再生資源化を図るものとそれ以外で分類し計上する。

第2項 撤去工事

1 単価、価格等

(1) 撤去

単価基準 第3編第2章第1節 表E2-1-2～表E2-1-18に記載のない撤去工事の労務の所要量は、単価基準 第3編第2章第1節 表E2-1-1の対応する、名称区分毎の新営工事の労務歩掛りに対する率を乗じて算出する。

(2) 発生材処理

発生材処分品は引渡しを要するもの以外とし、再生資源化を図るものとそれ以外で分類し計上する。

公共建築工事積算基準等資料

第3章 電気設備工事
附票

改定

現行

【配管工事 2】ケーブルラック ZT 1段目・2段積の2段目

補正市場単価

細目	摘要	単位	市場単価	算定式
ケーブルラック	トレ形 ZI 200 (1段目)	m	A	a ÷ k
ケーブルラック	トレ形 ZI 300 (1段目)	m	B	b ÷ l
ケーブルラック	トレ形 ZI 400 (1段目)	m	C	c ÷ m
ケーブルラック	トレ形 ZI 500 (1段目)	m	D	d ÷ n
ケーブルラック	トレ形 ZI 600 (1段目)	m	E	e ÷ o
ケーブルラック	トレ形 ZI 200 (2段積の2段目)	m	F	f ÷ p
ケーブルラック	トレ形 ZI 300 (2段積の2段目)	m	G	g ÷ q
ケーブルラック	トレ形 ZI 400 (2段積の2段目)	m	H	h ÷ r
ケーブルラック	トレ形 ZI 500 (2段積の2段目)	m	I	i ÷ s
ケーブルラック	トレ形 ZI 600 (2段積の2段目)	m	J	j ÷ t

市場単価

細目	摘要	単位	単価記号	
ケーブルラック	はしご形 ZM 200A (1段目)	m	A	
ケーブルラック	はしご形 ZM 300A (1段目)	m	B	
ケーブルラック	はしご形 ZM 400A (1段目)	m	C	
ケーブルラック	はしご形 ZM 500A (1段目)	m	D	
ケーブルラック	はしご形 ZM 600A (1段目)	m	E	
ケーブルラック	はしご形 ZM 200A (2段積の2段目)	m	F	
ケーブルラック	はしご形 ZM 300A (2段積の2段目)	m	G	
ケーブルラック	はしご形 ZM 400A (2段積の2段目)	m	H	
ケーブルラック	はしご形 ZM 500A (2段積の2段目)	m	I	
ケーブルラック	はしご形 ZM 600A (2段積の2段目)	m	J	

【配管工事 2】ケーブルラック ZT 1段目・2段積の2段目

補正市場単価

細目	摘要	単位	市場単価	算定式
ケーブルラック	トレ形 溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 透明塗装 200 (1段目)	m	A	a ÷ k
ケーブルラック	トレ形 溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 透明塗装 300 (1段目)	m	B	b ÷ l
ケーブルラック	トレ形 溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 透明塗装 400 (1段目)	m	C	c ÷ m
ケーブルラック	トレ形 溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 透明塗装 500 (1段目)	m	D	d ÷ n
ケーブルラック	トレ形 溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 透明塗装 600 (1段目)	m	E	e ÷ o
ケーブルラック	トレ形 溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 透明塗装 200 (2段積の2段目)	m	F	f ÷ p
ケーブルラック	トレ形 溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 透明塗装 300 (2段積の2段目)	m	G	g ÷ q
ケーブルラック	トレ形 溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 透明塗装 400 (2段積の2段目)	m	H	h ÷ r
ケーブルラック	トレ形 溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 透明塗装 500 (2段積の2段目)	m	I	i ÷ s
ケーブルラック	トレ形 溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 透明塗装 600 (2段積の2段目)	m	J	j ÷ t

市場単価

細目	摘要	単位	単価記号	
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 焼付け又は粉体塗装 200A (1段目)	m	A	
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 焼付け又は粉体塗装 300A (1段目)	m	B	
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 焼付け又は粉体塗装 400A (1段目)	m	C	
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 焼付け又は粉体塗装 500A (1段目)	m	D	
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 焼付け又は粉体塗装 600A (1段目)	m	E	
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 焼付け又は粉体塗装 200A (2段積の2段目)	m	F	
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 焼付け又は粉体塗装 300A (2段積の2段目)	m	G	
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 焼付け又は粉体塗装 400A (2段積の2段目)	m	H	
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 焼付け又は粉体塗装 500A (2段積の2段目)	m	I	
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 焼付け又は粉体塗装 600A (2段積の2段目)	m	J	

公共建築工事積算基準等資料

第3章 電気設備工事
附票

改定

現行

参考歩掛り

細目	摘要	単位	歩掛り記号	表番号
ケーブル	トレ形 ZI 200 (1段目) 支持材加算	m	a	表RE-1-4
ケーブル	トレ形 ZI 300 (1段目) 支持材加算	m	b	表RE-1-4
ケーブル	トレ形 ZI 400 (1段目) 支持材加算	m	c	表RE-1-4
ケーブル	トレ形 ZI 500 (1段目) 支持材加算	m	d	表RE-1-4
ケーブル	トレ形 ZI 600 (1段目) 支持材加算	m	e	表RE-1-4
ケーブル	トレ形 ZI 200 (2段積の2段目) 支持材加算	m	f	表RE-1-4
ケーブル	トレ形 ZI 300 (2段積の2段目) 支持材加算	m	g	表RE-1-4
ケーブル	トレ形 ZI 400 (2段積の2段目) 支持材加算	m	h	表RE-1-4
ケーブル	トレ形 ZI 500 (2段積の2段目) 支持材加算	m	i	表RE-1-4
ケーブル	トレ形 ZI 600 (2段積の2段目) 支持材加算	m	j	表RE-1-4
ケーブル	はしご形 ZM 200A (1段目) 支持材加算	m	k	表RE-1-4
ケーブル	はしご形 ZM 300A (1段目) 支持材加算	m	l	表RE-1-4
ケーブル	はしご形 ZM 400A (1段目) 支持材加算	m	m	表RE-1-4
ケーブル	はしご形 ZM 500A (1段目) 支持材加算	m	n	表RE-1-4
ケーブル	はしご形 ZM 600A (1段目) 支持材加算	m	o	表RE-1-4
ケーブル	はしご形 ZM 200A (2段積の2段目) 支持材加算	m	p	表RE-1-4
ケーブル	はしご形 ZM 300A (2段積の2段目) 支持材加算	m	q	表RE-1-4
ケーブル	はしご形 ZM 400A (2段積の2段目) 支持材加算	m	r	表RE-1-4
ケーブル	はしご形 ZM 500A (2段積の2段目) 支持材加算	m	s	表RE-1-4
ケーブル	はしご形 ZM 600A (2段積の2段目) 支持材加算	m	t	表RE-1-4

参考歩掛り

細目	摘要	単位	歩掛り記号	表番号
ケーブル	トレ形 溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 透明塗装 200 (1段目) 支持材加算	m	a	表RE-1-4
ケーブル	トレ形 溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 透明塗装 300 (1段目) 支持材加算	m	b	表RE-1-4
ケーブル	トレ形 溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 透明塗装 400 (1段目) 支持材加算	m	c	表RE-1-4
ケーブル	トレ形 溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 透明塗装 500 (1段目) 支持材加算	m	d	表RE-1-4
ケーブル	トレ形 溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 透明塗装 600 (1段目) 支持材加算	m	e	表RE-1-4
ケーブル	トレ形 溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 透明塗装 200 (2段積の2段目) 支持材加算	m	f	表RE-1-4
ケーブル	トレ形 溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 透明塗装 300 (2段積の2段目) 支持材加算	m	g	表RE-1-4
ケーブル	トレ形 溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 透明塗装 400 (2段積の2段目) 支持材加算	m	h	表RE-1-4
ケーブル	トレ形 溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 透明塗装 500 (2段積の2段目) 支持材加算	m	i	表RE-1-4
ケーブル	トレ形 溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 透明塗装 600 (2段積の2段目) 支持材加算	m	j	表RE-1-4
ケーブル	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 焼付け又は粉体塗装 200A (1段目) 支持材加算	m	k	表RE-1-4
ケーブル	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 焼付け又は粉体塗装 300A (1段目) 支持材加算	m	l	表RE-1-4
ケーブル	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 焼付け又は粉体塗装 400A (1段目) 支持材加算	m	m	表RE-1-4
ケーブル	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 焼付け又は粉体塗装 500A (1段目) 支持材加算	m	n	表RE-1-4
ケーブル	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 焼付け又は粉体塗装 600A (1段目) 支持材加算	m	o	表RE-1-4
ケーブル	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 焼付け又は粉体塗装 200A (2段積の2段目) 支持材加算	m	p	表RE-1-4
ケーブル	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 焼付け又は粉体塗装 300A (2段積の2段目) 支持材加算	m	q	表RE-1-4
ケーブル	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 焼付け又は粉体塗装 400A (2段積の2段目) 支持材加算	m	r	表RE-1-4
ケーブル	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 焼付け又は粉体塗装 500A (2段積の2段目) 支持材加算	m	s	表RE-1-4
ケーブル	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 焼付け又は粉体塗装 600A (2段積の2段目) 支持材加算	m	t	表RE-1-4

公共建築工事積算基準等資料

第3章 電気設備工事
附票

改定

現行

【配管工事 3】ケーブルラック ZM-BS

補正市場単価

細目	摘要	単位	市場単価	算定式
ケーブルラック	はしご形 ZM 400BS	m	A	a ÷ f
ケーブルラック	はしご形 ZM 500BS	m	B	b ÷ g
ケーブルラック	はしご形 ZM 600BS	m	C	c ÷ h
ケーブルラック	はしご形 ZM 800BS	m	D	d ÷ i
ケーブルラック	はしご形 ZM 1000BS	m	E	e ÷ j

市場単価

細目	摘要	単位	単価記号
ケーブルラック	はしご形 ZM 400B (1段目)	m	A
ケーブルラック	はしご形 ZM 500B (1段目)	m	B
ケーブルラック	はしご形 ZM 600B (1段目)	m	C
ケーブルラック	はしご形 ZM 800B (1段目)	m	D
ケーブルラック	はしご形 ZM 1000B (1段目)	m	E

参考歩掛り

細目	摘要	単位	歩掛り記号	表番号
ケーブルラック	はしご形 ZM 400BS 支持材加算	m	a	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZM 500BS 支持材加算	m	b	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZM 600BS 支持材加算	m	c	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZM 800BS 支持材加算	m	d	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZM 1000BS 支持材加算	m	e	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZM 400B (1段目) 支持材加算	m	f	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZM 500B (1段目) 支持材加算	m	g	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZM 600B (1段目) 支持材加算	m	h	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZM 800B (1段目) 支持材加算	m	i	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZM 1000B (1段目) 支持材加算	m	j	表RE-1-4

【配管工事 3】ケーブルラック ZM-BS

補正市場単価

細目	摘要	単位	市場単価	算定式
ケーブルラック	はしご形 ZM 溶融亜鉛めっき(100g/m²)製 焼付け又は粉体塗装 400BS	m	A	a ÷ f
ケーブルラック	はしご形 ZM 溶融亜鉛めっき(100g/m²)製 焼付け又は粉体塗装 500BS	m	B	b ÷ g
ケーブルラック	はしご形 ZM 溶融亜鉛めっき(100g/m²)製 焼付け又は粉体塗装 600BS	m	C	c ÷ h
ケーブルラック	はしご形 ZM 溶融亜鉛めっき(100g/m²)製 焼付け又は粉体塗装 800BS	m	D	d ÷ i
ケーブルラック	はしご形 ZM 溶融亜鉛めっき(100g/m²)製 焼付け又は粉体塗装 1000BS	m	E	e ÷ j

市場単価

細目	摘要	単位	単価記号
ケーブルラック	はしご形 ZM 溶融亜鉛めっき(100g/m²)製 焼付け又は粉体塗装 400B (1段目)	m	A
ケーブルラック	はしご形 ZM 溶融亜鉛めっき(100g/m²)製 焼付け又は粉体塗装 500B (1段目)	m	B
ケーブルラック	はしご形 ZM 溶融亜鉛めっき(100g/m²)製 焼付け又は粉体塗装 600B (1段目)	m	C
ケーブルラック	はしご形 ZM 溶融亜鉛めっき(100g/m²)製 焼付け又は粉体塗装 800B (1段目)	m	D
ケーブルラック	はしご形 ZM 溶融亜鉛めっき(100g/m²)製 焼付け又は粉体塗装 1000B (1段目)	m	E

参考歩掛り

細目	摘要	単位	歩掛り記号	表番号
ケーブルラック	はしご形 ZM 溶融亜鉛めっき(100g/m²)製 焼付け又は粉体塗装 400BS 支持材加算	m	a	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZM 溶融亜鉛めっき(100g/m²)製 焼付け又は粉体塗装 500BS 支持材加算	m	b	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZM 溶融亜鉛めっき(100g/m²)製 焼付け又は粉体塗装 600BS 支持材加算	m	c	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZM 溶融亜鉛めっき(100g/m²)製 焼付け又は粉体塗装 800BS 支持材加算	m	d	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZM 溶融亜鉛めっき(100g/m²)製 焼付け又は粉体塗装 1000BS 支持材加算	m	e	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZM 溶融亜鉛めっき(100g/m²)製 焼付け又は粉体塗装 400B (1段目) 支持材加算	m	f	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZM 溶融亜鉛めっき(100g/m²)製 焼付け又は粉体塗装 500B (1段目) 支持材加算	m	g	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZM 溶融亜鉛めっき(100g/m²)製 焼付け又は粉体塗装 600B (1段目) 支持材加算	m	h	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZM 溶融亜鉛めっき(100g/m²)製 焼付け又は粉体塗装 800B (1段目) 支持材加算	m	i	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZM 溶融亜鉛めっき(100g/m²)製 焼付け又は粉体塗装 1000B (1段目) 支持材加算	m	j	表RE-1-4

公共建築工事積算基準等資料

第3章 電気設備工事
附票

改定

現行

【配管工事 4】ケーブルラック ZM 支持材別途「別途用意する支持材に敷設・共同構内敷設等」

** 補正市場単価 **

細目	摘要	単位	市場単価	算定式
ケーブルラック	はしご形 ZM 200A 支持材別途	m	A	a ÷ m
ケーブルラック	はしご形 ZM 300A 支持材別途	m	B	b ÷ n
ケーブルラック	はしご形 ZM 400A 支持材別途	m	C	c ÷ o
ケーブルラック	はしご形 ZM 500A 支持材別途	m	D	d ÷ p
ケーブルラック	はしご形 ZM 600A 支持材別途	m	E	e ÷ q
ケーブルラック	はしご形 ZM 800A 支持材別途	m	F	f ÷ r
ケーブルラック	はしご形 ZM 1000A 支持材別途	m	G	g ÷ s
ケーブルラック	はしご形 ZM 400B 支持材別途	m	H	h ÷ t
ケーブルラック	はしご形 ZM 500B 支持材別途	m	I	i ÷ u
ケーブルラック	はしご形 ZM 600B 支持材別途	m	J	j ÷ v
ケーブルラック	はしご形 ZM 800B 支持材別途	m	K	k ÷ w
ケーブルラック	はしご形 ZM 1000B 支持材別途	m	L	l ÷ x

** 市場単価 **

細目	摘要	単位	単価記号
ケーブルラック	はしご形 ZM 200A (2段積の2段目)	m	A
ケーブルラック	はしご形 ZM 300A (2段積の2段目)	m	B
ケーブルラック	はしご形 ZM 400A (2段積の2段目)	m	C
ケーブルラック	はしご形 ZM 500A (2段積の2段目)	m	D
ケーブルラック	はしご形 ZM 600A (2段積の2段目)	m	E
ケーブルラック	はしご形 ZM 800A (2段積の2段目)	m	F
ケーブルラック	はしご形 ZM 1000A (2段積の2段目)	m	G
ケーブルラック	はしご形 ZM 400B (2段積の2段目)	m	H
ケーブルラック	はしご形 ZM 500B (2段積の2段目)	m	I
ケーブルラック	はしご形 ZM 600B (2段積の2段目)	m	J
ケーブルラック	はしご形 ZM 800B (2段積の2段目)	m	K
ケーブルラック	はしご形 ZM 1000B (2段積の2段目)	m	L

【配管工事 4】ケーブルラック ZM 支持材別途「別途用意する支持材に敷設・共同構内敷設等」

** 補正市場単価 **

細目	摘要	単位	市場単価	算定式
ケーブルラック	はしご形 ZM 溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 焼付け又は粉体塗装 200A 支持材別途	m	A	a ÷ m
ケーブルラック	はしご形 ZM 溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 焼付け又は粉体塗装 300A 支持材別途	m	B	b ÷ n
ケーブルラック	はしご形 ZM 溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 焼付け又は粉体塗装 400A 支持材別途	m	C	c ÷ o
ケーブルラック	はしご形 ZM 溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 焼付け又は粉体塗装 500A 支持材別途	m	D	d ÷ p
ケーブルラック	はしご形 ZM 溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 焼付け又は粉体塗装 600A 支持材別途	m	E	e ÷ q
ケーブルラック	はしご形 ZM 溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 焼付け又は粉体塗装 800A 支持材別途	m	F	f ÷ r
ケーブルラック	はしご形 ZM 溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 焼付け又は粉体塗装 1000A 支持材別途	m	G	g ÷ s
ケーブルラック	はしご形 ZM 溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 焼付け又は粉体塗装 400B 支持材別途	m	H	h ÷ t
ケーブルラック	はしご形 ZM 溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 焼付け又は粉体塗装 500B 支持材別途	m	I	i ÷ u
ケーブルラック	はしご形 ZM 溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 焼付け又は粉体塗装 600B 支持材別途	m	J	j ÷ v
ケーブルラック	はしご形 ZM 溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 焼付け又は粉体塗装 800B 支持材別途	m	K	k ÷ w
ケーブルラック	はしご形 ZM 溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 焼付け又は粉体塗装 1000B 支持材別途	m	L	l ÷ x

** 市場単価 **

細目	摘要	単位	単価記号
ケーブルラック	はしご形 ZM 溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 焼付け又は粉体塗装 200A (2段積の2段目)	m	A
ケーブルラック	はしご形 ZM 溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 焼付け又は粉体塗装 300A (2段積の2段目)	m	B
ケーブルラック	はしご形 ZM 溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 焼付け又は粉体塗装 400A (2段積の2段目)	m	C
ケーブルラック	はしご形 ZM 溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 焼付け又は粉体塗装 500A (2段積の2段目)	m	D
ケーブルラック	はしご形 ZM 溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 焼付け又は粉体塗装 600A (2段積の2段目)	m	E
ケーブルラック	はしご形 ZM 溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 焼付け又は粉体塗装 800A (2段積の2段目)	m	F
ケーブルラック	はしご形 ZM 溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 焼付け又は粉体塗装 1000A (2段積の2段目)	m	G
ケーブルラック	はしご形 ZM 溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 焼付け又は粉体塗装 400B (2段積の2段目)	m	H
ケーブルラック	はしご形 ZM 溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 焼付け又は粉体塗装 500B (2段積の2段目)	m	I
ケーブルラック	はしご形 ZM 溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 焼付け又は粉体塗装 600B (2段積の2段目)	m	J
ケーブルラック	はしご形 ZM 溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 焼付け又は粉体塗装 800B (2段積の2段目)	m	K
ケーブルラック	はしご形 ZM 溶融亜鉛めっき(100g/m ²)製 焼付け又は粉体塗装 1000B (2段積の2段目)	m	L

公共建築工事積算基準等資料

第3章 電気設備工事
附票

改定

現行

【配管工事 5】ケーブルラック Z35 支持材別途「別途用意する支持材に敷設・共同構内敷設等」

【配管工事 5】ケーブルラック Z35 支持材別途「別途用意する支持材に敷設・共同構内敷設等」

** 補正市場単価 **

細目	摘要	単位	市場単価	算定式
ケーブルラック	はしご形 Z35 200A 支持材別途	m	A	a ÷ m
ケーブルラック	はしご形 Z35 300A 支持材別途	m	B	b ÷ n
ケーブルラック	はしご形 Z35 400A 支持材別途	m	C	c ÷ o
ケーブルラック	はしご形 Z35 500A 支持材別途	m	D	d ÷ p
ケーブルラック	はしご形 Z35 600A 支持材別途	m	E	e ÷ q
ケーブルラック	はしご形 Z35 800A 支持材別途	m	F	f ÷ r
ケーブルラック	はしご形 Z35 1000A 支持材別途	m	G	g ÷ s
ケーブルラック	はしご形 Z35 400B 支持材別途	m	H	h ÷ t
ケーブルラック	はしご形 Z35 500B 支持材別途	m	I	i ÷ u
ケーブルラック	はしご形 Z35 600B 支持材別途	m	J	j ÷ v
ケーブルラック	はしご形 Z35 800B 支持材別途	m	K	k ÷ w
ケーブルラック	はしご形 Z35 1000B 支持材別途	m	L	l ÷ x

** 市場単価 **

細目	摘要	単位	単価記号
ケーブルラック	はしご形 Z35 200A (2段積の2段目)	m	A
ケーブルラック	はしご形 Z35 300A (2段積の2段目)	m	B
ケーブルラック	はしご形 Z35 400A (2段積の2段目)	m	C
ケーブルラック	はしご形 Z35 500A (2段積の2段目)	m	D
ケーブルラック	はしご形 Z35 600A (2段積の2段目)	m	E
ケーブルラック	はしご形 Z35 800A (2段積の2段目)	m	F
ケーブルラック	はしご形 Z35 1000A (2段積の2段目)	m	G
ケーブルラック	はしご形 Z35 400B (2段積の2段目)	m	H
ケーブルラック	はしご形 Z35 500B (2段積の2段目)	m	I
ケーブルラック	はしご形 Z35 600B (2段積の2段目)	m	J
ケーブルラック	はしご形 Z35 800B (2段積の2段目)	m	K
ケーブルラック	はしご形 Z35 1000B (2段積の2段目)	m	L

** 補正市場単価 **

細目	摘要	単位	市場単価	算定式
ケーブルラック	はしご形 Z35 <u>溶融亜鉛めっき(350g/m²)製</u> 200A 支持材別途	m	A	a ÷ m
ケーブルラック	はしご形 Z35 <u>溶融亜鉛めっき(350g/m²)製</u> 300A 支持材別途	m	B	b ÷ n
ケーブルラック	はしご形 Z35 <u>溶融亜鉛めっき(350g/m²)製</u> 400A 支持材別途	m	C	c ÷ o
ケーブルラック	はしご形 Z35 <u>溶融亜鉛めっき(350g/m²)製</u> 500A 支持材別途	m	D	d ÷ p
ケーブルラック	はしご形 Z35 <u>溶融亜鉛めっき(350g/m²)製</u> 600A 支持材別途	m	E	e ÷ q
ケーブルラック	はしご形 Z35 <u>溶融亜鉛めっき(350g/m²)製</u> 800A 支持材別途	m	F	f ÷ r
ケーブルラック	はしご形 Z35 <u>溶融亜鉛めっき(350g/m²)製</u> 1000A 支持材別途	m	G	g ÷ s
ケーブルラック	はしご形 Z35 <u>溶融亜鉛めっき(350g/m²)製</u> 400B 支持材別途	m	H	h ÷ t
ケーブルラック	はしご形 Z35 <u>溶融亜鉛めっき(350g/m²)製</u> 500B 支持材別途	m	I	i ÷ u
ケーブルラック	はしご形 Z35 <u>溶融亜鉛めっき(350g/m²)製</u> 600B 支持材別途	m	J	j ÷ v
ケーブルラック	はしご形 Z35 <u>溶融亜鉛めっき(350g/m²)製</u> 800B 支持材別途	m	K	k ÷ w
ケーブルラック	はしご形 Z35 <u>溶融亜鉛めっき(350g/m²)製</u> 1000B 支持材別途	m	L	l ÷ x

** 市場単価 **

細目	摘要	単位	単価記号
ケーブルラック	はしご形 Z35 <u>溶融亜鉛めっき(350g/m²)製</u> 200A (2段積の2段目)	m	A
ケーブルラック	はしご形 Z35 <u>溶融亜鉛めっき(350g/m²)製</u> 300A (2段積の2段目)	m	B
ケーブルラック	はしご形 Z35 <u>溶融亜鉛めっき(350g/m²)製</u> 400A (2段積の2段目)	m	C
ケーブルラック	はしご形 Z35 <u>溶融亜鉛めっき(350g/m²)製</u> 500A (2段積の2段目)	m	D
ケーブルラック	はしご形 Z35 <u>溶融亜鉛めっき(350g/m²)製</u> 600A (2段積の2段目)	m	E
ケーブルラック	はしご形 Z35 <u>溶融亜鉛めっき(350g/m²)製</u> 800A (2段積の2段目)	m	F
ケーブルラック	はしご形 Z35 <u>溶融亜鉛めっき(350g/m²)製</u> 1000A (2段積の2段目)	m	G
ケーブルラック	はしご形 Z35 <u>溶融亜鉛めっき(350g/m²)製</u> 400B (2段積の2段目)	m	H
ケーブルラック	はしご形 Z35 <u>溶融亜鉛めっき(350g/m²)製</u> 500B (2段積の2段目)	m	I
ケーブルラック	はしご形 Z35 <u>溶融亜鉛めっき(350g/m²)製</u> 600B (2段積の2段目)	m	J
ケーブルラック	はしご形 Z35 <u>溶融亜鉛めっき(350g/m²)製</u> 800B (2段積の2段目)	m	K
ケーブルラック	はしご形 Z35 <u>溶融亜鉛めっき(350g/m²)製</u> 1000B (2段積の2段目)	m	L

公共建築工事積算基準等資料

第3章 電気設備工事
附票

改定

現行

【配管工事 6】ケーブルラック ZA

補正市場単価

細目	摘要	単位	市場単価	算定式
ケーブルラック	はしご形 ZA 200A (1段目)	m	A	a ÷ y
ケーブルラック	はしご形 ZA 300A (1段目)	m	B	b ÷ z
ケーブルラック	はしご形 ZA 400A (1段目)	m	C	c ÷ α
ケーブルラック	はしご形 ZA 500A (1段目)	m	D	d ÷ β
ケーブルラック	はしご形 ZA 600A (1段目)	m	E	e ÷ γ
ケーブルラック	はしご形 ZA 800A (1段目)	m	F	f ÷ δ
ケーブルラック	はしご形 ZA 1000A (1段目)	m	G	g ÷ ε
ケーブルラック	はしご形 ZA 400B (1段目)	m	H	h ÷ ζ
ケーブルラック	はしご形 ZA 500B (1段目)	m	I	i ÷ η
ケーブルラック	はしご形 ZA 600B (1段目)	m	J	j ÷ θ
ケーブルラック	はしご形 ZA 800B (1段目)	m	K	k ÷ ι
ケーブルラック	はしご形 ZA 1000B (1段目)	m	L	l ÷ κ
ケーブルラック	はしご形 ZA 200A (2段積の2段目)	m	M	m ÷ λ
ケーブルラック	はしご形 ZA 300A (2段積の2段目)	m	N	n ÷ μ
ケーブルラック	はしご形 ZA 400A (2段積の2段目)	m	O	o ÷ ν
ケーブルラック	はしご形 ZA 500A (2段積の2段目)	m	P	p ÷ ξ
ケーブルラック	はしご形 ZA 600A (2段積の2段目)	m	Q	q ÷ ο
ケーブルラック	はしご形 ZA 800A (2段積の2段目)	m	R	r ÷ π
ケーブルラック	はしご形 ZA 1000A (2段積の2段目)	m	S	s ÷ ρ
ケーブルラック	はしご形 ZA 400B (2段積の2段目)	m	T	t ÷ σ
ケーブルラック	はしご形 ZA 500B (2段積の2段目)	m	U	u ÷ τ
ケーブルラック	はしご形 ZA 600B (2段積の2段目)	m	V	v ÷ υ
ケーブルラック	はしご形 ZA 800B (2段積の2段目)	m	W	w ÷ φ
ケーブルラック	はしご形 ZA 1000B (2段積の2段目)	m	X	x ÷ χ

【配管工事 6】ケーブルラック ZA (熔融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製)

補正市場単価

細目	摘要	単位	市場単価	算定式
ケーブルラック	はしご形 ZA (熔融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 200A (1段目)	m	A	a ÷ y
ケーブルラック	はしご形 ZA (熔融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 300A (1段目)	m	B	b ÷ z
ケーブルラック	はしご形 ZA (熔融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 400A (1段目)	m	C	c ÷ α
ケーブルラック	はしご形 ZA (熔融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 500A (1段目)	m	D	d ÷ β
ケーブルラック	はしご形 ZA (熔融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 600A (1段目)	m	E	e ÷ γ
ケーブルラック	はしご形 ZA (熔融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 800A (1段目)	m	F	f ÷ δ
ケーブルラック	はしご形 ZA (熔融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 1000A (1段目)	m	G	g ÷ ε
ケーブルラック	はしご形 ZA (熔融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 400B (1段目)	m	H	h ÷ ζ
ケーブルラック	はしご形 ZA (熔融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 500B (1段目)	m	I	i ÷ η
ケーブルラック	はしご形 ZA (熔融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 600B (1段目)	m	J	j ÷ θ
ケーブルラック	はしご形 ZA (熔融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 800B (1段目)	m	K	k ÷ ι
ケーブルラック	はしご形 ZA (熔融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 1000B (1段目)	m	L	l ÷ κ
ケーブルラック	はしご形 ZA (熔融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 200A (2段積の2段目)	m	M	m ÷ λ
ケーブルラック	はしご形 ZA (熔融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 300A (2段積の2段目)	m	N	n ÷ μ
ケーブルラック	はしご形 ZA (熔融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 400A (2段積の2段目)	m	O	o ÷ ν
ケーブルラック	はしご形 ZA (熔融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 500A (2段積の2段目)	m	P	p ÷ ξ
ケーブルラック	はしご形 ZA (熔融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 600A (2段積の2段目)	m	Q	q ÷ ο
ケーブルラック	はしご形 ZA (熔融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 800A (2段積の2段目)	m	R	r ÷ π
ケーブルラック	はしご形 ZA (熔融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 1000A (2段積の2段目)	m	S	s ÷ ρ
ケーブルラック	はしご形 ZA (熔融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 400B (2段積の2段目)	m	T	t ÷ σ
ケーブルラック	はしご形 ZA (熔融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 500B (2段積の2段目)	m	U	u ÷ τ
ケーブルラック	はしご形 ZA (熔融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 600B (2段積の2段目)	m	V	v ÷ υ
ケーブルラック	はしご形 ZA (熔融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 800B (2段積の2段目)	m	W	w ÷ φ
ケーブルラック	はしご形 ZA (熔融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 1000B (2段積の2段目)	m	X	x ÷ χ

公共建築工事積算基準等資料

第3章 電気設備工事
附票

改定

現行

市場単価

細目	摘要	単位	単価記号
ケーブル	はしご形 Z35 200A (1段目)	m	A
ケーブル	はしご形 Z35 300A (1段目)	m	B
ケーブル	はしご形 Z35 400A (1段目)	m	C
ケーブル	はしご形 Z35 500A (1段目)	m	D
ケーブル	はしご形 Z35 600A (1段目)	m	E
ケーブル	はしご形 Z35 800A (1段目)	m	F
ケーブル	はしご形 Z35 1000A (1段目)	m	G
ケーブル	はしご形 Z35 400B (1段目)	m	H
ケーブル	はしご形 Z35 500B (1段目)	m	I
ケーブル	はしご形 Z35 600B (1段目)	m	J
ケーブル	はしご形 Z35 800B (1段目)	m	K
ケーブル	はしご形 Z35 1000B (1段目)	m	L
ケーブル	はしご形 Z35 200A (2段積の2段目)	m	M
ケーブル	はしご形 Z35 300A (2段積の2段目)	m	N
ケーブル	はしご形 Z35 400A (2段積の2段目)	m	O
ケーブル	はしご形 Z35 500A (2段積の2段目)	m	P
ケーブル	はしご形 Z35 600A (2段積の2段目)	m	Q
ケーブル	はしご形 Z35 800A (2段積の2段目)	m	R
ケーブル	はしご形 Z35 1000A (2段積の2段目)	m	S
ケーブル	はしご形 Z35 400B (2段積の2段目)	m	T
ケーブル	はしご形 Z35 500B (2段積の2段目)	m	U
ケーブル	はしご形 Z35 600B (2段積の2段目)	m	V
ケーブル	はしご形 Z35 800B (2段積の2段目)	m	W
ケーブル	はしご形 Z35 1000B (2段積の2段目)	m	X

市場単価

細目	摘要	単位	単価記号
ケーブル	はしご形 Z35 溶融亜鉛めっき(350g/m ²) 製 200A (1段目)	m	A
ケーブル	はしご形 Z35 溶融亜鉛めっき(350g/m ²) 製 300A (1段目)	m	B
ケーブル	はしご形 Z35 溶融亜鉛めっき(350g/m ²) 製 400A (1段目)	m	C
ケーブル	はしご形 Z35 溶融亜鉛めっき(350g/m ²) 製 500A (1段目)	m	D
ケーブル	はしご形 Z35 溶融亜鉛めっき(350g/m ²) 製 600A (1段目)	m	E
ケーブル	はしご形 Z35 溶融亜鉛めっき(350g/m ²) 製 800A (1段目)	m	F
ケーブル	はしご形 Z35 溶融亜鉛めっき(350g/m ²) 製 1000A (1段目)	m	G
ケーブル	はしご形 Z35 溶融亜鉛めっき(350g/m ²) 製 400B (1段目)	m	H
ケーブル	はしご形 Z35 溶融亜鉛めっき(350g/m ²) 製 500B (1段目)	m	I
ケーブル	はしご形 Z35 溶融亜鉛めっき(350g/m ²) 製 600B (1段目)	m	J
ケーブル	はしご形 Z35 溶融亜鉛めっき(350g/m ²) 製 800B (1段目)	m	K
ケーブル	はしご形 Z35 溶融亜鉛めっき(350g/m ²) 製 1000B (1段目)	m	L
ケーブル	はしご形 Z35 溶融亜鉛めっき(350g/m ²) 製 200A (2段積の2段目)	m	M
ケーブル	はしご形 Z35 溶融亜鉛めっき(350g/m ²) 製 300A (2段積の2段目)	m	N
ケーブル	はしご形 Z35 溶融亜鉛めっき(350g/m ²) 製 400A (2段積の2段目)	m	O
ケーブル	はしご形 Z35 溶融亜鉛めっき(350g/m ²) 製 500A (2段積の2段目)	m	P
ケーブル	はしご形 Z35 溶融亜鉛めっき(350g/m ²) 製 600A (2段積の2段目)	m	Q
ケーブル	はしご形 Z35 溶融亜鉛めっき(350g/m ²) 製 800A (2段積の2段目)	m	R
ケーブル	はしご形 Z35 溶融亜鉛めっき(350g/m ²) 製 1000A (2段積の2段目)	m	S
ケーブル	はしご形 Z35 溶融亜鉛めっき(350g/m ²) 製 400B (2段積の2段目)	m	T
ケーブル	はしご形 Z35 溶融亜鉛めっき(350g/m ²) 製 500B (2段積の2段目)	m	U
ケーブル	はしご形 Z35 溶融亜鉛めっき(350g/m ²) 製 600B (2段積の2段目)	m	V
ケーブル	はしご形 Z35 溶融亜鉛めっき(350g/m ²) 製 800B (2段積の2段目)	m	W
ケーブル	はしご形 Z35 溶融亜鉛めっき(350g/m ²) 製 1000B (2段積の2段目)	m	X

公共建築工事積算基準等資料

第3章 電気設備工事
附票

改定

現行

***参考歩掛り**

細目	摘要	単位	歩掛り記号	表番号
ケー' トラック	はしご形 Z35 800B (1段目) 支持材加算	m	ι	表RE-1-4
ケー' トラック	はしご形 Z35 1000B (1段目) 支持材加算	m	κ	表RE-1-4
ケー' トラック	はしご形 Z35 200A (2段積の2段目) 支持材加算	m	λ	表RE-1-4
ケー' トラック	はしご形 Z35 300A (2段積の2段目) 支持材加算	m	μ	表RE-1-4
ケー' トラック	はしご形 Z35 400A (2段積の2段目) 支持材加算	m	ν	表RE-1-4
ケー' トラック	はしご形 Z35 500A (2段積の2段目) 支持材加算	m	ξ	表RE-1-4
ケー' トラック	はしご形 Z35 600A (2段積の2段目) 支持材加算	m	ο	表RE-1-4
ケー' トラック	はしご形 Z35 800A (2段積の2段目) 支持材加算	m	π	表RE-1-4
ケー' トラック	はしご形 Z35 1000A (2段積の2段目) 支持材加算	m	ρ	表RE-1-4
ケー' トラック	はしご形 Z35 400B (2段積の2段目) 支持材加算	m	σ	表RE-1-4
ケー' トラック	はしご形 Z35 500B (2段積の2段目) 支持材加算	m	τ	表RE-1-4
ケー' トラック	はしご形 Z35 600B (2段積の2段目) 支持材加算	m	υ	表RE-1-4
ケー' トラック	はしご形 Z35 800B (2段積の2段目) 支持材加算	m	φ	表RE-1-4
ケー' トラック	はしご形 Z35 1000B (2段積の2段目) 支持材加算	m	χ	表RE-1-4

***参考歩掛り**

細目	摘要	単位	歩掛り記号	表番号
ケー' トラック	はしご形 Z35 <u>溶融亜鉛めっき(350g/m²)製</u> 800B (1段目) 支持材加算	m	ι	表RE-1-4
ケー' トラック	はしご形 Z35 <u>溶融亜鉛めっき(350g/m²)製</u> 1000B (1段目) 支持材加算	m	κ	表RE-1-4
ケー' トラック	はしご形 Z35 <u>溶融亜鉛めっき(350g/m²)製</u> 200A (2段積の2段目) 支持材加算	m	λ	表RE-1-4
ケー' トラック	はしご形 Z35 <u>溶融亜鉛めっき(350g/m²)製</u> 300A (2段積の2段目) 支持材加算	m	μ	表RE-1-4
ケー' トラック	はしご形 Z35 <u>溶融亜鉛めっき(350g/m²)製</u> 400A (2段積の2段目) 支持材加算	m	ν	表RE-1-4
ケー' トラック	はしご形 Z35 <u>溶融亜鉛めっき(350g/m²)製</u> 500A (2段積の2段目) 支持材加算	m	ξ	表RE-1-4
ケー' トラック	はしご形 Z35 <u>溶融亜鉛めっき(350g/m²)製</u> 600A (2段積の2段目) 支持材加算	m	ο	表RE-1-4
ケー' トラック	はしご形 Z35 <u>溶融亜鉛めっき(350g/m²)製</u> 800A (2段積の2段目) 支持材加算	m	π	表RE-1-4
ケー' トラック	はしご形 Z35 <u>溶融亜鉛めっき(350g/m²)製</u> 1000A (2段積の2段目) 支持材加算	m	ρ	表RE-1-4
ケー' トラック	はしご形 Z35 <u>溶融亜鉛めっき(350g/m²)製</u> 400B (2段積の2段目) 支持材加算	m	σ	表RE-1-4
ケー' トラック	はしご形 Z35 <u>溶融亜鉛めっき(350g/m²)製</u> 500B (2段積の2段目) 支持材加算	m	τ	表RE-1-4
ケー' トラック	はしご形 Z35 <u>溶融亜鉛めっき(350g/m²)製</u> 600B (2段積の2段目) 支持材加算	m	υ	表RE-1-4
ケー' トラック	はしご形 Z35 <u>溶融亜鉛めっき(350g/m²)製</u> 800B (2段積の2段目) 支持材加算	m	φ	表RE-1-4
ケー' トラック	はしご形 Z35 <u>溶融亜鉛めっき(350g/m²)製</u> 1000B (2段積の2段目) 支持材加算	m	χ	表RE-1-4

公共建築工事積算基準等資料

第3章 電気設備工事
附票

改定

現行

【配管工事 7】 ケーブルラック ZA 支持材別途「別途用意する支持材に敷設・共同構内敷設等」

【配管工事 7】 ケーブルラック ZA (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 支持材別途「別途用意する支持材に敷設・共同構内敷設等」

** 補正市場単価 **

細目	摘要	単位	市場単価	算定式
ケーブルラック	はしご形 ZA 200A 支持材別途	m	A	a ÷ m
ケーブルラック	はしご形 ZA 300A 支持材別途	m	B	b ÷ n
ケーブルラック	はしご形 ZA 400A 支持材別途	m	C	c ÷ o
ケーブルラック	はしご形 ZA 500A 支持材別途	m	D	d ÷ p
ケーブルラック	はしご形 ZA 600A 支持材別途	m	E	e ÷ q
ケーブルラック	はしご形 ZA 800A 支持材別途	m	F	f ÷ r
ケーブルラック	はしご形 ZA 1000A 支持材別途	m	G	g ÷ s
ケーブルラック	はしご形 ZA 400B 支持材別途	m	H	h ÷ t
ケーブルラック	はしご形 ZA 500B 支持材別途	m	I	i ÷ u
ケーブルラック	はしご形 ZA 600B 支持材別途	m	J	j ÷ v
ケーブルラック	はしご形 ZA 800B 支持材別途	m	K	k ÷ w
ケーブルラック	はしご形 ZA 1000B 支持材別途	m	L	l ÷ x

** 市場単価 **

細目	摘要	単位	単価記号
ケーブルラック	はしご形 Z35 200A (2段積の2段目)	m	A
ケーブルラック	はしご形 Z35 300A (2段積の2段目)	m	B
ケーブルラック	はしご形 Z35 400A (2段積の2段目)	m	C
ケーブルラック	はしご形 Z35 500A (2段積の2段目)	m	D
ケーブルラック	はしご形 Z35 600A (2段積の2段目)	m	E
ケーブルラック	はしご形 Z35 800A (2段積の2段目)	m	F
ケーブルラック	はしご形 Z35 1000A (2段積の2段目)	m	G
ケーブルラック	はしご形 Z35 400B (2段積の2段目)	m	H
ケーブルラック	はしご形 Z35 500B (2段積の2段目)	m	I
ケーブルラック	はしご形 Z35 600B (2段積の2段目)	m	J
ケーブルラック	はしご形 Z35 800B (2段積の2段目)	m	K
ケーブルラック	はしご形 Z35 1000B (2段積の2段目)	m	L

** 補正市場単価 **

細目	摘要	単位	市場単価	算定式
ケーブルラック	はしご形 ZA (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 支持材別途 200A	m	A	a ÷ m
ケーブルラック	はしご形 ZA (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 支持材別途 300A	m	B	b ÷ n
ケーブルラック	はしご形 ZA (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 支持材別途 400A	m	C	c ÷ o
ケーブルラック	はしご形 ZA (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 支持材別途 500A	m	D	d ÷ p
ケーブルラック	はしご形 ZA (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 支持材別途 600A	m	E	e ÷ q
ケーブルラック	はしご形 ZA (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 支持材別途 800A	m	F	f ÷ r
ケーブルラック	はしご形 ZA (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 支持材別途 1000A	m	G	g ÷ s
ケーブルラック	はしご形 ZA (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 支持材別途 400B	m	H	h ÷ t
ケーブルラック	はしご形 ZA (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 支持材別途 500B	m	I	i ÷ u
ケーブルラック	はしご形 ZA (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 支持材別途 600B	m	J	j ÷ v
ケーブルラック	はしご形 ZA (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 支持材別途 800B	m	K	k ÷ w
ケーブルラック	はしご形 ZA (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 支持材別途 1000B	m	L	l ÷ x

** 市場単価 **

細目	摘要	単位	単価記号
ケーブルラック	はしご形 Z35 溶融亜鉛めっき (350g/m ²) 製 (2段積の2段目) 200A	m	A
ケーブルラック	はしご形 Z35 溶融亜鉛めっき (350g/m ²) 製 (2段積の2段目) 300A	m	B
ケーブルラック	はしご形 Z35 溶融亜鉛めっき (350g/m ²) 製 (2段積の2段目) 400A	m	C
ケーブルラック	はしご形 Z35 溶融亜鉛めっき (350g/m ²) 製 (2段積の2段目) 500A	m	D
ケーブルラック	はしご形 Z35 溶融亜鉛めっき (350g/m ²) 製 (2段積の2段目) 600A	m	E
ケーブルラック	はしご形 Z35 溶融亜鉛めっき (350g/m ²) 製 (2段積の2段目) 800A	m	F
ケーブルラック	はしご形 Z35 溶融亜鉛めっき (350g/m ²) 製 (2段積の2段目) 1000A	m	G
ケーブルラック	はしご形 Z35 溶融亜鉛めっき (350g/m ²) 製 (2段積の2段目) 400B	m	H
ケーブルラック	はしご形 Z35 溶融亜鉛めっき (350g/m ²) 製 (2段積の2段目) 500B	m	I
ケーブルラック	はしご形 Z35 溶融亜鉛めっき (350g/m ²) 製 (2段積の2段目) 600B	m	J
ケーブルラック	はしご形 Z35 溶融亜鉛めっき (350g/m ²) 製 (2段積の2段目) 800B	m	K
ケーブルラック	はしご形 Z35 溶融亜鉛めっき (350g/m ²) 製 (2段積の2段目) 1000B	m	L

公共建築工事積算基準等資料

第3章 電気設備工事
附票

改定

現行

参考歩掛り

細目	摘要	単位	歩掛り記号	表番号
ケーブラック	はしご形 ZA 200A (2段積の2段目) 支持材別途	m	a	表RE-1-4
ケーブラック	はしご形 ZA 300A (2段積の2段目) 支持材別途	m	b	表RE-1-4
ケーブラック	はしご形 ZA 400A (2段積の2段目) 支持材別途	m	c	表RE-1-4
ケーブラック	はしご形 ZA 500A (2段積の2段目) 支持材別途	m	d	表RE-1-4
ケーブラック	はしご形 ZA 600A (2段積の2段目) 支持材別途	m	e	表RE-1-4
ケーブラック	はしご形 ZA 800A (2段積の2段目) 支持材別途	m	f	表RE-1-4
ケーブラック	はしご形 ZA 1000A (2段積の2段目) 支持材別途	m	g	表RE-1-4
ケーブラック	はしご形 ZA 400B (2段積の2段目) 支持材別途	m	h	表RE-1-4
ケーブラック	はしご形 ZA 500B (2段積の2段目) 支持材別途	m	i	表RE-1-4
ケーブラック	はしご形 ZA 600B (2段積の2段目) 支持材別途	m	j	表RE-1-4
ケーブラック	はしご形 ZA 800B (2段積の2段目) 支持材別途	m	k	表RE-1-4
ケーブラック	はしご形 ZA 1000B (2段積の2段目) 支持材別途	m	l	表RE-1-4
ケーブラック	はしご形 Z35 200A (2段積の2段目) 支持材加算	m	m	表RE-1-4
ケーブラック	はしご形 Z35 300A (2段積の2段目) 支持材加算	m	n	表RE-1-4
ケーブラック	はしご形 Z35 400A (2段積の2段目) 支持材加算	m	o	表RE-1-4
ケーブラック	はしご形 Z35 500A (2段積の2段目) 支持材加算	m	p	表RE-1-4
ケーブラック	はしご形 Z35 600A (2段積の2段目) 支持材加算	m	q	表RE-1-4
ケーブラック	はしご形 Z35 800A (2段積の2段目) 支持材加算	m	r	表RE-1-4
ケーブラック	はしご形 Z35 1000A (2段積の2段目) 支持材加算	m	s	表RE-1-4
ケーブラック	はしご形 Z35 400B (2段積の2段目) 支持材加算	m	t	表RE-1-4
ケーブラック	はしご形 Z35 500B (2段積の2段目) 支持材加算	m	u	表RE-1-4
ケーブラック	はしご形 Z35 600B (2段積の2段目) 支持材加算	m	v	表RE-1-4
ケーブラック	はしご形 Z35 800B (2段積の2段目) 支持材加算	m	w	表RE-1-4
ケーブラック	はしご形 Z35 1000B (2段積の2段目) 支持材加算	m	x	表RE-1-4

参考歩掛り

細目	摘要	単位	歩掛り記号	表番号
ケーブラック	はしご形 ZA (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 200A (2段積の2段目) 支持材別途	m	a	表RE-1-4
ケーブラック	はしご形 ZA (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 300A (2段積の2段目) 支持材別途	m	b	表RE-1-4
ケーブラック	はしご形 ZA (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 400A (2段積の2段目) 支持材別途	m	c	表RE-1-4
ケーブラック	はしご形 ZA (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 500A (2段積の2段目) 支持材別途	m	d	表RE-1-4
ケーブラック	はしご形 ZA (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 600A (2段積の2段目) 支持材別途	m	e	表RE-1-4
ケーブラック	はしご形 ZA (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 800A (2段積の2段目) 支持材別途	m	f	表RE-1-4
ケーブラック	はしご形 ZA (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 1000A (2段積の2段目) 支持材別途	m	g	表RE-1-4
ケーブラック	はしご形 ZA (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 400B (2段積の2段目) 支持材別途	m	h	表RE-1-4
ケーブラック	はしご形 ZA (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 500B (2段積の2段目) 支持材別途	m	i	表RE-1-4
ケーブラック	はしご形 ZA (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 600B (2段積の2段目) 支持材別途	m	j	表RE-1-4
ケーブラック	はしご形 ZA (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 800B (2段積の2段目) 支持材別途	m	k	表RE-1-4
ケーブラック	はしご形 ZA (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 1000B (2段積の2段目) 支持材別途	m	l	表RE-1-4
ケーブラック	はしご形 Z35 溶融亜鉛めっき (350g/m ²) 製 200A (2段積の2段目) 支持材加算	m	m	表RE-1-4
ケーブラック	はしご形 Z35 溶融亜鉛めっき (350g/m ²) 製 300A (2段積の2段目) 支持材加算	m	n	表RE-1-4
ケーブラック	はしご形 Z35 溶融亜鉛めっき (350g/m ²) 製 400A (2段積の2段目) 支持材加算	m	o	表RE-1-4
ケーブラック	はしご形 Z35 溶融亜鉛めっき (350g/m ²) 製 500A (2段積の2段目) 支持材加算	m	p	表RE-1-4
ケーブラック	はしご形 Z35 溶融亜鉛めっき (350g/m ²) 製 600A (2段積の2段目) 支持材加算	m	q	表RE-1-4
ケーブラック	はしご形 Z35 溶融亜鉛めっき (350g/m ²) 製 800A (2段積の2段目) 支持材加算	m	r	表RE-1-4
ケーブラック	はしご形 Z35 溶融亜鉛めっき (350g/m ²) 製 1000A (2段積の2段目) 支持材加算	m	s	表RE-1-4
ケーブラック	はしご形 Z35 溶融亜鉛めっき (350g/m ²) 製 400B (2段積の2段目) 支持材加算	m	t	表RE-1-4
ケーブラック	はしご形 Z35 溶融亜鉛めっき (350g/m ²) 製 500B (2段積の2段目) 支持材加算	m	u	表RE-1-4
ケーブラック	はしご形 Z35 溶融亜鉛めっき (350g/m ²) 製 600B (2段積の2段目) 支持材加算	m	v	表RE-1-4
ケーブラック	はしご形 Z35 溶融亜鉛めっき (350g/m ²) 製 800B (2段積の2段目) 支持材加算	m	w	表RE-1-4
ケーブラック	はしご形 Z35 溶融亜鉛めっき (350g/m ²) 製 1000B (2段積の2段目) 支持材加算	m	x	表RE-1-4

公共建築工事積算基準等資料

第3章 電気設備工事
附票

改定

現行

【配管工事 8】 ケーブルラック AL 支持材別途「別途用意する支持材に敷設・共同構内敷設等」

補正市場単価

細目	摘要	単位	市場単価	算定式
ケーブルラック	はしご形 AL 200A 支持材別途	m	A	a ÷ m
ケーブルラック	はしご形 AL 300A 支持材別途	m	B	b ÷ n
ケーブルラック	はしご形 AL 400A 支持材別途	m	C	c ÷ o
ケーブルラック	はしご形 AL 500A 支持材別途	m	D	d ÷ p
ケーブルラック	はしご形 AL 600A 支持材別途	m	E	e ÷ q
ケーブルラック	はしご形 AL 800A 支持材別途	m	F	f ÷ r
ケーブルラック	はしご形 AL 1000A 支持材別途	m	G	g ÷ s
ケーブルラック	はしご形 AL 400B 支持材別途	m	H	h ÷ t
ケーブルラック	はしご形 AL 500B 支持材別途	m	I	i ÷ u
ケーブルラック	はしご形 AL 600B 支持材別途	m	J	j ÷ v
ケーブルラック	はしご形 AL 800B 支持材別途	m	K	k ÷ w
ケーブルラック	はしご形 AL 1000B 支持材別途	m	L	l ÷ x

市場単価

細目	摘要	単位	単価記号
ケーブルラック	はしご形 AL 200A (2段積の2段目)	m	A
ケーブルラック	はしご形 AL 300A (2段積の2段目)	m	B
ケーブルラック	はしご形 AL 400A (2段積の2段目)	m	C
ケーブルラック	はしご形 AL 500A (2段積の2段目)	m	D
ケーブルラック	はしご形 AL 600A (2段積の2段目)	m	E
ケーブルラック	はしご形 AL 800A (2段積の2段目)	m	F
ケーブルラック	はしご形 AL 1000A (2段積の2段目)	m	G
ケーブルラック	はしご形 AL 400B (2段積の2段目)	m	H
ケーブルラック	はしご形 AL 500B (2段積の2段目)	m	I
ケーブルラック	はしご形 AL 600B (2段積の2段目)	m	J
ケーブルラック	はしご形 AL 800B (2段積の2段目)	m	K
ケーブルラック	はしご形 AL 1000B (2段積の2段目)	m	L

【配管工事 8】 ケーブルラック AL 支持材別途「別途用意する支持材に敷設・共同構内敷設等」

補正市場単価

細目	摘要	単位	市場単価	算定式
ケーブルラック	はしご形 ZKS製 200A 支持材別途	m	A	a ÷ m
ケーブルラック	はしご形 ZKS製 300A 支持材別途	m	B	b ÷ n
ケーブルラック	はしご形 ZKS製 400A 支持材別途	m	C	c ÷ o
ケーブルラック	はしご形 ZKS製 500A 支持材別途	m	D	d ÷ p
ケーブルラック	はしご形 ZKS製 600A 支持材別途	m	E	e ÷ q
ケーブルラック	はしご形 ZKS製 800A 支持材別途	m	F	f ÷ r
ケーブルラック	はしご形 ZKS製 1000A 支持材別途	m	G	g ÷ s
ケーブルラック	はしご形 ZKS製 400B 支持材別途	m	H	h ÷ t
ケーブルラック	はしご形 ZKS製 500B 支持材別途	m	I	i ÷ u
ケーブルラック	はしご形 ZKS製 600B 支持材別途	m	J	j ÷ v
ケーブルラック	はしご形 ZKS製 800B 支持材別途	m	K	k ÷ w
ケーブルラック	はしご形 ZKS製 1000B 支持材別途	m	L	l ÷ x

市場単価

細目	摘要	単位	単価記号
ケーブルラック	はしご形 ZKS製 200A (2段積の2段目)	m	A
ケーブルラック	はしご形 ZKS製 300A (2段積の2段目)	m	B
ケーブルラック	はしご形 ZKS製 400A (2段積の2段目)	m	C
ケーブルラック	はしご形 ZKS製 500A (2段積の2段目)	m	D
ケーブルラック	はしご形 ZKS製 600A (2段積の2段目)	m	E
ケーブルラック	はしご形 ZKS製 800A (2段積の2段目)	m	F
ケーブルラック	はしご形 ZKS製 1000A (2段積の2段目)	m	G
ケーブルラック	はしご形 ZKS製 400B (2段積の2段目)	m	H
ケーブルラック	はしご形 ZKS製 500B (2段積の2段目)	m	I
ケーブルラック	はしご形 ZKS製 600B (2段積の2段目)	m	J
ケーブルラック	はしご形 ZKS製 800B (2段積の2段目)	m	K
ケーブルラック	はしご形 ZKS製 1000B (2段積の2段目)	m	L

公共建築工事積算基準等資料

第3章 電気設備工事
附票

改定

現行

参考歩掛り

細目	摘要	単位	歩掛り記号	表番号
ケーブルラック	はしご形 AL 200A (2段積の2段目) 支持材別途	m	a	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 AL 300A (2段積の2段目) 支持材別途	m	b	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 AL 400A (2段積の2段目) 支持材別途	m	c	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 AL 500A (2段積の2段目) 支持材別途	m	d	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 AL 600A (2段積の2段目) 支持材別途	m	e	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 AL 800A (2段積の2段目) 支持材別途	m	f	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 AL 1000A (2段積の2段目) 支持材別途	m	g	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 AL 400B (2段積の2段目) 支持材別途	m	h	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 AL 500B (2段積の2段目) 支持材別途	m	i	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 AL 600B (2段積の2段目) 支持材別途	m	j	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 AL 800B (2段積の2段目) 支持材別途	m	k	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 AL 1000B (2段積の2段目) 支持材別途	m	l	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 AL 200A (2段積の2段目) 支持材加算	m	m	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 AL 300A (2段積の2段目) 支持材加算	m	n	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 AL 400A (2段積の2段目) 支持材加算	m	o	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 AL 500A (2段積の2段目) 支持材加算	m	p	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 AL 600A (2段積の2段目) 支持材加算	m	q	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 AL 800A (2段積の2段目) 支持材加算	m	r	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 AL 1000A (2段積の2段目) 支持材加算	m	s	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 AL 400B (2段積の2段目) 支持材加算	m	t	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 AL 500B (2段積の2段目) 支持材加算	m	u	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 AL 600B (2段積の2段目) 支持材加算	m	v	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 AL 800B (2段積の2段目) 支持材加算	m	w	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 AL 1000B (2段積の2段目) 支持材加算	m	x	表RE-1-4

参考歩掛り

細目	摘要	単位	歩掛り記号	表番号
ケーブルラック	はしご形 7&S製 200A (2段積の2段目) 支持材別途	m	a	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 7&S製 300A (2段積の2段目) 支持材別途	m	b	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 7&S製 400A (2段積の2段目) 支持材別途	m	c	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 7&S製 500A (2段積の2段目) 支持材別途	m	d	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 7&S製 600A (2段積の2段目) 支持材別途	m	e	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 7&S製 800A (2段積の2段目) 支持材別途	m	f	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 7&S製 1000A (2段積の2段目) 支持材別途	m	g	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 7&S製 400B (2段積の2段目) 支持材別途	m	h	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 7&S製 500B (2段積の2段目) 支持材別途	m	i	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 7&S製 600B (2段積の2段目) 支持材別途	m	j	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 7&S製 800B (2段積の2段目) 支持材別途	m	k	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 7&S製 1000B (2段積の2段目) 支持材別途	m	l	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 7&S製 200A (2段積の2段目) 支持材加算	m	m	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 7&S製 300A (2段積の2段目) 支持材加算	m	n	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 7&S製 400A (2段積の2段目) 支持材加算	m	o	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 7&S製 500A (2段積の2段目) 支持材加算	m	p	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 7&S製 600A (2段積の2段目) 支持材加算	m	q	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 7&S製 800A (2段積の2段目) 支持材加算	m	r	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 7&S製 1000A (2段積の2段目) 支持材加算	m	s	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 7&S製 400B (2段積の2段目) 支持材加算	m	t	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 7&S製 500B (2段積の2段目) 支持材加算	m	u	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 7&S製 600B (2段積の2段目) 支持材加算	m	v	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 7&S製 800B (2段積の2段目) 支持材加算	m	w	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 7&S製 1000B (2段積の2段目) 支持材加算	m	x	表RE-1-4

改 定

現 行

空気調和設備工事

空気調和設備工事

第2項 空気調和設備工事

第2項 空気調和設備工事

1 単価、価格等

1 単価、価格等

(1) 機器設備

- イ、吸収冷凍機、吸収冷水機及び吸収冷水機ユニットの保温は、製造業者の見積価格等を参考に
にする。
- ロ、冷却塔のうち冷却能力が334kWを超えるものの据付は、協議会歩掛りによる。
- ハ、パッケージ形空気調和機、マルチパッケージ形空気調和機及びガスエンジンヒートポンプ式空
気調和機の冷媒管は、特記がなければ価格を算出するにあたって参考とした製造業者の口径を基
に、単価基準 第4編第1章第1節1配管工事により計上する。ただし、分岐ユニットは、製造
業者の見積価格等を参考にする。
- ニ、地下オイルタンク附属品は、協議会歩掛りによる。
- ホ、空気熱源ヒートポンプユニット（モジュール形）の据付は、モジュール毎に加算して計上す
る。
- ヘ、軸流送風機及び斜流送風機の歩掛りは、消音ボックス付送風機に準ずる。
- ト、全熱交換ユニット（カセット形）の歩掛りは、協議会歩掛りによる。

(1) 機器設備

- イ、吸収冷凍機、吸収冷水機及び吸収冷水機ユニットの保温は、製造業者の見積価格等を参考に
にする。
- ロ、冷却塔のうち冷却能力が334kWを超えるものの据付は、協議会歩掛りによる。
- ハ、パッケージ形空気調和機、マルチパッケージ形空気調和機及びガスエンジンヒートポンプ式空
気調和機の冷媒管は、特記がなければ価格を算出するにあたって参考とした製造業者の口径を基
に、単価基準 第4編第1章第1節1配管工事により計上する。ただし、分岐ユニットは、製造
業者の見積価格等を参考にする。
- ニ、地下オイルタンク附属品は、協議会歩掛りによる。
- ホ、空気熱源ヒートポンプユニット（モジュール形）の据付は、モジュール毎に加算して計上す
る。
- ヘ、軸流送風機及び斜流送風機の歩掛りは、消音ボックス付送風機に準ずる。

(2) ダクト設備

- イ、ダクト設備の細目工種は、単価基準及び表M1-4による。
- ロ、ステンレス製ダクト及び硬質塩化ビニル製ダクトは、協議会歩掛りによる。
- ハ、ウェザーカバーは、協議会歩掛りによる。
- ニ、チャンパー等の吊り用インサート取付費は、必要箇所数を別途計上する。
なお、シーリングディフューザー用既製品ボックスのインサートの必要箇所数は、1箇所とす
る。
- ホ、400φ以上のスパイラルダクトは、参考歩掛り 表RM-2-4による。
- ヘ、スライドオンフランジ工法に用いる材料のコーナー金具の板厚は、2.3mmを代用することがで
きる。
- ト、鋼板製ダクト（1.6mm）は、参考歩掛り 表RM-2-2による。

(2) ダクト設備

- イ、ダクト設備の細目工種は、単価基準及び表M1-4による。
- ロ、ステンレス製ダクト及び硬質塩化ビニル製ダクトは、協議会歩掛りによる。
- ハ、ウェザーカバーは、協議会歩掛りによる。
- ニ、チャンパー等の吊り用インサート取付費は、必要箇所数を別途計上する。
なお、シーリングディフューザー用既製品ボックスのインサートの必要箇所数は、1箇所とす
る。
- ホ、400φ以上のスパイラルダクトは、参考歩掛り 表RM-2-4による。
- ヘ、スライドオンフランジ工法に用いる材料のコーナー金具の板厚は、2.3mmを代用することがで
きる。

(3) 弁装置類

本歩掛りは、該当する歩掛りが無い場合は、類似の歩掛りを組み合わせて作成する。

(3) 弁装置類

本歩掛りは、該当する歩掛りが無い場合は、類似の歩掛りを組み合わせて作成する。